

しました。夜も同じく買物、夕食後の雑談をして居る時今日成田空港でゲリラによる事故が起きたと聞いてテレビを見に行っただけ、ニュースは終わって居た。守衛さんの話では荷物の中に爆弾が入っていて爆発したため2人の人が死んだとの事。悲しい事と思います。やはりもう少し人の命のたいせつさを知らなければいけないと思います。

川 畑 澄 代

6月24日 月曜日 くもり後雨

今日は皆ブルーマンデーで全員倦怠感を訴える。来日し10日も経たのでそろそろ登校時の団体行動も取れて各々好きな時間に出かける。それにしても日本の電車の何と込み合う事よ。授業前に精力を使い果してしまう気がする。

第2時限日本の文字、3時限幼児教育、第4時限待望の海外日本語教育。朝から咳をしていた団長は皆の忠告に従って早退、早く治れば良いですね。

海外日本語教育について、Bコースのセニョリータ達から前知識を充分得たクララさんは、授業開始と同時に先手を打って一本勝負あり、おみごとでした。

色々こまかい知識を学ぶ前に、まず移民とは一体何なのか単なる空間の移動ではなく、諸々の問題を引きずって新しい地に根を下すべく努力していく事で理論的にも実践上も無理がある。そういう背景の上に立って日本語を考えねばならない。という今日の先生の言葉は非常に意味深く感ぜられた。

何と云っても子供の教育や家族の世話、主人の操縦で苦勞するのはどこにいても主婦で、この言葉は皆でよくかみしめる必要があるのではないかと思った。

今日も事業団の江崎、川端両氏が私達の課外活動の為見えておられた。ごくろうさまです。

最後に今日の夕食のおかず、みそ汁、さけのフライとキャベツの千切り、香の物、春雨とわかめの酢の物、みんな平らげてから秤に乗って、全然やせていないのだ。

一 木 順 子

6月25日 火曜日 雨

今日も雨の中をAコース女研修生一行(14名)7時出、学園着8時過ぎ、時間あり購買部でそれぞれ必要品購入後、クラスへ向う(文Ⅱ 405)8時45分着。男性軍少し遅れて着、Bコースセニョリータ達はぎりぎりすべり込みと言う所。第1時限の音楽は合同授業で朝日先生担当である。始めはお話しし、教科の中でも音楽ほどレベル差の大きいものはない(各校)

玉川学園の音楽について

音楽が好きになる(感動・場面作り)

生徒が自主的に動く、自分達でやりたいように持って行く(自ら伸びて行く)ほめたたえる。教師は全生徒に目配り等々、いろいろお話を聞かせて頂くうち私の音楽ざらいも引かれて行くような…。

遊び乍らたのしく歌われる。いくつか遊び歌実施、鼻の体操、わらいこけ乍らつぎつぎともちつき、指を使って「グー・チョキ・パー」心唱「ごんべえさんの赤ちゃん」その他、歌う。朝日先生はどうとうとピアノの前にこしかけ、強く歌い弾かれる。歌唱はいかにもすばらしかった。この時間は幼児に返った一瞬を過し楽しかった。

2時間目は日本語を考える。

日本語（言語）（標準語・現象の言語）

言語（文章・文節・音節・拍・踏）

この説明を例文を取り、して頂く。

午後の部はなし、解散直接帰る方、寄道する方。

午後6時～9時Aコース研修生（私達）に歓迎会を、北村所長はじめ、山本総務課長、川端課長、江崎職員他職員の方、そして子弟研修生合同でして下さり感謝感激です。

川端課長の挨拶、北村所長の歓迎の言葉、総務課長の激励のサルーで最高のオスシを頂き、カラオケ、ダンスとにぎやかな楽しい歓迎をして下さいましてありがとうございます。

最後に第7回本邦研修生を代表して佐藤団長がお礼の挨拶をされて無事に終了致しました。

志賀 美和子

6月26日 水曜日 国際学友会見学記

ご案内役 正善先生 北村氏

ABグループ合同

国際学友会は、大久保駅から西へ歩いて15分程の住宅街のまん中にあります。学校の規模としては、東京ではそんなに大きくないと思われます。しかし、外国人を迎えて日本語を学ばせる学校としては、戦前から脈々と続けられてきた伝統ある学校であります。

生徒数三百名位で、その出身地は、漢字系からの学生が80パーセント、非漢字系からの学生が20パーセント学んでいます。廊下や教室で出会った学生達の印象は、日本の学生とあまり変わらないように思いました。

学力によってABCのコースに分けられています。私が見学したのはAコース、よく出来るクラスとCコース、初歩のクラスでした。Aコースの立園先生は、女教師で、にこやかで中堅といった感じで文法の説明が多く、生徒の答えもす早くて、非常に楽しい授業をなさっていました。

Cコースの村林先生は、若い男性の長身の先生です。初歩の学生のコースですからそれに16名中、男の学生がほとんどでしたので、「あなたのほしい物は？」という質問に、スポーツカーとかオートバイとかステレオと答えました。いかにも若者らしいと思いました。「あなたの趣味は？」という質問に、つりとかオートバイに乗ることと答えていたのは印象的でした。学生達は1年間、毎日5時間、日本語を詰め込まれ、そのまま日本の大学へ進学するそうです。その進路は、文化系が40パーセント、

日本語系が30パーセント、理科系が30パーセントということです。どうかこれらの学生達の前途が開け、有意義な青春時代を過ごされますようにと祈ります。

この後、教科書の説明、販売がありました。

帰路は、正善先生のお宅へお寄りして、Aコース16名が夕食会にあずかりました。奥様の手作りのごちそうを腹いっぱいいただきました。ちなみにメニューは、春巻き、ポテトサラダ、鶏から揚げ、やきそば、チャーハン、アイスクリーム、日本茶等。

玉川大学での研修の初めにあたり、このようにあたたかい一夜を設けていただきまして、とても心楽しく感謝します。

山 根 緑

6月27日 木曜日 曇り

今日は、A、Bコースとも小学部を参観しました。

午前8時20分、小学部グラウンドにて朝会の見学をしました。

生徒達が自由に遊んでいる中を先生方が円陣を作られ、その日の連絡事項を話し合っておられる様子は私にはとても新鮮に感じられました。

小学部部長の佐々木校長先生が私共本邦研修生を紹介して下さい、玉川学園独特の朝会を見学出来、とっても参考になりました。

その後、応接室で玉川学園の小学部の説明を山崎副部長よりしていただきましたが、特に教育の4つの柱について話されました。

1. 宗教道徳過程
2. 教科過程
3. 健康過程
4. 実践過程

当番の生徒がお茶を運んだり、電話の番をしているのは、他の学校では見られない光景でした。

1年生から2年3年更に4～6年と各教室を見せていただき、そのユニークな授業の様子に目を見張りましたが、美術の部屋で、先生が一人一人の生徒に絵を持って来させ、褒めてアドバイスしておられるのにとっても心を打たれました。

一番印象的だったのは小宮路先生の音楽の授業で6年生の生徒が自主的に進めるやり方には感心しました。伴奏も生徒が楽器を選び、指揮も生徒がやり伸び伸びと歌う姿を見て、私も一緒に歌いたくなった程です。

“ふるさと”の歌を特別に歌わせていただいた時は感きわまって、多くの一世代の研究生が涙を流しました。溢れる涙に声をつまらせ、やっとの思いで3番迄とぎれとぎれに歌いました。

3時限目はリトミック、小野先生の熱心な御指導の下、年齢を忘れて楽しく真剣に想像の世界を体

中で表現しました。

3時から4時迄懇談会があり、小学部参観についての質疑応答をし、至れり尽せりのお心遣いに感激しました。

色々な講義は勿論為になりますが、実際に授業参観を自分の目で見た時、得る所が沢山ありました。体で感じ取った事が言葉に表わせない位あったのは、私だけではないでしょう。

理論でなくて実践を学びたいと痛感した次第です。

いままであった授業も良かったですが、小学部参観はとても有意義だったと思います。機会があれば何度も見せて戴きたい所です。

夕方6時頃根岸に帰り着きましたが色とりどりのネオンサインに日本だなーと思った事でした。

竹村 美代子

6月28日 金曜日 雨

2時限目からの授業で金平先生の近代短歌でした。弥政先生の作られた短歌を中心に勉強しました。3時限目は永井先生の体育の授業でした。ボールを使った動作を主に行ないました。4時限目は小学部美術室にて山崎先生の美術の授業が行なわれました。紙を使った工作作品の説明の後、実習を行ないました。又、自動車を各自作りました。夜には東京郵便貯金ホールにて日本民族舞踊を鑑賞しました。

縄田 ますみ

6月29日 土曜日 曇り後雨

今日の予定 9:00~10:30 表現教育 芸Ⅲ 501 方先生

13:45~15:30 中学部音楽祭 厚木市文化会館

午前7時研修生全員で、センターを出発。昨日は一日中大雨でしたが、今日は相変わらずの曇り日ですが雨は降らず。有難たや！朝の出発が早かったので、電車は空いていて今日の通学は楽でした。

今日の表現教育の授業は：

- A) 『童心に返える』と言うテーマで、音楽を聞きながらネックチーフの柔らかい布の動きを、よく考え、動く布に合わせて各自が自由に体全体を動かし、表現してみました。
- B) 2人で組んで片方が目隠をして15分間盲人となり、教室から外に出、もう1人が盲人に対してどのように接して上げたら良いか考え、後の15分間は交換して歩き廻り元の教室に帰って来るように指示され、やってみました。その結果は簡単に盲人の方の気持ちを全部理解する事は出来ないが、子供に色々体験させてみて、どんな風に目が見えない人に接したら良いか考えさせたり、他人に対して思いやりの有る気持ちを持たせたり…と子供達自身に色々考えさす様にすると良いのではないかと思います。

C) 印象に残った言葉として、教育とは教え、そして育てると言う事なので、子供達に色々体験させて自から学びたい、自分でやってみたい…と言う気持ちを起させる先生は良い先生だと思おう方先生はおっしゃいました。

D) 宿題として時間が有れば「ドラマと全人教育」の27ページから読んでほしいと言われました。

午後から厚木市文化会館へ中学部音楽祭を観賞して、1年生は1年生なりに、2年生は2年生なりに、3年生は3年生なりにそれぞれだんだんと、うんー！と唸る程素晴らしい合唱で終わりました。中学生がこんな素晴らしい合唱をするのだったし、上級生は、もっと素晴らしい合唱をされるのではないかとすごく聞きたくまりました。

それと、始めて聞きましたハンドベルの演奏はとてもチームワークのいる演奏で、1人でも間違ったらどんなになるのかと思いましたが心配無用で、何とも言えない不思議な美しい音の演奏で感心致しました。最後に父兄及び招待客、生徒全員で起立して歌った力強い校歌を聞いて、玉川学園とは、本当に素晴らしい学校だと思いました。生徒達の手でこの音楽祭を無言で川の流れの様にスムーズにプログラムを進めて行かれるのは、小さい時から音楽に親しみ、自ら進んで歌ったり、ピアノを弾いたり、指揮をしたりした賜物だと思います。

本当に素晴らしかったですね！

三 阪 尚 子

6月30日 日曜日 雨

7:00、三阪先生のすばらしいコケリアコーでおこされ、そしてみんなで根岸まで行きました。

さて、これから私たちの小さなそして楽しい旅行が始まります。東京駅についてさっそく、ほとバスまで行きました。まず最初に皇居で記念写真を撮りましたが、雨がすごいのでたいへんでした。でも木々が青々としてとてもすてきでした。それからバスでいろんな東京の有名な所を通りました。つぎは浅草寺ここはまたエキゾチックな所でした。ざんねんながら雨がもっとひどくなって来た。少し名物を買って、ずぶぬれになってバスへもどりました。昼食は有名な東京タワーで食べました。ここは私が小さいころから話に聞いたり雑誌や映画で見た所なので実際に来て見ることが出来、よかったです。

町は霧がかかって見えませんでした。今度はNHK、とても大きなたてものです。一番びっくりしたのはモダンな機械ばかりでした。最後に靖国神社ここは戦争でなくなった人をまつてあると聞きました。

今日は雨のために大変でしたけれど、かえてそのほうが思い出が強くなるでしょう。ブラジルから来て2週間たちました。さすがに今日は「日本へ来ました！」と言う感じがしました。

佐 藤 三 窈

7月1日 月曜日 晴

昨日の台風一過はどこへ、今日は朝から素晴らしい日本晴れである。私達が日本へ到着して初めての青空であると思う。昨日の東京見物がこの半分でも良い天気であつたらどうらめしく思う。

今日の授業は、2時限目の平山先生の日本の文字から始まる漢字の由来、音と訓などおもしろく授業が終る。続いて工学部にて日伯親善児童使節団が到着したので昼食会に出席する。Sao Pauloの私と佐藤先生Bコースの6人の先生と共にブラジルの22名の日語学校生徒2人の引率の先生と食事をする団長は下本八郎氏、時間がたった20分だったのでゆっくり話しも出来ず残念。

午後は、中学部見学、授業は音楽千葉先生、玉川の校歌と手やハンカチ、体を使ったたのしい音楽遊びを教えて頂く。真夏の暑さのような中を歩き、短大会議室にて、最後の授業は、上原先生、現地での日本語教育はどうあるべきかを教えて頂く、言葉（日本語）を教える時に生活感覚を教えること。幼児（現地の）には、成人に外国語を教えるようにならないことなどを教えて頂く。又、教師が子供を扱う五つの法則。

- ① 子供の目の輝きを見分けること
- ② 心の鼓動を聞いてやること
- ③ 指先をよく見ること
- ④ 言葉の音色を聞くこと
- ⑤ 人なつっこさに答えてやること

夕食後7時に食堂で集会を開く江崎氏より郷里研修について、又玉川のスクーリング等の経費の説明を受ける。課外授業として、今日からセンター内4階で書道の講習が始まる。先生は神山昭子先生、一週間に3日あるとの事。皆、昼間の授業の疲れも忘れ練習にはげむ。尚、今日の最高気温は東京地方では31.4度になったと夕刊で知る。

河 埜 弘 子

7月2日 火曜日 小雨

予定 9時より幼稚部参観 昼まで

午後1時限 美術（佐藤先生 芸Ⅲ）

午後2時限 日本語を教える（片山先生 短会）

先日は晴天に恵まれていましたが、今日は再び小雨全く梅雨と申しますか私達Aコースは午前7時半センター出発。玉川幼稚園前集合9時10分前、待っていますと園長先生がお出下さって日程を話されました。続いて授業参観させて頂く事に成りました。丁度その時、幼稚園児4才と5才がプールに行くところでした。

小雨は降っていましたが緑に囲まれ、とても気持ちの良いすばらしい教室に通され、明るさ一杯、ピアノを中心に円形に椅子が並べられていて、その可愛い小さな椅子に一同腰をかけさせて頂き、

園長先生の玉川幼稚部の沿革に付いて説明してくださいました。

I 昭和4年4月より玉川学園在住の職員並びに関係者子弟十数名で野外保育中心に始められたそうです。

参観=りす組の授業 先生2名 男子

7月7日の七夕様の飾り付けの準備をしていました。先生は色紙の形の説明、はさみの渡し方など幼児達は、とてもうれしそうであった。

うさぎ組も同様

昼食になると一同、お母様に感謝の気持ちを伝え頂く様子であった。私達は、可愛い幼児達、先生方に「さようなら」で解散。

七夕様の飾り付け準備は、1週間位の時間をかけて作るそうです。

午後の部

I 美術は、水彩画に付いて説明されました。(構図)

色の使い方、実際に各自水彩画をかきました。仕上がらなかったけれど一同提出。

全く一昔、約30年ぶりに水彩画をかいたよう(紫陽花)

II 日本語を教える

先週の復習(全国通じる言葉、標準語、文字化した場合、書き言葉の場合、文章表現、その他)

アクセント

東京に近いアクセントに成りつつある。(共通語)決定的ではない。

日本語の発音について

音声器官と発音の過程

母音音素、子音音素、直音拍、拗音拍、その他

発音とは考えようによってはむずかしいように思えました。

夜7時半、特別に習字を教えて頂いていますが、事業団の方々も出席して頂いて大変協力して下さいまして御苦労様です。大変感謝致しています。

花岡早智

7月3日 水曜日 曇り

うす曇りの朝、ふるさとの生活にも慣れたよう、今日はいつもとより10分遅く、7時10分玉川学園へと発つ。センター生活にも10分のゆとりが出来ました。いつもの如く満員電車で揺られて8時半玉川学園着。

第1時限 音楽 朝日先生

- ・ 歩いてゆこう (この歌は小宮路先生の作曲)
- ・ もみじ
- ・ 山賊のうた
- ・ 夜があけた
- ・ おお牧場はみどり
- ・ 森のくまさん
- ・ 毛虫が三匹
- ・ 森のキツキさん

第2時限 日本史 瀬山先生

今日の日本の繁栄を築いた大きな要素の一つとして摂取同化性について具体的に講義を受けました。

第3時限 国語教材 長野先生

最近の新聞を資料に講義を進めていかれました。

世界の日本語学習者は最近の15年間に11倍に急増したけれども私達日本語の教師は単に言葉を教えるだけに終わっていいものか、日本語を教える大きな目標とはどういうものを次のテーマとして取り上げていくことにしましょう。殆んどどの教科書に取り入れられている国語教材「大きなかぶ」は一体ねらいというものは何でしょうか。皆さんと共に考えながら講義を進めていきましょう。

第4時限 スクーリング説明会

- ・ 60年度夏期スクーリング宿舍申し込み票作成。
- ・ 受講課目申込書作成

二世の若い先生方は、課目選択にまよっていらっしゃった様子。私達も玉川通信をよく読んでいたつもりでしたが、皆と相談してやっと決定しました。正善先生がいろいろと説明、アドバイスしてくださり本当にたすかりました。

夕食をすませて7時半から1時間、書道の講義。眠い目をこすりながら4階へ、でも筆を握ると不思議に目が冴えるのです。

木田 祐子

7月4日 木曜日 晴のち曇り

朝8時30分センター出発、しばらくぶりに晴れて風がそよそよ吹いてさわやかだったが玉川に着くと曇っていた。

10時40分、第2時限目、永井先生の幼児教育

幼児期の発達的特徴

1. 著しい発達をする時期

2. 全身運動の最も盛んな時期

3. 第1反抗期

発達=いろいろのこと覚え身につけること

成長=子供が大きくなって行くこと

成熟=女は女らしく、男は男らしくなっていること

第2期精神的な反抗期は13~16才頃まで

4. 基本的生活慣の自立

5. 具体的直接的な経験

6. 自己中心的

7. 言葉の一番発達するとき

8. 情緒の分化

9. 友達と遊ぶ時期

この講義について子供の真理を学ばされました。

午後1時ABリトミック、小野先生 芸皿リトミック

1. タンバリンに合わせて歩き、号令に合わせて立ったり座ったりするゲーム

2. ポッキンサンパ踊り

3. 集中音にて想像

4. 模倣、首がぐるぐる回る木の人形、鳥ビエロ、心の中の模倣、象、フラミンゴ、ヘビ、宇宙旅行、忍者、しゅりけん、ふきや。

小野先生のリトミックは今日で最後となりました。3時間でしたがとても楽しくすごさせていただきました。

4時限、午後2時40分 習字 石川先生 咸宣園

習字の道具の手入れについていろいろと説明があり最後に1回、人天の練習をしました。

夜7時30分よりJICA本部の仕事振り紹介番組をテレビで見ました。

菅野初江

7月5日 金曜日 曇り

今日は、久しく雨が降らず、傘を持たず出かける。10時45分からのプログラムだからゆっくり9時ごろセンターを出発。電車はもうラッシュを過ぎたのでがらがらで楽に席を取って座る。約1時間20分を要し、玉川学園に着く。

今日の授業は第2時限、第3時限とぶっ通し折紙の折り方指導で、指導にあられた小川先生は正に好々爺と言った感じの方で、研修生一同すっかり好感を持たれる先ず授業始めにまだ一度も折紙に手を触れた事の無い方と聞かれると、2人の先生が手を上げたので小生1人仲間が居たので安心。2

人の内1人は自分である。小生も折紙は全然いじった事がない。でも、今日は、いやおうなしである。良い機会である思い切って挑戦してみる。先ず鶴の折り方を基本から習う。簡単なみただが仲々難しく先生の言われる事がちっとも頭に入らない。でも悪戦苦闘してなにか最後には鶴らしき物ができ上がる。鶴の折り方は、何と限りなく多く、全部覚える事は大変な事である。鶴が出来上がると次は、日本古来から伝わって来た日本紙の寸法の不思議さを教わる。いくら折っていても無限に同じ形の紙が出来て面白い。後、親子鶴の折り方などを教わる。今日は、ブラジル組の研修生は、習字がなく、いつもより早く宿舎に帰る。

7月6日 土曜日 曇り

第1時限 表現教育 方先生

導入 リラックスして無駄な力をとってしまう。心身共に軟らかくして、一番よいコンディションに整える。

方法 最初に5,6人1組になってタオルを投げてしりとりをする。2人1組になって全身の力を抜いて相手に絶対的な信頼感を持つようにする。

集中 1つの詩を読み感じた事、経験した事をグループになって発表する。又、詩を朗読し情景を思いうかべる。現地に帰って教師として大変意義ある内容の深い授業であった。

表現教育の授業終了後、3回電車を乗り継ぎして築地の“つきぢ田村”に行く。玉川学園国際教室の吉成さん、地主さんの案内で懐石料理をごちそうになる。次々と運ばれる料理をカメラにおさめる者、初めて眼にする料理なので箸でつかんで一口、口に入れてみような顔をする者、多種多様であった。どれ一つとってみても調和のとれた美である。台所で料理して下さった方々の苦勞に感謝しつつ全部おいしくごちそうになる。記念にパンフレット、マッチをもらい写真も撮って三、三、五、五思い思いにセンターに帰る。8年ぶりに30畳の青畳、竹林と描いた屏風、床の間のかけ軸など日本情緒をたっぷりとおじわう。

弥 政 忠 義

7月7日 日曜日 曇時々小雨 七夕祭り

今日は、蒸し暑い日だった。七夕祭りであり、入谷には朝顔市が出ていた。

午後1時に東京千代田区の国立劇場、演芸場にて、演芸鑑賞会があり、移住センター所長北村様、同研修課長川端様御夫妻及びA,Bコースが楽しい2時間30分をすごした。新しいモダンな劇場に驚く。

- 1) 「解説」桂小南 始めに「三遊亭金馬さんは、かせぎに行ったらしく今日おみえになりませので。」と笑わせてから始められる。日本の伝統的大衆演芸を簡潔に解説して下さる演芸には、それぞれの工夫・演出また約束事があり、演者別にも曲目のちがう出囃子があるとて、数種をお弟子達に実演させ聞かせて下さる。

- 2) 「山芸」ボンボンブラザーズ鏡味勇二郎・繁二郎のコンビで、とぼけたこっけい味を出しながらたのませて下さる。
- 3) 「落語」三笑亭夢楽が始めに、今日失敗のあった曲芸(コップ数個を棒先のお盆にのせてまわし、棒に糸をむすんでまわし始めたら、糸がきれてコップが落ちて客席にまで飛び散った。)について「自分は35年間、寄席に出て落語をしゃべっているがこんなことは始めてだ。三味線の一番太い糸が切れたのだ。」とそと客席を気使って話を始められた。「こんな珍しいことが見られたあなた達は幸せです。」と…。

落語界切ったの海外通とかブラジルへ行って来たことなどの話をされてお客様を笑わされた。

15分間の休み

- 4) 「紙切り」二代目林家正楽「寄席へ来て、おみやげを持って返れる唯一の芸として客の注文に応じて「蛸狩り」「船頭」「七夕祭り」「鶴亀」等紙をはさみで切りまくり、それを希望者におみやげに下さる。

川端課長様も「船頭」を注文され、おみやげに持って帰られた。

最後は、希望者の横顔をあっと言う間に切る。眼鏡をかけた人なので、どうなさるのかと思ってたが、出来上ったのを見ると、ちゃんと眼鏡まで付いてるのに驚く。

- 5) 「落語」春風亭柳昇 熟年の人気男らしく、最後をたのしくしめくくって終わらされた。落語の中にも学ばせることが多かった。

午後1時に始まり、午後3時30分きっちりに終わる。各自思い思いの方向に散る。夕方小雨が降り始め、今日の日も終わる。

山田美枝

7月8日 月曜日 曇り

今朝は、梅雨が名残りを惜んでいる様な雨雲におおわれた天候であった。一行は8時半出発。

「最近私達は電車の乗りかえも自信がもてる様になり、ゆうゆうたるものだね…」と語り合いながら電車もこまなかったせいかすいすいと玉川大学へ到着した。

第2時間、金平先生の短歌から始まる。

山田先生、竹村先生の自作添削批評に短歌は特別の人だけが作りものではない。すべての人が短歌を作ることによって生活を見つめ直す、人生にとって大変大切なことであるということからこまごまと作る時の注意、適切な語意等を習った。金平先生の短歌の授業は今日をもって終わったがどしどし短歌を作る様にと言われた。

第3時間、永井先生の幼児教育

子供は人間社会と家庭を中心に育てなくてはならない。又環境によってどんなにでも変わるという具体的な説明があり、子供を育てる大事なことは①公平であること②可愛がることである。最後に児

童謡章、子供は正しい愛情と正しい知識と正しい技術とによって教えられる権利がある。私達は日本語の正しい知識と指導方法を学ぶことの責任と義務があると力強く言われた。

第4時間、小宮路先生の音楽

先生の指導法を色々教えていただき、数々の歌を習い感動あふれる素晴らしい教授だった。先生が毎日実践しておられることを二、三あげると、

1. 拍手でもってムードをもちあげること。(未来の可能性を信じる)

2. 記憶の花束(誕生日には必ず「おめでとう」の言葉を送る)

他人に無関心が一番罪悪であるという。

3. 1人1人を大事にする。

最も感心させられたことは先生お1人で350名もの生徒の1人1人に「〇〇さんの活動記録」を製作し、こまごまと書かれ。写真まで貼ってあったことである。実に素晴らしい先生である。大いに見習って少しでも実践出来る様努力をしよう。

夜7時半からセンターにての習字があり「日、月、風、水」の練習、最後に一枚づつお正書をして提出した。

柴田 富士子

7月9日 火曜日 晴

今日は久しぶりに太陽が出て涼しい風も吹いて良い天気でした。もう梅雨は終わったのでしょうか。

朝7時にセンターを出発、ラッシュの中を学園へと急ぐ。今日の第1時限目は音楽で三輪唱で夜が明けた、毛虫が3匹などを教えて頂く。それから町は大きくなりすぎたや、懐しい荒城の月など高学年用に二部合唱と低学年用にトマト、なみだがポロポロ、ちゃちゃつぽちゃつぽなどの手遊びを教えてください。色々の指導法をおしえていただきました。

今日の音楽の指導は朝日先生でした。

2時限目は日本語を考える片山先生、音声と発音の過程、濁音の発音の方法又(じ)と(ぢ)、(ず)と(づ)の使い分け方、又(は)と(が)の使い分方などに付いて教えて頂く。

午後の部は佐藤先生の美術です。

今日は版画の作り方を教えて頂く。もと版画は子供達が遊びながら学ぶ、子供どうし遊びながら色々な事を覚えて行く。それで二人が向い合って座り前の人の顔を書いて目鼻口と切取って貼り付けていくその上に墨を塗るそうですが今日はのりで貼り付けただけで終わりました。

授業中電話があり出てみるとドミカから帰国なさった橋本先生に短大でお逢い致しました。そうしてドミカのお話を聞かせて頂き少しでもドミカの子供達のために役立つよう勉強して行きたいと思いました。

川畑 澄代

7月10日 曇りのち霧雨

第1時限は日本史最後の授業。

貴族から武家政治への推移と仏像について説明があり、土曜日の鎌倉ツアーについて地図を見ながらお話し下さる。

制限時間きっちり汲みなく講義されるのでクラス一同感心して聞き入っている。私共はもうどれ位したら時計を見ずに時間きっちり終われるようになるのだろうと余計な心配をしてしまう。

長野先生の講義は教科書という教材をどのように取扱うか具体例をあげて説明して下さる。何事も源点に帰って、児童生徒を中心に何をどのように定着させるかという観点から見ていけば自ずから道は見えてくるのではないかと思う。「大きなかぶ」という教材を先生の言われる様なやり方ですと、家での準備が8~10時間、教材を作る時間を入れないでかかるし、それでもまだ充分ではない。

最後の授業は自分達の肉体的な年令を嫌という程知らされてしまった。屈伸運動、逆立ち、でんぐり返り、鉄棒、飛び馬等々。思わず「あいたた…」と口をついて出てしまうオソロシサ。悪い事にA、Bコース一緒なので『中年になると体はかくのごとく硬くなる』とサンプルを見せたようなものであった。それでも体を動かした後は気持ちがすっきりする。

色々な参考書を教えていただき、取り寄せて見るがじっくりと読みたくて時間が見付けられず苛立ちを感じる。家事も育児もしていないのに何でも時間が無いのだろう。

一木 順子

7月11日 木曜日 曇り

だんだん暑い候に向い今朝は小ぬか雨、第2時限目より授業。朝もゆっくり最近は通学にもなれ、それぞれ出校。当初の頃が遠くへ去った想いでゆとりある生活のように落ちつきが見える今日で始まる。学園に着いた頃は雨も上がり、むしむしと曇りもよう。2時限目文Ⅱ(105)は、永井先生最後の授業となる。

幼児教育全体について御指導頂く

内容(場所・人)

- ① 家庭—両親(主に母親)(子供の人間関係が大事)
- ② 保育所—代行(両親)—福祉(その人々が幸になる為に考える)
(0才児よりベビーホテル) 厚生省管轄となる
- ③ 幼稚園—教育—教諭 1日4時間 220日以上
文部省(教育の場面は保育所と同じ)
子供の成長期には強制しない
一人々を良く知って一人々を教育する
一人々の条件を知る(家庭環境・内的)

④ 小学校低学年—教育—教諭

子供をよく知って教える

幼児 けんか（身体的・物理的理由）

小—中学生 けんか（社交的）

高等以上 けんか（道徳的）

子供の心理（指導する先生によって人生が変わる）

現在子育ても終わり当時は無我夢中でなりゆきにまかせた育て方をした我を今ふと我に返りこの時間に学び得た事をこれからの児童に何十分の一でも活用出来ればと思う。

3 時限目、古典芸能（お茶、お花、香道）、道のつく物は大体芸能

舞台芸能（古い物）

① 能 室町時代～

② 狂言

③ 文楽（人形浄瑠璃） 江戸時代

④ 歌舞伎

能—仮面付（目に見えない主人公）

歌うように会話・音楽は悠長・全体的には分かりにくい

狂言（セリフでやりとりする劇）

（悲劇喜劇）ペアに（こっけい物） 当场人物も親しみやすい

30分位「狂言」映写鑑賞

とっても暑くてまるでサウナの中での鑑賞…

皆さんヤセラレタカモネ…

4 時限、①組習字、②組帰途

これからは日に日に暑くなる事でしょう。暑さに負けず頑張りましょう。

午後7時15分～会合（山本総務課長、北村所長出席）所長様のお話、総務課長様のお話

今後の移住者子弟技術研修生の日本語習得について説明あり。

Aコースの皆さんに現地実態をよく見、プリント協力願いたい。又資料改善をする上にもこれからの研修生は最低のレベルに達する勉強をさせてほしい。他「応答」等…。解散

志 賀 美和子

7月12日 金曜日 曇り時々小雨

2時限目、3時限目「折り紙」 小川先生

○ 一枚の和紙を切り離さずに折る。

相 生…… 二羽の鶴が羽根をつないでいる。

早乙女…… 母鶴の背の上の方で子鶴が羽根を広げている。

鳴子…… 母鶴の尾の方に三羽の子鶴が羽根を連ねている。

稲妻…… 三羽の鶴が同じ方向に連なっている姿。

風車…… 四羽の鶴が中央向きに、口でつながり両翼でつながり合っている。

小川先生はごましお頭でにこにこなさりながら大事なことをおっしゃいます。

「ただ折るだけでなく、母と子の鶴がどうしたら親密な様子になるかと工夫するのだよ。母鶴のかしらを床に向けるようにちょっと曲げてやる。そういったことを表現できるようでなくちゃ。」と。

午後6時から千駄ヶ谷にある国立能楽堂で狂言「齋薬練」、能「天鼓」を鑑賞いたしました。あらかじめ前日に法月先生よりご説明があり予備知識を授かっていましたので深く理解できたように思います。本物に接することできてましてありがとうございました。

山根 緑

7月13日 土曜日 雨のち曇り

生憎の雨の中、研修生一同8時すこし過ぎにはセンターを出発。9時まえには北鎌倉駅に着く。

9時30分の集合迄時間があるので自由行動をし、9時20分には集まる事にする。

今日の説明をして下さる瀬山先生は、定刻の10分前にはお見えになり流石は！と思う。

既に7月10日の日本史最後のお講義で、鎌倉の予備知識を持っているので一同興味深く今日の小旅行を帽子を用意して臨んだのであるが、傘が必要となり先日のはとバスでの東京見物と言い、付いていることこの上ない。

瀬山先生曰く「皆さんは幸運ですね。こういう雨の日こそ鎌倉はより歴史的佇まいを見せてくれます。」と。

1. 禅宗の円覚寺…… 深閑とした杜の中、小雨煙る自然環境が豪壮な構えの山門をより壮厳に見せてくれる。関東禅界の中心。臨済宗
2. 明月院…… 紫陽花がまだ残っていて目を楽しませてくれる。臨済宗「日頃の行いがいいから紫陽花が見れたのです！」と瀬山先生
3. 建長寺…… 臨済宗大本山わが国最初の禅林1253年建立「心」を言う字の形の池も印象的。
4. 長寿禅寺…… 昭和の元勲吉田茂首相が会談された禅寺での精進料理は最高。お庭も行届いて研修生一同の良き思い出になる。
5. 鶴ヶ丘八幡宮…… 源実朝が七百数十年前、公暁に暗殺された銀杏の樹が今もそのままに残っている。青々と葉が茂り、石段を見て、昔の光景を想像する。
6. 国宝館…… 彫刻（佛像）＝（阿彌陀如来、大日如来、地藏菩薩、薬師如来 等）
他に絵画、工芸、書跡など多くの文化財を展示。

※高さ11メートル、美男におはします。铸造は1252年部分的に造ってどうやっ

てつなぎ合わせたのか、昔の人は偉いなあ!と思う。

7. 鎌倉大仏……… 阿弥陀如来:今もそのままに残っている。青々と葉が茂り、石段を見て昔の光景を想像する。

午後4時、大仏見学の後、解散。七百余年前の歴史をより身近に感じさせた雨のお陰で観光客も少なく然も涼しく、午前中だけ降って午後は曇り空で可成の距離を歩いたのだが、苦にもならず、心憎いお天気。

京都、奈良旅行の際にも三度目の正直雨になるや否や。降れば歴史がより印象的に偲ばれ、照れば帽子が役に立つ!

今日1日御案内下さった瀬山先生、吉田先生深く感謝致します。

又、お世話下さったひ久村光代さん、妹さんありがとうございました。

竹村 美代子

7月14日 日曜日

昨日の天気予報では、雨ということでしたが、今日は青空が見え気持ちの良い朝でした。しかし午後から少し天気が崩れ夕方、梅雨明けを知らせるような強い雨が降りました。

今日は特別なスケジュールもなく、外泊、外出、センター滞在組とそれぞれ思い々の1日を過ごしました。今日でAコースの人たちが日本に着いてから丁度1ヶ月になりました。過ぎてしまえば短いような感じがします。そろそろ当初の緊張感もだんだん薄れるとともに、疲れもでてき、ちょっと中弛みという感じもします。残り二ヶ月を有意義に過ごせるように、健康に気を付けながら気を引き締めて行こうと思います。

縄田 ますみ

7月15日 月曜日 晴

今日の授業	10:40~12:10	日本の文字	短大 503	平山先生
	13:00~14:30	音楽	中 音楽室	千葉先生
	14:40~16:10	海外日本語教育	短大 会議室	上原先生

二日前の鎌倉小旅行の雨の日の嘘の用に良い天気です。街行く人達の服装も学校の先生方も夏服に変えられたみたいです。これから本格的な真夏を迎えるのでしょうか。

さて、今朝も8時半過ぎにセンターを出発し、丁度午前10時に玉川学園前の駅に到着、弁当を別の場所で購入しましたが、そろそろ私を含めて皆様方も食欲を無くされ始めたのではないのでしょうか。これからたせつな第二期の夏期スクーリングを全員揃って元気で迎えるため、くれぐれもお体を大切に頑張りましょう。

平山先生の『日本の文字』の授業も今日で終わりました。先生も授業時間が少なく残念そうでしたが、私達も体も慣れて来て、これから！と言う時、授業が残り非常に残念だと思います。

例解『学習漢字辞典』 文学博士 藤堂 明保 編

840ページ

熟語の出来方

① 熟語の読み方 2字以上の漢字を組み合わせて一つの言葉になったものを熟語と言う。

- ① 音読みの言葉（上も音、下も音）中国式読み
- ② 訓読みの言葉（上も訓、下も訓）日本語読み
- ③ 重箱読み （上が音、下が訓）間違いがそのまま使われて出来た言葉
- ④ 湯桶読み （上が訓、下が音）

② 2字の熟語の意味の関係 二つの漢字の間にある意味の上での関係をよく知らないといけない。

- ① 対の意味の漢字や、似た意味の漢字を重ねたもの 大小, 左右, 天地 etc
- ② よく似た意味の漢字を重ねて一つの意味を表わす言葉にしたもの 道路, 明朗 etc
- ③ 上の漢字が下の漢字の意味の中味をはっきりさせているもの 海運, 少年 etc
- ④ 下の漢字の意味が「…を」「…に」の関係で上の漢字の意味に掛 讀書, 加熱 etc
かっていくもの
- ⑤ 上の漢字が下の漢字を助けて打ち消しや尊敬の意味をそえるもの 不調, 非常 etc
- ⑥ 下の漢字が上の漢字を助けて色々な意味をそえるもの 様子, 強化 etc

③ 3字以上の熟語の組み立て

④ 熟語の結びつき

漢字の三要素

- ① なりたち 一形
- ② 読み方 一音
- ③ 意味 一義

Ⓐ この三つのポイントを日語学校の先生方が意識して的確に生徒達に教え覚えさせると良い。そうすると後から子供達が興味を持つとよく勉強し、よく漢字を覚えると話されました。

千葉先生の『音楽』も今日が最後でした。

5, 6枚のプリントをいただき、大急ぎで歌と踊り又、ゲームを取り入れた低学年用の授業をしていただきました。

上原先生の『海外日本語教育』も今日が最後でした。

教材は、上原輝男編の『はなちがナンで』の第3章、学年別記録の1年生の部を7つの短文を読ませられ何を言いたいのか、何を感じたか、との質問に寝むけも吹っ飛んで真剣に考えました。この『はなちがナンで』からそれも7つの子供達の言葉のスナップの内容でしたが、1つ1つ考えてみれば、子供達がどんな気持ちで話しているのか、その時の子供達の気持ちを理解し、その総てを知っ

て言葉のスナップを記録された先生方の洞察力の素晴らしさを感じ、もっともこの本から何かを得られるのではないかと思いました。本を読んで漠然とは、子供達がこんな気持ちで話しているのだナとは思っても、こんなに突っ込んで考えてみて、ピソッと言葉で表現してみると、なんとむづかしいものだと感じ、出来たらこの授業時間がもっと有ったらと思いました。

平山先生、千葉先生、上原先生どうも有難うございました。

夜7時から事業団の要請で、原先生、神山先生を囲み北村所長さん及び他の方々とAコース本邦研修生とで会議が有りました。議題は移住者子弟技術研修生の日本へ渡航する前に習得しておくべき『日本語の基礎』が作成されたので、その事について話が有りました。

この誌面を借りて、お礼を言いたいのですが、約この1ヶ月と言うもの地理に詳しい河埜先生、竹村先生に私達の通学の道案内をしていただき、本当にお世話になりました。やっと道に、電車で迷ってもちゃんと一人で乗れるようになりました。厚くお礼を申し上げます。

三 阪 尚 子

7月16日 火曜日 晴

梅雨は本格的に明けたらしく初夏のまぶしい太陽が朝から輝いている。ブラジル、サンパウロ組が到着してから1ヶ月目である。

授業	9:00~10:30	書道(口組のみ)	石川先生
	10:40~12:10	日本語を考える	片山先生
	13:00~14:30	美術	佐藤先生
	14:40~16:10	現地授業研究	正善先生

10:40より、イ、口組合流して短大会議室にて日本語を考えるは、最後の授業テーマは敬語について最近の日本は敬語の氾濫でTVニュースまで敬語の使い方に誤りがあるとの話である。

午後は美術の佐藤先生、先週作った紙版画を印刷する各自今まで画いた絵をとじて画集を作り記念品として頂いた。佐藤先生も今日が最後なので記念写真をとってお別れした。最後の授業は短大にもどり正善先生の複式授業について、ブラジルの研修生OBが発行している“虹”よりブラジルロンドリーナ市のめぐみ学園の酒井先生の実例を出され説明された。現地語も入れた絵カードを作りとても成果があがっている由、又、サンパウロの佐藤吉弘先生の学校の複式授業の説明があった後、朗読“ころちん”“なみは手かな”をして終了した。明日はめずらしく先生の都合で授業がない一日なので、それぞれ泊りがけで出かける人、そろそろお国へ荷物を送るべく整理をする人などたった1日のお休みを有効に使おうと一生懸命である。

河 埜 弘 子

7月17日 水曜日 晴

日本へ来て1ヶ月、毎日研修がありました。今日は全然授業のない珍しい日でした。ほとんどの先生方が外出されたようです。

私は、外国人登録を江崎さんと一緒に取りに行きました。その後、久しぶりにスーパーやデパートなど一人で買物に行き、とても楽しい1日を過ごしました。

夜は神山先生の習字を受けました。

因に今日午後3時頃、木陰で30度を記録したそうです。

佐藤 クララ 三窈

7月18日 木曜日 晴

日程

1時限 10時40分～12時まで

表現教育 方先生(芸Ⅲ 501)

2時限 午後1時より2時半まで

古典 法月先生

3時限 習字 Aコース ①組 咸宣園

1. 表現教育最初は心を落ち着かせる為、リラックスする2組になり1人が寝ころんで1人が相手の足、手、身体各分静かに動かして気持ちを楽に集中する。
2. 表現力の本を貸して頂きお互いに音読の練習をする。
練習後全員で音読の感情豊かに
3. 絵を見ての想像力
2組に別れて絵を見、想像しながら話を作る。そしてお互いに話し合う他の2組とも交換話し合い。
4. お話し作りは最初に先生がテーマを出して下さって4人組に成って1. 2. 3. 4. とつなぎ言葉で話し作り。①. 梅干, ②. しかし不幸, しかり幸にもを使って話しを作り発表する。
5. 橋を渡る遊び、橋を渡る時、負けた方が先に通る遊びである。

古典

教室が変更された理由は短 404室は大変暑い為、法月先生が涼しい場所を選んで下さったのです。

窓からは、風が入り大変ありがたく思いました。

能 狂言(先日の復習)

○ 文楽…土曜日の歌舞伎鑑賞の説明)

(文楽とは、目で見て耳で聴く)

○ 人形浄瑠璃に付いて→浄瑠璃姫の絵まき説明

- 薬師如来に付いて 浄瑠璃姫と牛若丸
- 竹本義太夫に付いて
- 「折」は劇場で歌舞伎の時間の合図知す楽器「拍手折」

能の場合笛 笛	}	人形劇をする人も陰でなく舞台に出て派手な衣装である。
大鼓		
小鼓		
太鼓		

最後に女殺油地獄の簡単な説明をして下さいました。

習字イ組の方は成宣園にてロ組の方解散でした。

今日も1日ありがとうございました。

花岡早智

7月19日 金曜日 晴

朝から35度の暑さで夏が始まろうとしているかのようです。

2時限目 3時限目 折紙 小川先生

今までに習った折り方で小川先生から頂いた和紙で各自好きな鶴を折り、又、先生が切ってこられた和紙でBAコースの先生方全員がひとつずつ連続鶴を折り最後に記念写真を写しました。

3回の講習でしたがとても楽しかった。

4時限目 正 善先生

アルゼンチン、アカスーン日本語学校の年間指導計画と、自作教材について実習して居ることを木田裕子先生が説明されました。

良く計画を立て教え方も良く出来ていると思いました。

最後に「ころちゃん」「海は手かな」を三回ほど朗読し練習しました。

夜、7時30分～8月30分まで総務課長からA、Bコースの先生方にお話が有りました。

夏スクーリング代金 78500円支払いました。

菅野初枝

7月20日 土曜日 晴

暑さで頭がボーッとするサウナにいるみたい。でもクーラーのきいた電車に乗るとホッとする。

汗をかきながら更衣室で体操着に着換え5階の表現教室へといそいだ。

第1時限、表現教育 方先生

朗読劇（リーダーズ・シアター）

「からすときつね」という題で20分位、台本読みの練習、朗読に少し表現を加え、しかしあくまで

読むという事がねらいであるから動作に気を取られすぎぬようにと御指導いただく。四人グループになって実演。

今日でこの授業は最後である。方先生は「数回の授業を通し、直接皆さんの授業に役立つものではなかったのですが、先生方自身が豊かな心を持ち、表現力をとおして何かを子供に与える。教えるのではなくて身につけさせるものである。授業を進めるに当り、先生が心を開き、子と子の心を通じ合うためにどのようにしたらいいかその手がかりを皆さんと共に学んで来ました。どうぞ御体にお気をつけ下さいませ」と結ばれた。

第2時限

現地授業研究 正 善先生

各校の効果をあげている点について授業内容発表

細田ますみ先生 イガラッペアヌー日本語学校（ブラジル）

初級のクラスを数段に分けてお話や紙芝居を教材に使い、程度をつけながら質問。日本語で考える力や表現力を身につけさせる。

竹村 美代子先生 イツベラ日本語学校（ブラジル）

合奏指導（たてぶえ・木琴・オルガン等）

たて笛は指導がむずかしいそうですが、まず始めにやさしいハ長調の歌を選び、楽譜で練習。大体覚えたら次の木琴の練習に入ります。子供達は色々な楽器に興味を持ち出すようになるのです。

上田恵美先生 松柏学園（ブラジル）

お話し・漢字指導について

新出漢字を全部ぬき出し練習、次に十回本を読ませ、テストする。パスしたら漢字のテスト、再び十回本を読んで先生に質問を受け、答えをノートに書く。最後に本を見ないで読ませる。

三阪尚子先生 イパチンガ日本語学校（ブラジル）

1984年度、検定試験合格について

日本語のわからぬ生徒に絵カードを中心に名詞・形容詞・動詞を教え、文作りを始める。

教材は、にっぽんごかいわ・わたしのほんご

昨年の検定試験に5名受けて4級、3級に全員合格

宗 仁子先生 マハーヤーナ学園（ブラジル）

会話指導に重点を置く

本にお話が出てくると、漢字、わけしらべをノートに出させ、ポルトガル語で先生が説明、それを暗記させ、読み方練習。強く読む所は線をひき、「レの部分はまるで記すように練習する。

よくお話出来る子は、出来ない子とませ絵カード等を使い使用度の高い言葉からなじませ、よく出来た子がリードするように授業を進めていく。

歌舞伎鑑賞 国立劇場大劇場

女殺油地獄 (14時半～17時30分まで)

本田 祐子

7月21日 日曜日 晴

23日から玉川学園の塾に入るので、それぞれ荷物の整理をする。クーラーが切っているので汗びっしょりになって荷物の整理をする。23日からいよいよ玉川大学の夏期スクーリングが始まるので、センターでの宿泊もあと2日だけになる。洗濯をされる方、買物に行かれる方等今日は1日ゆっくりくつろいだ様である。第1期の研修も時間に追われ、あっという間に終わってしまった。今日も1日中大変暑くすっかり夏の天気になった様である。

弥 政 忠 義

7月22日 月曜日 晴

いよいよ本格的夏に入った。駅から学園までの歩行も結構楽じゃなく、校舎に着くと汗びっしょりである。今日から数日間に渡ってブラジルから40日間の研修コースで来られた10名の研修生も仲間に入って研修を受ける事になり、一段とにぎやかになった。

今日の第2時限目は、教育を考えるとという題での石橋先生の講義である。先生は、教育の専門過程を大学院まで進まれ後、ドイツに留学45年間過ごされた後、帰国現在玉川で教鞭を取っておられる。最初、研修生全員が自己紹介をして、授業が始まった。人間形成の構造、教育とは何かと言う事を実に詳しく色々例をあげて説明された。

第2時限、3時限と午前、午後に亘って行われた今日の授業は、非常に興味ある内容であった。研修生達も、全員大きな関心を持って最後まで先生の非常に熱気湧れる講義に耳を傾けていた。

第4時限目は、文学部、第3校舎5階での音読調査であったが、それぞれ機械の前に座らせられ、研修生達は一寸ばかり緊張気味であった。

調査が済むと上原先生が何故この様な事を行うか説明された。海外生活が長いと自分では気がつかないが、かなり発音やアクセントが狂って来るとの事、幸いこの大学には毎年研究材料となる方が多数見えるのでありがたい、と笑いながら話された。どの様に狂って来て居るかその結果はすぐに分かるぬとの事良かったような悪かったような複雑な気持ち。

センターへ帰ると、一同は明日からの夏期スクーリング参加の為、準備に大忙がしであった。当分センターともお別れである。すっかり顔なじみになって職員の方々ともしばらくはお会い出来ないと思うと少し淋しい気がする。

佐 藤 記

7月23日 火曜日 晴

今日よりいよいよ玉川大学通信教育部夏期スクーリングに参加することになる。

昨夜は第1期のアンケートを提出する為におそくまでかかって書き入れた。A・Bコース全員起床後荷物をまとめてめて大きなカバン類は宅急便で送り出し、手荷物を持って一ヶ月の別れを惜しみつつ横浜の海外移住センターを後にする。

玉川学園短大に到着後、荷物を会議室にあずけてから授業にのぞむ。

「教育を考える」 石橋哲成 短大 404号室

10時40分より12時まで 13時より14時30分まで

昨日と同様A・Bコース全員と国際交流基金の方から来られたブラジルの日本語の先生方10名と合流する。

授業内容

昨日に続いて全人教育は、親善美聖健富の6つの価値を調和的に身につけねばならぬということにつき学ぶ。

個性尊重—個性とは、ただ人と違うという特殊性だけではいけない。人間教育に必要な基礎教養の普遍性があるこそ個性がのびされるのである。

「師弟同行」「絶対帰依の感情」「逆境即思籠」「作務即仏法」等を学ぶ。

労作教育は、実際に体験することにより、道徳性、芸術性すべてを学んでいく。「百聞は一見に如かず、百見一労作に如かず」

「教育とは」につき、わかりやすく私共が考えて行かねばならぬ点をお話下さり、有意義な講義であった。

授業が終わって国際教育室へアンケートを提出後、スクーリングの教材をいただく。其後、通信教育部の方でも、通大テキストをいただく。16時より入塾の手続きがあって後、女子は龍胆塾に入る。今晚からは、4人部屋に、中南米研修生2名と全国から集まった通り大スクーリング生2名とで共同生活に入る。私はカナダの一木様と仙台の方と沖縄の方と同室になる。夕食は18時よりで入浴は夜10時までなのでゆっくりする。

一ヶ月若い人達にまじってがんばりましょう。

山田美枝

7月24日 水曜日 晴

塾での第1夜を明かした。午前6時大太鼓の力強い響きと共にスクーリングの生活が始まった。朝食7時半、品数多いメニューにセルフサービスとあって食堂は長蛇の列。

午前9時、大体育館にてオリエンテーション開始、私達研修生一行は中央最前列に着席させられ感動的な喜びと緊張を感じる。玉川学園校歌、学生歌の練習、続いて森先生の講義。今年のスクーリン

グは35年目、3200名の入学生と聞かされた。体育館が一杯である。

11時より入学式、開講式が挙行された。国歌に続いて小原哲郎学長訓辞、「教育に生きがいを感じ、使命を感じ、それに自分の情熱を燃やすことの出来る人であってほしい。さあ諸君勉強しよう」との力強いお言葉であった。玉川大学のオーケストラ、合唱団によるベートーベン第九「歓喜の歌」に始まり数々の演奏の間々に学生宣誓、小学部生徒代表の立派な歓迎のことは、在学生代表の新入生歓迎の辞、表彰、教授紹介、そして校歌を合唱して閉会となった。

昼食後は自由時間で思い思いに過ぎた。6時より塾生全員が食堂に集合、楽しい会食をした。塾生活での注意と役員の方々の紹介があり、りんどう塾の舎館は長野先生と奥様である。

8時から塾にて全員の自己紹介があり、北海道から沖縄まで全国津々浦々の方々とそして私達中南米、カナダからの又とないめぐり合いに驚き、これから一緒に過ごす塾生活の1日1日を大切に仲良く元気に助けあってと決意を新たにした。私はドミニカからの川端様と宮城県からの大沼さん、新潟県からの築取さん（3階の世話係りに選ばれた）と同室である。9時半頃3階全員集合、色々な当番の割当を決められ明日から実行である。

10時就寝、素晴らしい思い出の1日であったことに感謝して床につく。

柴田 富士子

7月25日 木曜日 晴

朝6時、大太鼓の力強い響きと共に起床。6時半に全員で聖山に集合3200名が集り、皆でお祈りを捧げ黙とうを捧げました。その後賛美歌を唱う。それから小学部のグラウンドに行って体操をやりました。

朝食は会食で皆席に付いてから歌で始まり歌で終る。部屋に帰って当番の掃除をしてからスクーリング第一日目の授業に出るため8時15分に塾を出る。

1時限は国語教材研究で上原先生です。若い人達にまじっての授業で緊張で堅くなり勝、でも中南米からの先生達が13人も居らっしゃいましたので安心致しました。今日の授業は「日本語教育はこれで良いのか」と言う題のビデオを見せて頂きました。いかに国語教育がむずかしいか思い知った様です。その問題に付いて上原先生から講義をして頂く、3時間続けての授業が終ってほっと一息する。

2時限は取らなかったので午後3時45分から一般音楽です。江口先生の授業は始めてだがとても楽しく教えていただくいたので時間の立つのも早く感じました。又、年も忘れて楽しく1日を終る事が出来てとても嬉しく思います。明日も皆様と共によい日をすごせます様にとおもいます。

川畑 澄代

7月26日 金曜日 晴

私の部屋の一人が室長兼支部長兼なんか兼業で大変忙しくいつも走り回っている。一体いつ勉強

するのかと他事ながら心配してしまう。

今日は食餌（事よりこの方が良いと思う）当番に当っており山田さんと2人で働いた。盛り付けやテーブルセットは素手でする訳だが誰も手を洗って始めた形跡がないし、テーブル布巾でイスまで一緒に拭いてしまう能率の良さ。皆さん食中毒に注意しましょう。

食餌についてのKさんの意見は「なるほど」と思わせる所があるので披露致します。

『玉川の栄養士さんは、国家試験の受かった人で、センターの栄養士さんはまだ受かっていない人』なのだそうです。大変に鋭い観察ではありませんか。

第1時限「国語教材研究」大変に説得力のある講義で教師である事に命がけで取組んでおられるのが伺われた。

しかし、感心ばかりもしてられないので、先生はこう言われた。

『女は男より劣っている。それで呪術にかかりやすい。星占いや手相見等に一喜一憂している。』まあ女なんてそんな者だろう。（言外の気持）私も感性が鋭くなって、分って来た！もう1つ、額を被っている髪型をしていると感性が鈍る、額が一番敏感なのだそうです。おかつぱの人はいったい額をよく洗っているのかしらと心配しておりました。

第2時限「国語教科」1時限に書き方、読み方といういわゆる国語の四技能に関する方という捉え方、教え方はいけないのであると教わって、次の時間に話し方、書き方の教え方を教わるので変な気持ちになってくる。

漢字のテストもあって1.5センチの四角を想定し誠に細く々間違いがないか調べて採点するのです。1ヶ1点のもので間隔がまずいというので0.5引くのです。

今日は以上のような一日だった。時間がぎりぎり教室でいただく宿題や参考書に目を通す時間がないのが残念である。皆暑い中を頑張っているのであるし、実りあるものにしたい。

— 木 順 子

7月27日 土曜日 晴

入塾1週目の土曜日を迎える（待ち長かった事でしょう）

五時半起床、6時より避難訓練「火災」1階に起き、各階非常口より脱出（タオルを口に当て「オスナ・話すな」出来るだけ下（地）をほうように出室）小学校グラウンドに避難する集合（点呼）警備員さんより避難「火災・地震」について諸注意事項を聞く。

訓練後、体操、会食、歌で始め歌で楽しく頂く。食事後はそれぞれ掃除当番を済ませ、授業に出席。私達国語教材研究選考の方は16名内13名後の3名の方はそれぞれ選考された「8時40分～11時20分」上原先生である。

今日の授業内容「言語能力」について

言語は音声なり音声に形あり姿あり意あり

人間における能力（記憶力だけでない）

言語主体とかかわりを持つ

教育の原点＝出逢

場面を持たない言葉はありえない

言葉は感覚である

我々は自然界の一物である

類似語＝言い換え言葉（辞書で処理する）

小学校は全科制でやる。子供の心をしっかりつかむ

言葉の問題を考える。必ず人間を考える等々の受講義

昼食後のA・Bコース（希望者のみ）14名ひまわり劇団に参加。12時過出、2時20分前着、すでに正善先生は到着我々を待って下さっていた。2時より開始、会場も100名位の収容（余り大きくない）劇（民謡）とんとむかし十種物語、衣装も小道具も簡単で「動物、井戸、海の中まで」すべて表現され（動作）の大きく朗読もマイクなし、実技の鑑賞が出来、とてもすばらしく感動致しました。

終演後、演技者と共にお茶を頂き帰途。6時

外出外泊の許される日、皆さんそれぞれに飛んで行く（みなさん体のお洗濯をどうぞ）

志賀 美和子

7月28日 日曜日 晴

前日の夕方から宿泊届けを出しまして東京に向かいました。

舅は、昨年、前立腺ガンの手術を受けましてはやくも1年になります。手術はうまくいきました。人工膀胱をつけながら、開業医として山口県萩市にてますます健在です。舅はガンセンターにて検診のため、上京したのです。そして、Sホテルで山根会を開いたのです。舅のきも入りで毎年開かれていたのですが、私は幸運にもここに滞在しておりましたので参加できました。そこで私がみたものは、おいしそうなおごちそうもさることながら、舅が銀座教会に礼拝に出かけます時、カフスのボタンを止めて上げたり、ネクタイをなおして上げたり、人工膀胱をとりかえる時の気遣いなどとても細々したことを楽しそうにやっけてのける姑の姿でした。

これほどまでに家の人に親切にできるものなのだど頭が下がりました。それほどでなかった自分を悲しく思いました。家に帰りましたら、家人にもっともっとやさしくして上げたいと願ったのです。

山根 緑

7月29日 月曜日 晴

労作当番の日になり、6時15分、塾食堂前の電話ボックスの所に集合、聖山への道及び塾前の清掃に取り掛かる。

我々外地に住む者には珍しい。竹箒を使って龍胆塾の前を掃いたり、草取りをする。

日本で、草むしりをするのは、何十年振りで、露草、車前草、酢将水草、めひしば等昔懐かしい雑草を引き抜き乍ら、草の根と一緒に出て来た。蚯蚓に迄、懐かしさを覚えるのは年を取った証拠か或るいは「ものあはれ」を感じる所以か…。

労作は30分で終わり、物足りない位。

聖山礼拝も体操も免除され、食堂に直行、会食となる。

朝食後、洗面所の掃除当番でトイレの時よりも楽ではあるが、汚いこと夥しく毎日どこを掃除しているのかわからないくらいである。

1時限目は、国語教材研究。上原教授の毒舌には大分慣れたが、きっぱりと扱き下ろされた当人は、悲しいと思う。

講義は演習、教材研究。

今日から1人ずつ演習をやらせると聞いていたので内心ビクビクしていたが、1人30秒以内に一言で答えよとの事で少しホットとする。でも論理的に明確に答える事に不慣れの我々は考えれば考える程、言葉が出て来ない。

「教科書研究の結果、教材が成立するのであって、教材化は担当教師の実力相応の次元でしか成立しない。」との事である。

「上手な、うまい授業をやろうと思うな。やろうと思っても出来ないし、出来なくて当たり前である。下手だったら生徒が勉強する気になる。如何に子供に勉強させるかが大切である。」

「つばめ」の所を1人ずつに質問され乍ら、授業を進めて行かれたが、皆考えすぎてわからなくなり、正しく答えられず、オロオロしていると、けちゃんけちゃんに貶され、自信を喪失したり、それを通り越して可笑しくなったり…。上原先生独特の名講義で聴講生の我々よりも通大生はレポート提出で大変だと思う。

大切な事は「子供を育てる」ことであって「人間歴史の存続の為に国語教育をする」のであるから、この事を感じて教えればいいのだそうである。

わからない中にも胸に響くことがあるのではないかと思う。明日でこの講義が終わるのでAコースの皆さん気が抜けるのではないかと心配になる程。

3時限目は、小宮先生の音楽。江口先生に習った「歓迎の歌」で小宮路先生をお迎えし、楽しい音楽の授業。導入が実に見事で教わる者の心をしっかりと掴まれ、時間が経つのが短く感じられる。

夜は、会食の後、小原國芳先生の映画で生い立ちから玉川学園創立から亡くなられる迄で感激した。

今日も暑く、熱帯のバイアに郷愁を感じる。

バイアの夜の方がずっと涼しいのだから…。

竹村美代子

7月30日 火曜日 晴

今日は、私たちの部屋が日直当番にあたり、私は山根さんと朝6時前より日番室へ行き、6時の太鼓の合図とともに起床の放送をしました。慣れない事なので放送する時はちゃんと聞こえているか心配でした。私たちの当番は8時まででしたので、朝食後急いで第1時限目の国語教材研究の教室へ行きました。あいかわらず厳しい講義でした。今日は教材による演習なので、それぞれ順番に質問されました。大事なことは教材の中の仕掛けを見つける事だそうですが、悲しいかな、それがどこにあるのか解らないのである。2時限目は教科音楽で初めリコーダーの練習の後、楽典の「音程」について1時間勉強した。後はオルガン組とピアノ組に分れてそれぞれ実技の練習をしました。3時限目は一般音楽で文Iまで行かなくてはならないので、音楽練習室よりかけつけました。小宮路先生の授業はずばらしいです。「さあおどろう」を歌った時など教壇の前の机に上がって先生みずから踊り出してしまいました。先生の授業を受けると1日の疲れもふきとぶようです。

今日も、あっと言う間に1日が急ぎ足で過ぎてしまうような気がします。

縄田 ますみ

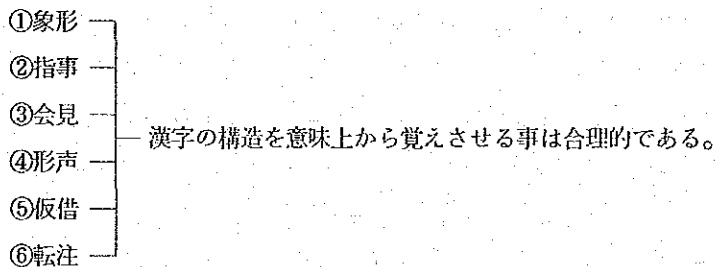
7月31日 水曜日 晴

午前6時5分前に起床。今朝は聖山での礼拝、体操は休みのためゆっくりと7時前に塾食堂に行き朝食をすます。部屋の掃除の後、第1期スクーリング最後の授業の上原先生の国語教材研究を第1時限目、70分だけ受ける。後の70分の通大生のための試験で、私達中南米組は、上原先生に挨拶して、サインを著書にさせていただき早退する。

授業内容は、子供達の世界は大人達の世界とは違い意識空界と言うものが有る。その世界を私達が担当するのだから子供達をもっと観察し、よく知る事が大切だと話された。それと昨日の続きで 用具言語の指導

文字の指導—ひらがなや、カタカナ、漢字を習得さす。

漢字指導—④ 六書（りくしょと読む）



⑧ 漢字には分類と成り立ちが有る事を教える。

◎ 部首名称

偏（へん）旁（ぼう）脚（きゃく）冠（かん）
繞（にょう）構（こう）垂（すい）を教える。

① 漢字の音と訓を指導する。

以上

午前10時15分頃塾に帰り、洗濯をする。なんとなく両手を上げて万歳と叫びたい気持ちになった。我ながら良く頑張ったと。これで夏期スクーリングの1/3を消化した事になり、後の2/3を全員で無事に終了できるよう祈ります。

川畑先生は、今朝病院に行かれ胃の検査をされ、その結果胃がび爛しているとの事、どうかお体を大切にして下さい。

午後から昼休みをして午後3時50分の第3時限の小宮先生の一般音楽を受ける。楽しいリズム遊び及び歌を力いっぱい歌う。途中小原園長先生が参観され、私達生徒に素晴らしい言葉を送って下さいました。小宮路先生も伴奏して下さいました。長嶋先生も汗びしょりで本当に有難うございました。夕食は自由食なので中南米組の先生方と揃って食べる。初めて大きな桃がデザートに出て美味しかった。

食後、竹村先生、木田先生と園内を散歩し、久しぶりに充実感の有る一日を過ごした。明日から2日間の連休のため、外泊される先生方も有り、この2日間を有意義に過ごし、そして体を休め第2期スクーリングも元気良く迎えましょう！

三 阪 尚 子

8月1日～2日 木～金曜日 晴

スクーリング1期も昨日で終り全員ホッとした様子。私達の同室は2人共九州の人で今年初めて参加の若い坂東利久子さんは長崎で小学校の先生、今年4年目のベテラン、浦田和子さんは小倉、主婦で将来は身障者の学校の先生になりたいとか去年もブラジルの坂野先生と同室だった由、御二人共とても明るく親切な人達でうちとけて仲良くやれるのでうれしい。

佐藤クララさんと私は31日3時限目の授業が終って外泊届をし、群馬県富岡市にある義兄の家へと急いだ。上野から高崎線で高崎まで、それからかわいい二両編成の上信電鉄に乗りかえ、夜9時半ごろ上州富岡へ着く。夕立ちがあって涼しい田舎の駅に降り立つと、東京の暑さはうそのようだ。駅から電話をして待つこと5分程で義兄が車で迎えに来て下さる。11年ぶりの再会の固い握手を交す。夫と一緒にないのが残念。初対面の姪もいて、ブラジルのおばさんってどんな人？と期待されていた由、現物を見てがっかり！なんて思われないかしらと心配しながら対面する。

1日（木）は近くの妙義山へ登る。毎週なので人かげもまばら、きれいな景色おいしい空気をお山のてっぺんで胸いっぱい味わう。夜は名産の下仁田こんにゃくをさしみで頂く。なつかしい味、話に

花が咲いて遅くなり、たたみの部屋でゆかたを着て寝る。クララさんは初めてのゆかたに大喜び、写真をとってねる。

2日朝、ねぼうして遅い朝食をとり、高崎観音へ行く。白衣大観音と言われ、身の丈41メートル重さ5985トンもある胎内に入れれば遠く赤木山も望まれる。素晴らしい景色であった。お昼すぎ、高崎駅で義兄と又の再会を約してお別れし、一路東京へ夕方玉川着楽しい小旅行を終えた。

又明日から始まる2期のスクーリングを一生懸命がんばろうと思う。

河 埜 弘 子

日本へ来てから初めて小さな旅行をしました。群馬県の景色はとてもすばらしかったです。そして河埜好明一家にあたたかくむかえられ、本当にうれしかったです。日本の田舎の風景も楽しめたり、初めてたたみの上にゆかたを着てねるという経験もしました。

さっそくブラジルへ手紙を書きました。日本へ来てたくさんのお友達ができ、塾の日番も替えてして下さる同室者の親切もうれしくみなさんに感謝の気持ちでいっぱいです。

佐藤 クララ 三笏

8月3日 土曜日 晴

森の小鳥が「南米の研修生、涼しい風を送りますよ。」とでも言って下さっているのかな、蒸し暑さ少々やわらぎ今日は3階の窓から涼しいかぜが部屋に入り、バラグアイのからっとしたあおぞらを思い出されずにはられません。皆さんが交わす挨拶も「今日は、本当に涼しくてよかったね」さて、

スクーリング第2期開始……午前の部なし

午後2時限開始…岡登先生 文I 300

1. 最初に図画工作に付いて

- たとえて山本先生自由画教育者に付いて (ある娘さんからの質問)
- 「先生どんなにして絵をかかせるのですか。」

「教えると言う事は自分の感じではない。人に教えて頂くことは自分の絵ではない。絵はつまり自由にかくことである。」

2. 一体図画工作とはなんであろうか。

- 造形、表現、活動

3. 美術、美に付いて

美一快一

4. 次の問題に付いて棒線なり引く (各自表現する)

- 1. 静かで平和な感じ
- 2. はげしい一力強い
- 3. さびしい一悲しい
- 4. 腹ただしい一しゃくにさわる

5. 苦しい一稿ましい

1枚のプリント配布、休憩時間にアンケート書き提出。

一般音楽 3時40分～5時 木下先生 文I 400

合唱、虫の声、友達はいいな、その他手遊び歌時間の過ぎさるのも忘れるほどである。どうか明日も涼しい風がメロディーのように流れて来るようにと祈りたい。

花岡早智

8月4日 日曜日 晴

今朝は、太鼓の音も響かず塾も静かで目が覚めたのは6時30分、お日様はもう上の方でした（3階）部屋の窓から見下ろすと早々と外出する人達が門の方へと歩いていました。今日は当番も無く自由な日ですのでそれぞれに好きな所に行くのでしょうか。朝食、昼食、夕食も食堂はひっそりとしていました。私は風邪を引いて寝たり起きたり隣りの友達と笑い話をしたり買物を見せて頂いたりして一日塾で過しました。

菅野初江

8月5日 月曜日 晴

ブルブルンと空にはヘリコプターの音、時どき小鳥のさえずりが林の中から聞こえる。月曜日、今週もこの暑さにめげず頑張りましょうと決心したものの、このむし暑く、重苦しい夏には勝てそうにもないスクーリングの第1時限こっくりする人はあまり見かけない私は頭の後部からわけのわからぬぬむけみたいなものがおしよせて来るように思えた。目はぼやついて来た、ねむい、どうしようもない。スクーリングとは、一方に於てねむけとの戦いでもある。

昼食をすませて殆んど先生は、第2時限目に図工教材をとられ造形教室へといそぐ。私は塾で自習。

第3時限目は一般音楽、木下先生、全部輪唱

虫の声、さあうたいましょう、さらば天には栄え

おはぎの嫁入り、手拍子は風にのり唄にのり

先生のお話に全員、耳をかたむけ歌い、笑い、70分の音楽の時間はあっという間に終わってしまった。木下先生最後の授業とあって記念に先生のサインをお願いした。

夕食をすませると7時半から塾食堂の労作である。雑巾を各部屋から2枚ずつ用意して400名近くの塾生がグループに分かれる。

机を外へ運ぶ人、バケツに水を入れる人、それを運ぶ人、デッキブラシで床を水洗いする人、いすをふく人、ガラスをみがく人、おしゃべりをする人、適当になまける人、ロックを聞きながら水かけ

ごっこが始まった。まさにお祭りである。

1時間半の労作で大食堂もきれいになりました。9時になってやっと労作委員の方の「皆さんおつかれさま…」との挨拶で今日のすべてのおつとめはおわりです。ごくろうさまでした、おやすみなさい。

木田 祐子

8月6日 火曜日 雨後曇り

起きて見ると、空は今にも雨がふりそうであった。今日は伊豆長岡での第33回児童劇夏期大学に参加するというのに、雨かあ…。全員学園前の駅に8時30分1人も遅刻する事なく集合、しかし大雨が降り始める。先生方から「どうして私達の旅行の時ばかり雨が降るのでしょうか」と不満の声しきり、金平先生の引率で出発、小田原で乗り替え一路長岡へ。三島あたりで富士山が見えるのかと思ったがあいにくの天気、残念帰路に期待をつなごう。昼前に長岡ホテルへ到着それぞれ街に出て、昼食をとり、受付で参加費を払い、各自割り当ての部屋に入り旅装を解く。午後1時より開会式、2時～5時まで分科会、生越先生、長谷川安佐子先生の指導される分科会(3)中南米の先生方の中では自分1人少々不安ではあったが長谷川先生の名進行で不安感も無くなり、意義有る分科会であった。夕食後の“北から南から”の部屋ごと1分間の自己紹介、同室の5名の先生方と風呂にて頭をひねり、“大じょうぶ会、泪ぐみ”と名うち、やることに決定。まあまあのできばえであった。夜中の2時頃まで6名で雑談をかわす。ほんとうに楽しい有意義な1日であった。

弥 政 忠 義

8月7日 水曜日 晴

夏期大学、2日目久しぶりに快適な冷房の利いた部屋でぐっすり眠ったので、すっかりした気持ちで起床する。午前中は、各分科会に分かれて研究、私は低学年用の演劇を選んだのであるが、中南米からの人達と一緒にしたのは一木さん、縄田さん、玉田さんであった。担当は、玉川大学で短歌指導を受けた金平先生実に分かりやすく、ポイントをついて演劇の基本を指導して下さった。発声法、演出、演技、舞台装置などについて詳しく色々な知識を得ることができて大変収穫になった。金平先生と共に指導に当たった三友大五郎先生は、演劇指導の大家であり、氏自身が作られた脚本は多数あり、今回の練習に使われた。とべ!ヤゴたちも氏の製作である。

昼食後大広間全員集合、昼の集いを行う。色々な歌を合唱したり、面白いゲームに興じた。

尚、昨夜の各部屋のキャッチフレーズは、私達の部屋も特別賞に入り、一同大喜びであった。午後は20名ずつグループに分かれ、即興劇の練習を行う。先ず脚本づくりから始め、それぞれ、役を決め、演技練習をする。練習してるうちに、いろいろと新しいアイデアが出て来て、結構楽しい劇になった。

夕食後、7時からいよいよ発表会である。次々と面白い、劇が発表され、見物人一同腹をよじて

大笑い。我々のお話のマントに入ったやくざ」もなかなか好評であった。

発表会の後は、クラブでパーティ参加、楽しい1時間をみんなと共に歌ったり踊ったりして過した。

いよいよ明日はこの夏期大学も終了、みんなそれぞれ自分の地へ帰るわけであるが、遅くまで名残り惜しそうに語り合う。カップル、グループがあちこちで見受けられた。

佐藤吉弘

8月8日 木曜日 晴時々曇り

昨夜のコンパで踊ったり、飲んだりの後も続きがあったらしく同室の若い人達は、起きるのがつらそうだった。

朝7時30分に朝食をすませ、荷物を整理して、荷物を持って大宴会場へ行く。A・Bコースは8時にロビーに集合して金平先生に御案内していただき、長岡ホテルの横にある藍染工房を見学した。たて藍の堆肥を使っての染め汁の作り方を説明して下さり、白いハンカチを実際に染めて空気にふれると布が黒ずんだ緑色になり、水で洗うと紺色に変わるのを見せてくださる。昔の人はよく考えたものと感心する。

9時より大宴会場に於いて劇作家別役実先生の講演「動作と言葉」で御自分が児童劇を書かれた時にどうあるべきか考えた点について述べられた。

「動作と言葉」については、生活環境は言葉優先である。演劇の場合は動作が先行して、言葉が付随せねばならぬのではないとか、子供の感受性の豊かさを児童劇に入れて行くこと。又、非日常的なものが演劇で出来るなどのお話があった。11時に終わる。

11時15分より第33回学校劇夏期大学の別れの集いをする。

(全員輪になり、歌とシュプレヒコールによる演出)最後は一同が肩を組んで「ありがとうさようなら」を歌い、感激に胸をつまらせた。11時30分に解散し、私達は、金平先生始めお世話になった先生方に御礼を申し上げ、同じ分科会の人達、同室の人達と別れを惜しみつつ、ホテルのバスに送られて伊豆長岡の駅へ着く。

13時50分発の特急「踊り子」まで2時間あり、各自自由に昼食をしたりして時間を過した。帰途も熱海の町、沿線の眺めも楽しかったし、丹那トンネルをくぐるのも嬉しかったが、富士山の姿を見ることが出来ず残念だった。疲れたが充実した3日間を過し、一同揃って玉川学園の塾に帰る。

同室の一木先生は、塾生活は疲れるので、弥政先生が下宿して居られる玉川学園駅前の下宿へ今夜より移り変られた。

夕食は、明日でスクーリングの第2期が終わって帰る人の送別会でにぎやかに過す。其後21時までお別れのダンスパーティがあったので、入浴時間が23時まで延長した。私と同室の人達が少し早く行って掃除を始めて居られたので少しだけ手伝って終わる。疲れたので早くねたかったのにおそくなった。

伊豆長岡での生活が快適だったので又塾生活にもどるのを心配したが、前より涼しくなり少し、し

のぎやすくなっているのではっとした。

山田美枝

8月9日 金曜日 晴のち曇り

今日も6時大太鼓のひびきと共に一日が始った。素晴らしかった新鮮な伊豆長岡の思い出を胸に飛び起きたが疲れてなんとなく体が重かった。久しぶりの聖山礼拝、緑の丘に日の丸の旗がひるがえり、静かな森り賛美歌がこだました。今日も一日皆がよき日あらんことを祈る。グラウンドで軽い体操、朝食は嬉しいパン食だった。第1時限日はお休みなので洗濯をしたり、手紙を書いた。第2時限日には道徳教育、前島先生の講義を聞きに行った。

第2時限、一般音楽小宮路先生最終授業、楽しく歌い踊り、そして明日ある音楽発表会で歌う3曲「いざな」「さあおどろう」と「榮光あれ」の練習をした。グループの中からの希望者が各曲ずつ指揮と伴奏をした。明日は木下先生、千葉先生、江口先生、小宮路先生担当の4グループが大体育館で発表することになる。小宮路先生グループ声高らかに頑張ろう！

ひき続き、礼拝堂での合唱指導課外授業に参加、又4人の先生方交代で歌いに歌い踊った。実に楽しかった。

柴田富士子

8月10日 土曜日 曇りのち雨

今日は2期最後の日で、試験があるので昨夜も遅くまで勉強していらっしゃいました。今朝は聖山礼拝は無いので塾食堂に集り会食だけでした。それから各部屋ごと記念写真を取りました。それから第1時限は取って居ないので町田に行った。第2時限は道徳教育で前島先生の講義を受ける。人間には現実+夢+ユーモアとセンス+英知のバランスをとる日本人はユーモアが少ない特に女性はユーモアが少ないので心にやわらかさを持って居ないそうだ。日本女性は美しいが一番やっかいとの事。ちょっと分からないことも有ったがとてもおもしろいと思った。

第3時限は音楽の発表会でした。最初に学長先生のお誕生日だったので学長先生をお迎え致してハッピーバースデーとお誕生お目出とうを歌いました。その後、木下先生、小宮路先生、千葉先生、江口先生、担当の4グループがそれぞれ2、3曲ずつ発表していった。

どのグループも皆とってもきれいに良く歌った。終わった後も皆で歌って踊った。それからアンケートを書いて出した。そうして小宮路先生グループは皆で大体育館前で写真を取りました。発表会の終りまで本当に楽しく時間のたつのもわすれてすごしました。

川畑澄代

8月11日 日曜日 あめ時々はれ

塾を出て3日目、ここ2、3日はゆっくり眠る事ができた。落ち着いて自分の事を考えるゆとりがあるという事は非常に大事な事と思った。

人生も下り坂にさしかかった者として日本での3ヶ月は貴重な時間であり、勉学の為自分一人でこれだけの時間を使える事は二度とないものと思う。客観的に現地教育についても考えたり、見直したりする時間が持てて本当に良かった。

もう残暑の頃時には、はや秋風かとも思われる昨日、今日、ひさしぶりに友人と宗教やこれからの自分の人生や家庭教育について話し合う事ができた。日本は豊かな国であるが、肝腎の所ではまだ戦後の貧しさを抜け出していないのではないかと思わせられた。(今日の日誌、私までまわって来ないだろうと思っていたのに、私の分、紙をあけてあり書かざるを得なかった。忘れられていない事を喜ぶべきか悲しむべきか…。)

一木 順子

8月12日 月曜日 晴

今日は、月曜日でも授業は休み(基礎講座の為)自由な朝、昨日より殆んどの方が外泊で居残りの方数名、それぞれ朝食を取り洗濯、掃除、近くに買物に出かける方午前中は気ままに過ぎた。昼食後(1時)より大体育館で学生会主催の合唱会があり数名参加する。千葉先生、長島先生の指導で歌ったり、踊ったり大学生に混じり我々童心に返った思いでわいわい大変楽しい一時を過ごす。4時まで先生の指導以後学生会でフォークダンスをする。若者について行く事は大変…やはり1年の差を考えさせられました。4時半開散、大変疲れました。早目にお風呂に入り疲れを取り、夕食明日より第3期「後一頑張りだ」皆さん頑張りましょう。

「特記」ラジオニュース9時半

東京発大阪行日航機(ジャンボ)長野県境御倉座当り

山頂に墜落乗客 524名内名前確認 232名の方

5Km付近に機体の散乱乗客の皆さんの無事を祈るのみ…

志賀 美和子

8月13日 火曜日 晴

1時限目 教科国語 片山先生

さっそくレポートの課題が出された。

『日本語は乱れている』について16日迄に提出のこと。

3時限目 音楽一般 高浪普一先生

“ハレルヤ”

“喜びの別れ” 作曲高浪先生

“輝く夏の日に”

“夏のうた” 作曲高浪先生

小・中学生時代は、生命力がどこまでもどこまでも伸びようと躍動しているはずなのだから、教師は、それを伸ばしてやらなければならない。

小原先生は、独身の男教師をつかまえては、「君、もう相手は見つかったかね。どうか信仰心のある女性を選びたまえ。」とおっしゃったそうである。最後に信仰心の持てる教師になれたらとてもいい、ともおっしゃった。

子供に、どんな歌を指導するかについて演歌と比較なされて元気な歌、労作の歌、讚美の歌、壮嚴な歌、自分が小さく思える歌等を指導する。くるくると背を丸めて人の後にかくれるような節まわしの演歌、夜の港町、わかれの涙、夜のネオン、雨にうたれて死んでしまいたい等と思わせることは、生命の躍動と反対の気持ちだから遠ざけてしまいたいとおっしゃった。

山根 緑

8月14日 水曜日 晴

午前8時過ぎ、個人的に南林間にある高座教会の牧師さんを訪ねて行く。

木立の中の礼拝堂（古いのと新しいの）を見せて頂き、牧師館でお話を伺う。12時15分、玉川に向けて電車に乗る。

第2時限の授業に遅れてはならじと玉川学園駅前から龍胆塾、短大400教室迄走りに走ったが、15分かかって5分の遅刻。滝の様に流れる汗に困ったが、いつもの最前列に頭を低くして着席。朝日先生の音楽教材研究の講義にすべり込む。いつもの事乍さりげなくいいお話を聞かせて下さる。発生練習、母音を美しく響かせて上顎の口腔を広くして声をお腹から出すといい声が出る。アイウエオ、タツテト、ラリルレロ、サジスセソ…と「キャンプの歌の節で歌う。前日より、きれいな声が出るので不思議。「雪の降る町を」「小さい花」「幸せを呼ぶ夕焼」を歌ったが、教える先生はやわらかい温かみのある声で心をこめて歌う様、指導される。一番高い音を取り出して練習したり、要求する事を強調して歌う。滑らかに気持ちを込めて歌う。「音楽の授業は、その気にさせなければならない。」授業中に個人的に怒ってはいけない。怒る時は年に一度位、その時間に授業する事を棄てて徹底的にカンカンになって怒る。先生は絶えず生徒に話しかけ、信頼感を植え付ける事が大切である。

音楽は、きれいごとではなく各自の心の叫び声を表現するものであるから、それが顔に出て来る。と話される。実にいい授業であった。単に音楽の授業のみならず生徒に教える場合、教師がその様に心すべきだと思う。

午後4時から文Ⅱ407教室で「北中南米を語る会」を催す。正善先生の御挨拶で始まり、続いて団長佐藤吉弘先生が挨拶をする。

A・Bコースの研修生が各自30秒で自己紹介し、次にこの会に出席して下さった22名の通大生が自己紹介をして各自が質問を出す。正善先生が司会をして下さり、質問に答えてA・Bコースの研修生が話したのであるが、時間が少なくて、的確に答えられず残念であった。

6時で懇談会は終り、後個人的な質疑応答に入ったが、私としては、質問の答えとして十分に説明出来なかったのではないかと思った。A・Bコース別れて「中南米を語る会」を開催すべきであると思って厳しい残暑であるが秋の気配がそこはかたなく漂い、日本らしい季節をつくづく感じる。スクーリングも残す所、一週間になり、もう一頑張りになった。もう少し、もう一踏ん張り、皆さん共に励まし合って行きましょう。

竹村 美代子

8月15日 木曜日 晴

いつも通り6時の太鼓の合図にて起床しました。この頃では太鼓が鳴らないものたりない気持ちです。聖山にて賛美歌を歌った後、グラウンドでポテトチップという体操をかわいらしく行いました。朝の会長は、椅子取り競争なみで場所の奪い合いです。決まった席順、が良いと思います。朝の掃除の後、新聞を読み悲惨な飛行機事故の様子に心が痛みました。

私の1時限目の授業は教科国語です。日本語を音声、文字、文法の面から分析します。日本語教師として大変役に立つ講義です。2時限目は授業がないので短大図書館にて本を読んでいました。5時までねばっていましたがクーラーのきき過ぎで身体がすっかり冷えてしまいました。

夕方頃本邦研修生の一人の方が急に体の具合を悪くし、とても心配しました。ゆっくり休まれたら良いと思いました。

縄 田 ますみ

8月16日 金曜日 晴

朝は、いつものように太鼓でおこされ、聖山礼拝、体操、朝食、体の調子の悪い菅野さんが病院へ行かれるので竹村さんがつきそって下さいました。病院は本町田セントラルクリニックです。お昼は三阪先生が竹村さんとかわりました。午前12時50分から3時30分まで朝日先生の授業。今日はりんしょうの指導それから歌を勉強しました。

夕食の時間に三阪先生が帰えられました。先生のお話しでは菅野さんの具合は良いようです。でも結果がまだはっきりしないと私達に言って下さいました。菅野さんが早く良くなるようにと祈っています。

佐藤 クララ 三窺

8月17日 土曜日 晴

今日は、スクーリング最後の週末である。授業も無いので外出、外泊する人が多かった。色々なコンパも出来て、その送別会などの人達もあり、大変であった。勉強も楽しく終りそうだ。我々同室の4人も昨夜は町田へ出てささやかな送別会を“お好み焼きで過し、今日はそれぞれの外出先へと出て行った。私は義兄がむかえに来てくれたので埼玉県の上尾市の義妹の家を訪問した。11年ぶりの再開で話がはずんだ。日航機事故で犠牲者の中に「カワノヒロコ」という名があったとかずいぶん皆を心配させたらしい。ブラジルにもTELしたところ、その話が出た。同姓同名であったわけだが心が痛む事故であった。暑い々スクーリングの毎日で病気にだけはなりたくないと思っていたが、菅野さんがついに倒れた。しかし今日はだいぶお元気になった由、町田の病院へ面会に行かれた人の話である。どうぞ早く回復して欲しいと祈ります。

河 埜 弘 子

8月18日 日曜日 晴

今日は、23年振りにアルゼンティンのガルアへ植民地で何時もお世話になっていた国際協力事業団の斉藤様にお会いするため、数日前から連絡がしてあり、本当に奇遇としか言いようがないが、木田さんも当時そのガルアべに居られ、木田さんのお陰で御一緒させてもらう事になり、お会いして来た。御夫妻共お変わりなく安心したし、とても暖かいおもてなしで、一日中昔話が出来て、良い思い出になった。確実に私達は気は若い、年を取ったと言う事だが皆元気でこうしてアルゼンティンでなく

日本で再開出来たなんて不思議な気持ちもするが、とても有意義な日を持ってとても嬉しかった。

三 阪 尚 子

8月19日 月曜日 晴

夕方もせみの声、こうろぎの声でにぎわう玉川の森の中、音楽で始まり音楽で終るようである。

塾生活スクーリングも明日で終り4週間も過ぎたのかなと思われる今日である。私達第3期は、音楽教材研究で朝日先生の授業（午後の部）

- 楽器と歌、発声、音痴、音名、階名、予備指揮指導に付いて
- 歌う時でも指揮をされる時でも感情表現豊かに一番大切であると、音楽特に楽しく子供になりきっての指導が大切であると、限られた時間に先生も一つでも多くと思って下さり、愛吟集をと歌は、はこぶ、我々研修生は試験は受けないので一時限のみ。
- 午前中菅野さんの入院した町田病院に行く。大分元気になられていた。
- 午後9時半より龍胆塾全員によるお別れ会をロビーで行う。一時的な出会にもかかわらず情愛は深かった。名残り惜しみつつ部屋に入る。一同菅野初江さんが一日も早くよくなる事を祈る。

花 岡 早 智

8月20日 火曜日 雨

私達がどこかへ出かける時は必ず雨である。今日はセンターへ出かける日である。ほとバスで東京見物へ出かけた日も雨、鎌倉行きも雨、伊豆長岡行きも雨。だれですか！私達の事を雨女（あめおんな）って言うてる人は、立って歌でも歌いなさい。

第1時限目 国語教材研究（8：40～9：50） 金平先生

学習指導の方法として個別化の指導について

子供たちはすべての学科がよく出来るとは限らない。その教科・時点によって異なる。それを考えなくてはいけない。教科と内容によって得意な子とそうでない子がいる。教える学習から学ばせる、与えるのではなくてつかませる学習でありたい。

個別指導を進めるためには、子供達が自ら学習しようという態度と姿勢を整える事が大事であり、学校は教えてもらう所という認識から、先生と共に自分達の力で学んだという事を見につけさせてほしい。

スクーリング3期末試験（10：10～11：20）

昭和60年度スクーリング閉講式（15：30～）

大体育館にて塾生活終了、5時までに退塾

通大生の方、宿舎係の方とお別れをおしんで4週間にわたるスクーリング生活の荷物をかかえて一路横浜の移住センターへと急いだ。雨の中を…

木田 祐子

8月21日 水曜日 晴

皆んな玉川の塾生活の疲れが出たのか、今朝はゆっくりしていた様である。センターに帰って来た。全員顔色がよくなった。10時半よりセンター江崎職員より関西旅行、郷里研修等の説明を受ける。午後2時より玉川学園に於いて、檜原村立藤倉小学校の小林司郎校長の僻地教育についての講義を受ける。東京都内に児童数18名の小学校があるのには驚く。

講義内容

1. 複式学級の特質

複式学級における基本的な考え方

2. 指導の構造とその方法

3. 教育機器などの利用

菅野先生が入院していて欠席されているが、早くよくなってほしい。玉川での研修も明日1日となった。

弥 政 忠 義

8月22日 木曜日 晴

朝からからりとした快晴、こよみの上ではもう立秋さすが気のせいかわ涼しくなった感じがする。

今日は、玉川大学最後の授業である。昨日に続いて小林司郎校長の僻地教育についての講義。今日は、スライドを使って色々と藤倉小学校の説明をされた。藤倉小学校は東京も県境の山奥にある生徒数わずか18名の学校であるが職員は校長、教頭、用務員を含めて9名、山奥とは言え教育器具を存分に使った教育、やはり経済大国日本ならの話、中南米のある日本学校では五、六十名の生徒を一人の先生がこなすと言う正に天と地の違いである。藤倉小学校は、けわしい山合いにある学校、校庭もせまくバレーボールがやっと出来る程度。スライドで教室の様子、体育やリクリエーションなどを行っている情景を見せていただく。先生1人に生徒3人～5人で授業にあっている様だ。少ない生徒での授業は、教師対生徒に親近感が強すぎてどうしても甘えの態度が出勝ちだから、ある程度距離を置いたら良いとの事。成る程と共感を覚えた。藤倉地区は、気候が厳しく真冬には氷点下15度に気温が下がるとの事、従って冬休みを長く、夏休みは短くして便宜を計っているが、それにしても冬の雪の積った道の通学は並大抵でなく生徒達は、路上で何度も転びながら雪まみれになって学校に着くこともある。僻地とは言う、その点まだ気候に恵まれたブラジルなどは良いかも知れない。授業を終えて希望者だけであるが、都心にある旺文社に、図書購入に行く。明日は研修生一同待望のつくば博見学、みんな早目に休んだ様子である。

佐藤 吉弘

8月23日 金曜日 晴

今日は、筑波の「国際科学技術博覧会を見学する日であった。朝7時にAコース15名（菅野さんは入院している為残念ながら欠席）、Bコース10名、子弟研修生5名、合計30名が移住センターの門前に集合し、7時15分に東急観光のバスにて出発する。

バスの中では、一同元氣潑刺で愛吟集を出して習った歌を次々と合唱する。1時間程で羽田を過ぎ、都心間の高速道路を走り一路会場へと向かう。8時40分に合唱は一休みして、車内で日本I. B. M. 提供のビデオで万博案内をしていただく。

日本I. B. M. 館は、科学を身近にわかりやすい形で見せている。万博の会場内には、十箇所の案内所があり、コンピューターで情報サービスして、行きたいパビリオンとか、レストランの案内をしてくれる。科学万博つくば85の目的は「科学の新しいイメージを探求する」ことであって、21世紀の人類のあるべき姿を求め、人間・居住・環境と科学技術の関わりについて理解を深めることである。

開催期間は、昭和60年に本邦研修生として日本へ来ることが出来、今日、この見学に参加できたことは幸せであったと感謝する。

ビデオを見ている内に、会場の南ゲート（月のゲート）に到着する。近くに世界一高い大観覧車がある。会場の何処からも見えるので迷った時に便利であるとの説明がある。高さは1985年に囚んで85米

で、8人乗りが48台付いているそうで、1回りするのに50分かかるそうである。バスを降りた所で記念撮影をしてから、午後5時までグループに別れて自由行動をする。

ビスタライナーやEXPO85スカイライドや、HSSPに乗ったり、余り長く待たなくても良いパビリオンを各自が見学して楽しむ。

テーマ館の実際の植物栽培などの展示も見ると、13・4米に伸びた1本のトマトの木より5643個のトマトがとれ、まだ増える可能性があるとか、土を使わず人工的に野菜を栽培するなど、南米では想像もつかなかったが、目の前に見て驚嘆する。

ソニーのジャンボトロンの美しい画面もしばらく楽しむ。エキスポプラザでは「日本の祭り」をしていて、座って太鼓の音を聴き、民族舞踊を鑑賞した。1日を充分有効に使って皆満足して午後5時に南ゲートの外で待機しているバスの前に集合する。2名が時刻に到着せず、心配していたら、東ゲートの方へ出てわからなくなり、迷子センターに保護されて連れられて来た。5分遅れて帰途につく。

帰り道は、一同疲れて歌う元気もなく、車内のテレビのニュースをみたり、うつらうつらしながら帰って来た。

途中、交通の渋滞で少し遅れ、午後7時40分に移住センター（着くと江崎様がわざわざ出迎えて下さった。

天候にも恵まれ無事に楽しい1日を過ごすことが出来て幸せであった。

山田 美枝

8月24日 土曜日 晴

今朝、起床するなり同室の山田さんから“おめでとうございます。と言われ、プレゼントまでいただき、びっくりした。なんと私の誕生日であった。朝食時にも皆様から祝の言葉をいただき、小宮路先生から教えられた愛情の花束の素晴らしさを今日、実感として味わった。なんと素敵な一日のスタート！

午前10時、センター4階の一室にAコース研修生15名（菅野さん欠）が集った。3ヶ月研修もいよいよ残り少なくなり、今日は、その帰京スケジュールの打合せが行われた。

川端課長の御挨拶に始まり、谷田さん（事業団）から9月12日、13日のスケジュール内容の説明があった。続いて近畿日本ツーリストの仲里さんから色々とお聞きして、各自が帰京日程を決めた。私は川端さん、縄田さんと一緒にニューヨーク経由で行くことになった。

午後からは自由で皆有効に時間を過ごした。

柴田 富士子

8月25日 日曜日 晴

今日は、日曜7時すぎまでゆっくり眠る。今日は帰国の日も分り荷物の整理をしたり荷造りをした。

それから根岸の店で日用品や学用品の大バーゲンがあり他の店の半額で売って居たので皆さんと共に買物に行った。皆安いので大きな荷物をかかえて帰って来た。それから午後は白鳥先生の御招待で辻同の駅まで行くと御主人とお嬢さんがお迎えに来て下さいました。又家に着くと先生始め御主人、お嬢さん方の大歓迎を受けて私共誠に恐縮致しました。それからそれぞれ自己紹介をし合ってからめずらしい飲物をつぎづきに出して頂き御馳走になってから先生の家の近くにある海岸へ皆で遊びに出かけました。海岸は風が涼しくて沢山の人が家族連や又若い人達が波乗りを楽しんで居ました。私達も海で遊ぶのは久しぶりでとても楽しくめずらしい石や貝殻を拾ったりして日が沈むのをめずらしく見ました。

それから家に戻り又御主人のお手作りのおでんや御馳走を沢山出されて皆で楽しい夕食を済ませてから飲物を飲んでテレビを見たり、先生方とお話しをしたりで時間のたつのも忘れて遅くまでおじゃまして、又帰る時はお嬢さんから花火を頂き外で皆で花火を楽しんだ。子供に返った様に皆で次々と花火に火を付け夜空がぱっと明るくなり、今日一日楽しかった事。それから先生方に別れてセンターへ返った。

川 畑 澄 代

8月26日 月曜日 晴

センター内での初めての受講。今までに比べてルンルンの重役気分。講義が始まる1時間前に集って歌の練習や長岡での分科会の発表をした。今日は第二分科会低学年の劇指導

目線の移動を意識する事

台詞の言い方、舞台装置

実技（演ずると見るとは大違い）等々

第1時限 現地授業研究（正善）

言語環境、アクセントによって意味の違う言葉等。

第2・3時限 日本語教授法（小峰）

話し言葉の練習、コミュニケーションゲームを通しての指導法。

教材は絵の切りぬきやコピー、貼りつけ等一見簡単だけれど、あれはかなり時間がかかる仕事なのだ。ウン。明日は1日中河原崎先生秘情報によると落語の大家との事。是非お聞きしたいものです。

夕7時から9時まで今回の研修に関する評価を1人ずつ発表した。一般に感謝の念を表した方々が多かった。このような機会を与えてくれた事を本当に感謝している。評価の面で大切な事は、自分の研修目的が果たせたかどうかでそこに焦点をしばって見なおしてみる必要があると思った。

一 木 順 子

8月27日 火曜日 晴

センターでの2日目の授業 担当 河原崎先生 口頭表現

授業が始まる前の30分間、夏期大学(長岡)での習得した各分科別復習発表今日は、弥政先生の発表です。劇で大事な事は(起承転結)である。(心のゆとり、自由に、自主的に、物を表現し、自ずから学び、教師が押し付ける事なく子供が延び延びやれる劇をする)舞台装置、演技、又ご自身の体験談等、お話下さりよい勉強になりました。残りの時間は音楽の練習をした。

第1時限10時より先生をお迎えするなり、白鳥先生にお聞きした通りの大変愉快的面白い先生にお見うけ、1日が退屈せず終りそう。始めに文型についてプリントを追って説明、インタビュー(質問作成)感想を述べる(表現練習)司会と進行(プリントを読む)下手だと思う人、司会の出来ない人、相手の気持ちを知らない人)座談会(文型、文法を間違わない事)教材は自分で作る、中間で1時間ビデオ鑑賞(ミドリ地球、テレビの旅、放置自転車等)1日の授業が楽しく終わりました。

志賀美和子

8月28日 水曜日 晴

センターでの3日目の授業。

10:00~11:50 正善先生

『ころちゃん』をBコースのM子さんが読みました。語気が明快で感情が豊にこもり、感動しました。わずか1ヶ月の間に素晴らしく上達なされたと思います。今後も新しい詩、心を打つ詩をたくさん演習させてください。

13:00~16:50 森田先生

『日本語の文の特徴』

『助詞・「は」「が」の違い』についてきびきびした、小気味がよい授業でした。

わたくし達の授業のために、このセンターにおいでくださる先生方は、よくどこの国から来たのかとおたずねになります。お答え申し上げますと、もうすでに講演旅行で、おいでになった先生ばかりです。とても、なつかしそうにおっしゃるので、いきおい私達もそんな先生方に親しみを覚えます。ここで一回きりの出会いかも知れないと思います、身が引き締まります。国へ帰りまして、いつか授業がマンネリ化してしまうことがあるでしょう。そんな時には、お便りをしているいろいろ教えを受けようと思います。

山根緑

8月29日 木曜日 晴

9時25分より自主学習。今日で4日目であるが、向学心に燃えた中年グループは三阪尚子さんの人形劇(第八分科会)の発表を熱心に聴く。

三阪さんは、苦心して作ったネズミの指人形を実際に動かし乍ら、人形の作り方、視線の位置、動作等について詳しく説明する。現地でも手近な材料を使って生徒と共に作って人形劇をやってみたり、面白いと思う。

第1時限目は、白鳥先生の日本語児童教育

教材や図表をトランク一杯持って来られ、ダイナミックな授業を展開される。「外国語としての日本語を子供の立場になって考えた上で指導する事が大切である。」と強調される。

絵カードを使ってのゲーム（UFOゲーム、神経衰弱、ペアの絵合わせ e t c）写真、絵から学ぶ日本語基本動詞、形容詞フラッシュカード（裏面にその動作状態を表わす言葉の日本語（そのローマ字読み）英語、スペイン語、ポルトガル語が記されている。）楽しみ乍ら学べるユニークな漢字カードの紹介及び説明があり、それらの補助教材を是非とも揃えたいと思う。（有難い事にJICAで、各学校に寄附して下さるそうである。）

日本語と日本文化を学ぶ世界中の人々、特に幼児、児童を対象によりよい教材を開発し、提供する為にボランティア活動をしておられる白鳥先生に深い感動を覚える。

第2時限と3時限目は昨日に続き、国際学友会の森田先生。

受身、敬語、因果関係の講義。練習問題を順番にやって行っただが、20数年前に習った国語の文法をちょっぴり思い出す。低学年の生徒には、このような文法、文型の授業は難しいが、日本語が堪能な高学年の生徒には応用出来るのではないかと思う。

午後の授業は睡魔との闘いであるが、練習問題のお陰で目をパッチリさせて4時50分迄パッチリ授業を受ける。

夜7時30分から来年度の本邦研修の参考に、時間割を作成する。専門的なカリキュラムではなく、私共の希望も含めてあくまでも「参考」にして頂ければ幸いである。

作成に御尽力下さった弥政さん、三阪さん御苦労様でした。

竹村 美代子

8月31日 金曜日 雨

9時25分より山根先生が伊豆長岡夏期大学で富田先生より受けられた朗読分科会の内容を発表された。

白鳥先生は、9時過ぎにはいらっしやり、講義の準備をいろいろとなされました。昨日に引き続き熱心な講義が行なわれました。今日は特に先生がお書きになった「わたしのほんご」を使って研修生に実習させました。その後、正善先生（奥様）よりユニークな折り紙「ゆびわ」「かさ」「くつ」の指導がありました。

午後は折り紙、和紙などを使い、「おひなさま」「般若面」の本格的作品を完成させました。

今日は久しぶりに雨が降りました。台風13号が近づいているという事です。夜にはかなり強い風が

吹いていました。

縄田 ますみ

8月31日 土曜日

今日は、Aコース待ちに待った関西旅行と出身地研修へ出発する日である。昨晚は、ひどい風と雨、台風通過でしたが、今日は風は強いものの朝から良い天気でした。新宿の本部から来ていただいた飯塚さんの引率で新横浜から新幹線にのり、京都着。市内観光バスで晩夏の京都を廻る、三十三間堂、金閣寺、平安神宮、清水寺に行く。だんだんお天気が悪くなりついに雨となる。我々が出かける日は必ず雨が降るので困ってしまう。6時、天満橋のホテル着、それぞれ個室に入ってゆっくり休む。明日は奈良観光だが、願わくば雨とはさようならをしたいものだ。

河 埜 弘 子

9月1日 日曜日 晴

今日は朝から良い天気になりました。京阪（大阪）ホテルで快適な朝を迎え、午前7時起床し、友達と朝食を済ます。午前8時30分にロビーに集合し、奈良観光旅行に出発しました。弥政先生は面会人が来られるとの事でホテルに残られ、私達は引率の飯塚さんと一緒に奈良駅に向いました。途中迷う事もなく電車に乗れましたし、早目に奈良駅に到着しましたので30分早目に観光バスに乗りました。まず東大寺の大仏殿-春日大社-興福寺-春日山ドライブ-若草山頂-十国台と忙しい見物をしました。十国台で朝食を皆様されたようですが、残暑厳しい京都、奈良でしたので、春日山ドライブの途中、気分が悪くなり、その前に一木先生も気分が悪くなって居られ、2人でバスに乗り若草山頂には行きませんでした。

昨日の京都よりもまだ奈良の方が静かで観光客も少く、昔の面影や自然が残っていたように思えます。午後2時頃、奈良駅から大阪に向いました。

三 阪 尚 子

9月11日 水曜日 晴

今日は出身地研修が終って全員そろったところで国際協力事業団から動詞カードと形容詞カードをいただき、そして江崎さんからすてきなプレゼントをいただきました。午後5:30から予定どおりコスモスレストランで玉川の先生方（上原、片山、金平、佐藤、小宮路、石橋、正善、吉成）江崎さんそして私達のおわかれパーティがおこなわれました。まず最初に私達の団長、佐藤にあいさつしていただき、三阪先生に司会、そして片山先生にはカンバイの音頭を取っていただきました。お世話になった先生方には私達から小さなプレゼントを1人々にお渡ししました。しめくりは竹村先生に私達代表としておわかれのごあいさつをしていただきました。

今日までほんとうに皆様と一緒にすごした日々をいつまでも心にのこるでしょう。

佐藤 窈 クララ

9月12日 木曜日

今日は朝から曇っていて涼しい日でした。

朝5時木田先生が何か荷物の整理している音に目をさます。私達研修生16名帰る日がまじかにせまってそわそわしておちつかない様である。

午前9時センターの4階講義室にて、真善美聖健富をかこんで皆んでサインをする。

長いと思っていた3ヶ月もあと残るところ3日間と成りまして今日は事業団で午後1時30分から閉講式が行なわれるので12時センター全員出発。1:40分到着、すぐ旅券を研修生に渡された。2時から感想発表があり、その後事業団の末永理事の挨拶が有りました。又玉川学園の片山先生、正善先生からも挨拶あり。

3時40分、Aコース研修生に修了証書が渡されました。佐藤団長代表で挨拶されました。

4時閉会国内事業課長の挨拶が有りまして引き続き45階の食堂で送別パーティがひらかれました。午後7時、事業団の方玉川先生方とお別れの挨拶をしました。帰り正善先生、白鳥先生と一緒に成りまして新宿の駅で正善先生と別れて白鳥先生と途中まで電車の中でお話ししているうち、花岡先生、木田先生、川端先生、柴田先生に私、白鳥先生の家にはさそわれ途中下車、6名タクシーで行きました。御馳走に成りまして帰りに漢字カードをおみやげに(16名)頂きました。センターに着いたのは(夜)10時ちかかった。疲れましたのですぐ床に入りました。おやすみなさい。

菅野 初江

9月13日 金曜日

朝からすばらしい日本晴れ、皆さんそれぞれにドレスアップなさって玉川学園へ。最後の通勤になりそう。

10時半までに玉川短大前、集合ホールの前で全員そろって写真をパチリ。

10時半、三角点で記念樹を植える。さくらの木

11時半、閉講式

玉川ともこれでお別れ、汗を流しながらかけのぼった坂も丘も今はなつかしさが胸をよこぎり、皆さん足どりもゆっくりと思いを心にさようなら。玉川の樹、玉川の花、玉川の校舎。

夕方6時半、センターにてお別れパーティ、若いBコースの先生方とセンターの皆様と、お礼をこめて感謝の気持ちで…

さようなら。good-bye, adios, adeus.

木田 祐子

(1年コース研修生)

5月17日 金曜日 晴

ブラジルを出て2日目。昼なのか夜なのか全く分からなく、狭い飛行機の中で皆もう大分疲れた様子でした。外を見ても見えるのは雲だけでした。

このVAR16機に乗っていたのは、サン・パウロと一緒に発った上田さんと宗さんと粉川さんと菅野さんと串間さんと私の他、ロス・アンゼルスで一緒になったペルーの池田さんと成田空港ではじめて一緒に乗っていたと分かったベレンの井内さんとアルゼンチンの杉山さんでした。

午後1時過。窓の外を見るとずっと下の方に大きい島が見え、私達はあれが日本列島ではないかと思いを飲み込みました。すると飛行機は少しずつ低く飛びはじめ、そのうち色様々な小さい屋根や水田がはっきりと見えて来ました。水田を初めて見た1人のお友達が「アッ、私達もうすぐ着陸するのじゃない？ほら、もう滑走路が見えているわ！」と水田を指さしていました。あまりにも感動して言ったので私はとてもかわいく思いました。

予定時間通りの1時30分に成田国際空港に到着しました。私達の胸は好奇心と不安とでいっぱいでした。おかげさまで税関では誰も荷物を開かれる者はなく、ロビーに出ると谷田さんが心配そうに首を長くして、私達をやさしく迎えて下さいました。

皆1ヶ所に荷物を集め、カナダの矢口さんが来るまで2時間程待ちました。日本人しかいない日本、日本語しか使わない人達、長いスカートをはいた女性達、自動販売機など、何から何まで珍しく、時間が過ぎるのも感じませんでした。

矢口さんが来てから、私達はバスで海外移住センターに向い、午後6時15分頃到着しました。

センターでは、江崎さんと川端さんに迎えられました。子弟研修の皆様を手伝っていただいて、バスから荷物を下ろし、ビデオ室で川端さんの歓迎のお言葉をいただき、江崎さんには部屋割りの発表と各部屋の鍵を渡していただきました。

部屋で一休みしてから夕食をいただきました。2日間も飛行機のお料理ばかり食べていたので佐々木さんのマーボー豆腐とお味噌汁を口にした時はなんとも言えない程おいしく、国の「お母さん」の味付けを思い出してしまいました。

食後、センターに住んでいる子弟研修の皆様と移住者の皆様に紹介していただきました。それから皆、お風呂で2日間の疲れを流し、早めに床につきました。

今日から始まる新しい生活、これから10ヶ月間、何事もなく、皆で助け合い、素晴らしい研修になりますよう心からお祈りします。

玉田 ルシア めぐみ

5月18日 土曜日 晴

時差の所為であるか、また新しいお部屋に慣れていない所為であるか良く分かりませんが、真夜中

何回か目が覚めました。周りを見回し「本当に日本にいるのかしら…」とか「10ヶ月間、ここが私の家となるのよね…」とか「夢かしら…」と次から次へと頭に、心にこういう思いが浮びました。

2日間、狭い飛行機の中でゆっくり、体を伸ばして休めなかった為、体中が痛かったが7時頃全員起床しました。そして8時に朝食でした。コーンスープ、パン、バター、缶詰のバナナとお茶が今日の朝食でした。

午前9時半に、全員講義室に集まり、センターの規律についてのオリエンテーションが始まりました。

最初に川端課長の御挨拶があり、その次に北村所長の御挨拶がありました。10ヶ月間、健康に気を付け、出来るだけ早く日本の生活に慣れ、良い研修が受けられることを願っていらっしゃるということが、お話の内容でした。

その後、私達の直接の責任者となる江崎様からオリエンテーションがありました。

絶対守らなければいけない規則。

1. 時間を正確に守ること。
2. 外出する時必ず受け付けにあるノートに記入しておくこと。帰って来たら、それを忘れずに消すこと。
3. 運動場がありますのでそこで運動をするように。
4. 友達やお客様とはロビーでお話し合いをするように。
5. コーヒーやジュースはロビーで飲むようにすること。部屋にも持っていないように。
6. 門限は午後10時。どうしてもその時間まで帰って来れない場合、必ず電話を入れること。
7. アイロンは受け付けにある。
8. 洗濯場とアイロン台は5階にある。
9. ドライヤーは出来るだけ洗面場で使うように。
10. 朝食は8時で昼食は12時で夕食は午後6時です。土曜日は朝食と昼食はあるが夕食はない。日曜日はお食事が無い。
11. お風呂は月、水、金の午後5時から7時の間に入るように、他の日はシャワーだけです。
12. 外泊をしなければいけない場合は2日前まで必ず外泊届けを出しておくこと。
13. 電話は午前7時半から午後の10時の間しか受けられない。センターの電話番号は045(751)1124
14. 出かける時いつもスイッチを切っておくこと。

以上で、江崎様のお話が終わり、本部からわざわざいらっしゃった谷田様から、銀行口座等についてのお話があり、できるだけ早く、キャッシュカードを作るようにということでした。又、本部の電話番号(03)346-5349を下さいました。東京の新宿に事業団の本部があるということでした。

これで12時頃、オリエンテーションが終わり、それぞれ自由になりました。休んだり、東京へ行ったりした人もいました。私は東京に住んでいる祖母に早速会いに行きました。日本での2日目はこれ

でやっと終わりました。明日ゆっくりお休み、月曜日から新しい心で10ヶ月の日本での生活の一步を踏み出したいと思っています。頑張ります。

5月20日 月曜日 晴

来日してから今日で4日目です。まだ時差ぼけを感じているのでしょうか、夜中の3時頃に皆、一度は目がさめたと話していました。

朝の7時に2階の食堂で佐々木さんが作って下さった朝食をいただきました。

今日は事業団の本部まで、あいさつへ行くことになっていたのも、皆色々としたくをしました。そして10時に江崎さんと共にセンターを出発しました。11時半頃に新宿の三井ビルに着きました。事業団の谷田さんが私達を三井ビルの45階まで案内して下さいました。そこには事業団の本部がありました。私達は本部の一室に招待されました。事業団の方々にそこで初めてお会いしました。初めに一人ずつ自己紹介をしました。それから事業団の方々から歓迎のお言葉をいただきました。12時半頃に昼食をいただきました。私達10人は事業団の方々と話しながらおいしい日本料理をたくさんいただきました。昼食会が終わると座談会が開かれました。私達10人はそれぞれ日本に来た目的や研修内容について色々と話しました。座談会は1時半頃に終了しました。

その後、私達はそれぞれ自由行動をとりました。

私達10人は色々な夢や目的を胸にいだいて遠い外国からまいりました。私達の目的や夢が来年の3月までには実現できるよう私は祈っています。

宗 仁子 マルガレッタ

5月21日 火曜日 梅雨

これが日本の梅雨と言うのだろうか、小雨が柔らかく降っていた。ペルーの池田さんが、始めて雨を肌で感じたと言った時、皆は大笑い。あちらではめったに雨が降らなくて、屋根もしていない家が多いと言う。なるほど、私達はそれぞれ違った性格をもち、又は異文化を持っている。共に、なかよく過ごし、お互いに助け合う心構えを育てて行く必要があろう。

今日は玉川学園の訪問なので、9時に江崎さんとセンターをでました。電車の乗り方をいろいろと説明していただいたが、3階も乗り変えがあり、さっぱり分からなかった。それでも何とか、交通路線図を見たり、駅の名をメモしたりした。いつの間にか、玉川学園前の駅についた。

そして、初めて見る玉川学園。皆の表情は、うれしさに輝いていた。

女子短大校舎で、オリエンテーションがあり、日程、バッジ、学生証明書、体育用のトレーニングシャツなどやいろんな教材を受け取った。

13時には文学部で私達に食事が用意されていた。そこで、国際教育室長、小原芳明さんの歓迎と挨拶

拶があり、担当の先生方の紹介が行なわれた。

瀬山先生（日本史）、片山先生（日本語を考える）、佐藤（美術）、平山先生（日本の文字）、金平先生（文章表現）、長野先生（国語教材）と正善先生（現地授業研究）以上でした。

その後のキャンパスツアーは小雨のため、キャンセルになり、今日の行事は終わりです。『ああ、これから10か月間通う玉川学園なのだなあ。』と思いながら、皆は緑に囲まれた、広く、美しいキャンパスに背を向けた。

粉川 イザウラ 幸枝

5月22日 水曜日

今日は、玉川大の初授業に私達は期待と不安に包まれて、小雨の中を、あの学園の丘をのぼって行きました。初授業は短大の国際室で行いました。研修生皆緊張していたけれども、瀬山先生の暖かい言葉を受け、安心しました。瀬山先生は、これから10ヶ月間私達に日本史を教えてください。

今日の授業の内容は、日本の紹介でした。例えば、日本の国民性、日本の風土。先生は、私達に分かりやすく、ゆっくり説明して下さいだったので、助かりました。その外、特別授業でしたので、とても良い気楽な授業でありました。これからは、日本の古い文化、長い歴史を勉強することができるので楽しみにしています。

2時限目は、長野先生の国語教材研究でした。この授業は文学部にある先生の研究室で行いました。今日は、これからの勉強について色々話し合いました。私達にはとても参考になると思います。4時限目は音楽でした。この授業は、工学部で行いました。最初の授業と違って、大学生達と一緒に受けました。私は、この音楽の授業を受けて失望しました。なぜなら、先生が説明している間に、学生達は、かってに眠ったり、おしゃべりしたり、そんな姿を見かけました。私が、今まで思っていた日本の学生は、規律正しい学生でした。それは、私の関知するところではないけれども、少し気になりました。

今日は、これで玉川大の授業は終わってしまいました。これからは、一日一日を大切に楽しく勉学に励んで行きたいと思います。

菅野 百合子

5月23日 木曜日 晴

一時限目から講義があるので、私達は6時に起き、朝食をしてからセンターを出ました。私はまだどの電車に乗って、どこで乗り返えるのか分からないので、ルシアさんの後について行きました。電車の中では人が多いのにびっくりしました。

一時限目は日本の文字の講義でした。平山忠義先生の自己紹介がありました。それから私達は自己紹介文を書いて、先生に渡しました。

先生は自分で作られた短歌を紹介してから日本の文学について説明しました。

2時限目は美術でした。佐藤和男先生は私達一人一人の希望を聞きました。それから日本に着いてから何が一番目に付いたのか先生が尋ねました、私達は玉川学園が緑に囲まれていることだと答えました。それで、先生はその気持ちを形にこだわらないで画用紙に表現するようにおっしゃいました。先生がおっしゃったせいか私は初めて自分の気持ちをそのまま描いて、気持ちがすっきりしました。

最後の講義は海外日本語教育でした。上原輝男先生は何年か前に中南米やカナダに行かれたそうです。

第1印象は良くなかったです。なぜあんなに私達をバカにするのかと分からなかったのです。でも、私達に色々と考えさせ講義を進められるのでとても良いと思いました。

講義は母語と外国語の区別や母語を習う時には苦勞をしないのに外国語になったらなぜ苦勞をするのか、言葉は音であり、感情、心の動きをくわえたものだと説明して下さいました。それから国際部に行って、正善先生の日本語についてのアンケートがありました。

私達は講義について色々と話しながらセンターへ戻りました。

明日、私達はハトバス・ツアーに行くので、夕食後、北村所長さんが色々な説明をして下さいました。

その後、皆、早く休みました。

明日、楽しいツアーになるように…

串 間 ジルダ

5月24日 金曜日 雨

今日は一日はとバスで色々な所を見物させていただき、大変つかれました。朝8時にセンターを出て東京駅で9時45分に集合しました。丁度話しあっていたら正善先生がお見えになりまして、皆楽しく子供のように行列し、バスに乗って10時に出発しました。ハキハキした器量の良いガイドさんで丁寧に説明して下さいだったので皆が喜んでおりました。

見物コースは次のようでした。

- ① 皇居
- ② 浅草寺
- ③ 東京タワー
- ④ NHK放送センター見学通路より番組の製作過程セットなどの見学。
- ⑤ 明治神宮 神宮外苑

最後に靖国神社 200万柱の御霊へ参拝とのことで時間におわれながらおみやげを買ってはとバスの前で写真を撮りました。東京観光は午後4時に経りました。その後、正善先生御夫妻が夕食に招待して下さいだったので、その足で高田の馬場駅で下車して直接先生のお宅へ行きました。奥様と近所の奥さ

ん二人のお迎えを受けて本当においしい親身、あふれるお料理を御馳走になりました。

正善先生御夫妻又事業団の皆様本当にありがとうございました。この一日は一生忘れません。

池田 美津子

5月28日 火曜日 曇

日本に来て12日間、やっと少しずつ色々な勝手が分かり始めました。

今日は2時限目から4時限目まで講義がありました。まだ初めての先生もいましたので先生がいらっしやるまでは内心ちょっと心配でした。

2時限目は片山先生の「日本語を考える」でした。

とてもやさしい、お話好きな先生です。私達に講義をして下さいの為、お一人でスペイン語をお勉強なさっていらっしやるとの事、スペイン語で片言を言ったりして、とても愉快な方です。今日は私達の自己紹介の後、日本語の発音と敬語と助詞の問題についてちょっとお話して下さいました。

8時限目は美術でした。

今日は皆で様々な折り紙をして、3つのグループに別れ、1つ1つのグループが自分達の折り紙を利用して物語を考え、発表しました。子供にもどったような気分で楽しく発表したグループもありましたけれど、まだ先生にもお友達にも恥かしく何も発表出来ずに終わったグループもありました。

4時限目は正善先生の現地授業研究でした。私はもうブラジルで正善先生の講義を受けた事がありました。今日は別に講義はなさらないで私達の自己紹介とそれぞれ国で勤めていた学校について少しお話ししました。先生がもう御存じの学校も幾つかあり、先生はその学校の教授法についてご意見を下さいました。

帰りに私はちょっと用事があったので皆と別れました。そのすぐ後粉川さんが気を失い、病院に運ばれたそうです。でもおかげさまですぐ良くなり、センターへ戻って休んでいました。国を出た時風邪をひいていた上、色々心配が重なったせいでしょう。

皆、身体だけは大事にして頑張りましょう。

玉田 ルシア めぐみ

5月29日 水曜日 曇のち雨

何日かお天気が続いたが今日は朝から雨でした。玉川学園に着くと同時に学生時代を思い出し、私も学生にもどった感じがしました。

○2時限目 日本史 瀬山先生

日本文化史、日本の特徴「連綿性」について色々話し合いました。

○3時限目 国語教材研究 長野先生

世界語の条件、国れんでまとめている言葉について色々説明して下さい、その次にはレリとり、

漢字あそび、言葉集め、言葉つなぎなどのゲームを教えて下さり、皆で楽しく遊びました。

○4時限目 音楽 田中先生

ソプラノ、アルト、テノール、バースに分けられ、愛吟集を使いながらなんとかして元気いっぱい、みんなそろって歌いました。

6時近くにセンターへ着きました。本日も良い一日でありました

杉山 ノルマ クリスティーナ

5月30日 木曜日 晴

今日は、JAPAN INTERNATIONAL SCHOOLへ授業参観に行きました。北村所長、正善先生、研修生の中野さんと永山さんもいっしょでした。

学校は、新宿駅から歩いて10分ぐらいの所でした白鳥先生が私達を迎えて下さり、色々と、学校のシステムを説明して下さいました。

次に、授業を見学させていただき、子供達と一緒にカルタで遊びました。子供に教えるには、ゲームや手品を使って楽しく教えるのが一番良いそうです。

午後は、JAPAN INTERNATIONAL SCHOOL 本部の土井レジーナさんの講義が行なわれ、スライドもを見せていただきました。その後、質問とお茶の時間があり気楽に先生方とお話する事ができました。

夜は、センターで、私達のために歓迎会が開かれました。これから10ヶ月、同じセンターで生活する子弟研修生ともなかよくしていきたいものです。

井内 典子 スエリ

5月31日 金曜日 曇り雨

日本に着て、今日で丁度2週間になりました。自分が日本にいるのだということがまだ信じられません。どこへ行っても人が多いのにビックリします。

玉川大学での授業は2時限目から始まりました。金平先生の文章表現の授業でした。初めての授業でしたので、先生は、まず、日本語について少しお話をなさいました。漢字の音と訓読みや、中国から日本に入って来た漢字と日本人が作った国字について説明をなさいました。

それから、先生は私達にプリントを配りました。「手紙文」と言う題名で、これから暫くの間、テキストとして使う事になっています。日本語で手紙を書く時に考えなければならないのは、「どんな用件で、だれに、手紙を書くのか」と言う事です。これによって手紙の書き方が変わってきます。日本人は季節の変化を深く感じるのでよく手紙にそれを表します。ですから手紙文に使えるような季節のあいさつの勉強をしました。宿題として手紙文を書いて来る事と、テキストの二頁「前文あいさつの書き方」を来週までに読んでくる事になりました。

昼食は、皆で大学の食堂でとりました。食堂では、人が多すぎるので、すわる場所もなければ、食べている時間よりも、行列している時間の方が長いような気がしました。

3時限目には、永井先生の体育の授業がありました。皆体操着に着替えました。今日は縄跳びをしました。一人一人で色々なパターンで跳びました。例えば、両足で跳んだり、片足で跳んだり、または、二人組で一人が縄を回して跳んでる間に、もうひとりが外から入って一緒に跳んだりいろいろしました。縄跳びをなぜ子供達にさせたら良いのかと言いますと、子供の運動神経と、リズム感を高めるためです。

これで、今日の授業が終わりました。皆でセンターに戻りました。毎日、朝から晩まで日本語で生活をする事と満員電車には慣れていないので、すごく疲れます。

矢口 真理子

6月3日 月曜日 曇

もう6月に入りましたが、毎日まだまだ涼し過ぎますし、雨も降り続いています。梅雨という時期のうとうとしさ、実感したことのある人しかそれこそ、どういふものか分からないでしょうね。

今日は、4時限目、上原先生の海外日本語教育の授業しかありませんでした。

今日の授業では、日本語、又、言葉そのものについていろいろ考えさせられました。

大人は子供と違ってもう頭が出来ています。言葉があるとすれば、それを考えながら覚えていきます。しかし、子供を教える場合、言葉は一体何でしょうか。子供は生まれると、自分には見える世界、そして音の世界しかありません。言葉を声に出すと、それには動機があり、子供はそれを感じます。いろんな人が同じ言葉を言っても、それぞれ何か違うだろう。人間は感情があり、心があります。ですから、言葉を教えること人間の音声を扱うこと、つまり心を扱うことでもあります。これを絶対に忘れないようにと先生は何回もおっしゃいました。

私は言葉について、あまり深く考えたことがありませんでした。言葉を声に出す時、自分の気持ちはそのまま相手に伝わっていく。一言一言、どれだけ相手に大きな影響を与えていくのか、成長している子供達を教える時、それに特に気を付けなければいけないと強く感じました。

このように、日本語を教えることは日本の心をも伝えることである。これからずっと子供に日本語を教える私達の責任の重さに気付かせられ、これだけでもう日本に来た甲斐があったと思います。

今日はたった一つの授業でしたが、考えることが一杯あり、やはり少し疲れました。

センターに皆で、一緒に帰りました。着いた時、またがっかり。首を長くして待っているブラジルからのお便り、なかなか着きません。ブラジルの郵便局、まだストを続けているのかしら…2週間位しか経っていませんが、やはりもう祖国ブラジル父母や友達がなつかしいです。

お手紙…明日は来るでしょうね。お祈りしています。

上田 恵美

6月4日 火曜日 晴

幼稚部参観

今日は全員朝の6時頃に起床しました。6時半頃に朝食をいただいて7時にセンターを出発しました。

今日は玉川学園の幼稚部参観日です。

私達は玉川に8時頃着きました。そして幼稚部の校長先生に出むかえていただきました。

校長先生は幼稚部の計画や目的について色々説明して下さいました。

幼稚部は子供を自由に遊ばせることに重点をおいています。

- なかよく遊ぶこと
- 遊びながら人間関係を育てていくこと

幼稚部の先生方は子供達に体験させながら色々なことを教えている。子供が一度失敗しても、何度も成功するまでやり直させる。失敗をおそれず、失敗をのりこえることができるような子供も育てています。

幼稚部では毎日宗教を通して、感謝の気持ちやあわれな者のために祈る気持ち等を教えている。

9時半頃になると、私達は二人ずつ組んで幼稚部の色々なクラスにはいって授業を参観しました。

そして12時に子供達と共におべんとうをいただきました。

昼食を終えると、私達は事務室に招かれて、幼稚部で使っている色々な教材を見せていただきました。

午後2時頃に玉川の幼稚部参観が終わりました。

私達はその後、それぞれ自由行動をしました。

宗 仁子 マルガレッテ

6月5日 水曜日 晴

第2時限目 日本史

4世紀の末に日本の国が出来始めた頃だった。国は税金を取りながら、動いていく。そこで、ある人からはいくら取るかを書くために文字が必要となる。中国から来た漢字を何とか、日本人は使っていた。5世紀の半ば頃、銅で出来た鏡や刀に字が彫ってあった。歌を読んだ時も漢字で残した(万葉集)

日本人は知恵のある民族で、中国のいろいろな文化を摂取同化した。そして、10世紀の末に平仮名が生まれた。紫式部の大ロマンズ、「源氏物語」は平仮名で書いています。

先生のお話は、そのように進みながら、今後は日本の神様について語り始めた。

538年に日本に仏教と言う思想が伝わって来た。仏教と共に中国の文化が入って来る。そして飛鳥文化に、お寺がたくさん作られた。仏教を一番、哲学的に捕えたのは聖徳太子だった。彼は大いに信

仰をし、中国に仏教や文化を学ぶため、留学生を送った。

皆はとても興味を持って先生のこういった日本史のお話を聞いていた。

第3時限目 国語教材

この授業では、日本の小学校の国語についてのお話を聞きました。

第4時限目 音楽

コーラスに参加するための音楽なので、私達の目的とはかなり違っているため、この授業（田中先生の）はキャンセルされました。

粉川 イザウラ 幸枝

6月6日 木曜日

今日は、全員6時に起床しました。朝食をいただいてから、大学に出かけました。

1時限目 日本の文学 平山先生

今日は、漢字のおこりとなりたちのことについて勉強しました。現在、日本で使われている漢字は4つの形からできあがった文字です。

1. 象形文字（形からできあがった漢字）
2. 指事文字（点や線である考えをさししめたもの）
3. 会意文字（意味をあわせてつくったもの）
4. 形声文字（一方が音、他方が意味を表したもの）

2時限目 美術 佐藤先生

この授業では、版画というものをやりました。

3時限目 海外日本語教育 上原先生

先日の授業の内容をつづけました。先生は私達に言葉をそのまま覚えさせるより、感情を覚えさせることが大事だとおっしゃいました。そして、日本語を教えるのには、日本人の心を理解しなくてはならないとおっしゃいました。それが、できなかつたら日本語の先生をやめたほうがいいとおっしゃいました。よく考えてみれば、日本語には、日本人にしか感じられないことがあります。たとえば、にっこり、ぴったり、さらさら、すらすら。この授業を受けて大変考えさせられました。

菅野 百合子

6月7日 金曜日 晴

今日も又きれいに晴れた一日でした。2時限目からの講義でしたので少し遅くセンターを出ました。

2時限目は、金平先生の文章表現でした。

先生は手紙文の書き方について講義を進められました。手紙を書く時一番大切な事は、「どんな用件で誰に手紙を書くかだそうです。それと「長文は悪文なり」との事、文章は出来るだけ短く書くよ

うに、とおそわりました。ブラジルの先生方に手紙を書かなければならない私にはとても参考になりました。

3時限目は永井先生の体育でした。今日は音楽のリズムに合わせて、まりを使いながら体操をやりました。運動不足の私にはとても良い運動になりました。

土、日、月曜日と休みですから皆多に楽しみましょう！

玉田 ルシア めぐみ

6月11日 火曜日 曇

私達は6時30分に起きて朝食をしました。9時15分にセンターを出て大学へ行きました。

今日は2時限目の講義、「日本語を考える」だけでした。先生は短歌を例文として、日本語の発音を説明して下さいました。その後、私達はそれぞれ自由行動をとりました。

串 間 ジルダ

6月12日 水曜日 曇

大泉小学校参観

9:30 本校着

9:40 学校紹介(学校要覧)

会議室

10:00 帰国学級観(日本語の学習)

個別学習室

6ゆり教室

5ゆり教室

10:45 休憩

会議室

11:15 4年生による歓迎集会

オープンスペース

12:00 昼食・休憩

会議室

13:00 施設見学(菊づくり集会)見学

13:30 懇談

会議室

15:00 本校発

池 田 美津子

6月13日 木曜日 曇

久しぶりに青空の見えない一日でしたけれど、風もなく蒸し暑かったです。

○1時限目 日本の文字 平山先生

6月6日の授業をつづけ、先生は漢字の組み立てと漢字の読み方について色々とお話し下さいました。

○2時限目 美術 佐藤先生

まず、先生の紹介から始まり、美術教育とは何であるかを皆で話合いました。それから、私達は前にこしかけていたお友達の顔の絵を書きました。

○3時限目 海外日本語教育 上原先生

本日はことわざの授業でした。「ことわざは技術があるので忘れない。その技術を覚えておけばその言葉を思い出せる。文字を書けないひとでもすぐ通じる。ことわざには、日本人の性格、日本人の取り方、日本人の気持ちが入っている」と先生がおっしゃいました。

pm 5時に玉川を出て行きました。もううす暗くなったところにセンターへ着きました。

杉山 ノルマ クリスティーナ

6月14日 金曜日 雨

今日は、2時限目からしか授業がないので朝はゆっくり玉川へ出かけました。

10:40分から12:10分まで金平先生の文章表現の授業が行なわれました。

授業では、原稿用紙の使い方や子供の作文の書き方を説明して下さいました。次に先週の宿題の作文を一人ずつ読み、良く書けている物は、コピーをしていただきました。

どの作文を聞いても、自分に心当りのあるような物が多かったです。

昼食は玉川の食堂で皆それぞれ自由にとりました。

午後は、永井先生の体育でした。今日も縄跳びをして、次にいろんな色のスカーフを一つずつ持って、かくれんぼをしたり、スカーフを高く投げて、手、足、頭や肩で受けてみました。手、足で受けるのは、簡単なのですが、頭や肩ではとても難しかったので、一生懸命になってやってみました。

スカーフ一枚でも色々なゲームが楽しめるのですから、子供に教える時は、きっとやくにたったでしょう。

井内 典子 スエリ

6月19日 水曜日 曇り雨

今日、玉川大学で、授業は一つしかありませんでした。10時40分から始まる授業でしたので、私達は8時45分にセンターのロビーに集合しました。この時間に電車に乗りますと、それほど込んではいないので、とてもうれしいです。

今日の授業は、長野先生の国語教材と言う授業でした。長野先生がおっしゃるのは、国語の時間では、内容だけを授業の中心としたらいけないと言うことでした。何かの作品を子供達に指導する時に出て来る人物の気持ちを考えさせるのと、様子を想像させることも大切です。そして、その気持ちや様子を表わしている言葉について、考えさせる必要があります。即ち、子供達に言葉を感じさせると言うことです。先生が「大きなかぶ」と言う童話のプリントを配りました。先生がおっしゃったこと

を基にして、「大きなかぶ」について、皆で考え始めました。次の授業で、この続きをすることになりました。

4時限目の音楽の授業が変更されたので、午後からは自由でした。

矢口 真理子

6月20日 木曜日 雨

今日も相変わらず雨が降り続いています。1時限目に平山先生の日本の文字についての授業がありました。今、私達にとって、うとうしい梅雨の時期ですが、農家の方々にとっては大変ありがたい雨であり、慈雨と言われていると先生は授業の初めにおっしゃいました。

今日は、漢字の筆順の決まりについて勉強しました。筆順を正しく書くことによって、文字を速く美しく、能率的に書ける。書体の中で、特に行書と草書を書いて分かるようになるのに、やはり筆順の原則を守って知っていなければいけないということです。生徒を指導する私達はやはり、文字を正しく美しく書けるように絶対努力をしなければならないとつくづく思いました。

午後からAコースの先生方とBコースの私達は一緒になって、小野先生のリトミックの授業を受けました。

最初に「紹介」というものをしました。時間を決めてその間に例えばせめて5人に「名前」、「生年月日」、「どこから来たのか」という質問をし、又それに答えること。その次「集中」というもので、自分の中に気を向け、その後、外の音に気を向け、その音で何かお話をつくること。最後にいろんな音楽に合わせて歩いたり、走ったり、踊ったりしました。大人である私達でさえ、楽しくいろいろやりましたので、きっと子供は喜んで、飛んだり、跳ねたり自分の気持ちを素直に表現するでしょう。今のあわただしい世の中、狭苦しいアパート暮らしの子供達に是非今日の授業のような雰囲気、又、機会を一杯つくりたいと思います。

上田 恵美

6月22日 土曜日 雨のち曇

今日は全員、朝の6時に起床しました。6時半に朝食をいただいて、7時頃センターを出発しました。

1時限目 表現教育 方先生

静かな気持ちの良い音楽を聞きながら授業が始まりました。

はじめはそれぞれ自分の好きな所へ行き、体を自由自在に動かしてリラックスしました。その後、一人ずついろいろな色のスカーフを一枚ずついただきました。そのスカーフを音楽に合わせてなびかせました。

あらゆる色のスカーフが空中になびいているのを見ていると、なんだかとても良い気持ちになり

ました。

授業のはじめになっていた音楽がまたなり始めました。

私達はその曲を体と心で感じながら授業を終えました。

2時限目 現地授業研究 正善先生

先生は単式授業と複式授業について、いろいろとお話されました。

単式授業の良い点や悪い点。複式授業の問題点等を皆で話し合いました。

その後、朗読について少し説明されました。音声、発音、発生、よくよう、イントネーション、アクセント、プロミネンス等について話されました。

そして最後に、現地の子供達に学校だけでなく、家庭の中でも朗読の練習をさせるよう言われました。

正善先生の授業は12時10分頃に終わりました。それから皆自由行動をとりました。

宗 仁子 マルガレッタ

6月24日 月曜日 晴のち曇

2時限目 文章表現 金平先生

『日本と私』と言う題の作文を書く事になりました。日本についてから、早くも1ヶ月が過ぎました。昔の目には、日本とはどんなふうになっているのでしょうか。“父から聞いた日本とはまったく違う”とか“狭くて人が多すぎる”とか“すべて珍しい物ばかりだし、欲しい物、何でもある国。皆はそれぞれ、自分に与えられた日本の印象を授業の終わりまでに書いて先生に渡しました。

3時限目 幼児教育 永井先生

子供達はそれぞれ個人差、依存性、自己中心性がある。永井先生はその事をテーマとして、私達と色々話し合いました。

又は、“おいしい”と言う時、子供がまだよく発音できないと思い、よく“おいちい？”と親は聞く。子供は“うん、おいちい”と答える。それは間違っている。何回も、正しい言い方で言っていると、そのうちに、自然と話せるようになる。

英語で“グッド・ナイト”と教えます。それよりも外国人が発音するとおり“グッナイ”と教える方が正しいのではないのでしょうか。

教師である私達は、こういうちょっとしたポイントを忘れてはならないと思いました。

粉川 イザウラ 幸枝

6月25日 火曜日 晴 音楽 朝日先生

今日、私達は、音楽教育の授業しかありませんでした。朝日先生は、日本の教育そのものと日本の音楽教育のことについて詳しく話して下さいました。それから、色々な歌を歌いました。音楽のリズ

△に合せながら、歌あそびなどもたくさんしました。これが大変楽しくって、みんな子供みたいになって笑いながらやりました。

菅野 百合子

6月26日 水曜日 晴

今日は皆、玉川へ行く時よりちょっとおめかしをして、26人そろって国際学友会へ行きました。正善先生と北村先生と9時15分に駅で待ち合わせをしていましたけれども30分以上も早く着いたので私達は喫茶店で時間をつぶしました。

私達は森田先生に迎えられ、10時から2～3人のグループ別に授業参観をさせていただきました。各グループ2クラスの参観が出来ました。

お昼は国際学友会の食堂でいただき、それからあちらの先生方と話し合いがありました。私達と同じように外国人に日本語を教えている先生方なので、似たような経験をなさっていらっしゃる、先生方のお話もとても良い参考になりました。

この話し合いが終ってから教材をわけていただき、自由に帰りました。

Aコースの先生方とともに楽しくやりましょう！

玉田 ルシア めぐみ

6月27日 木曜日 曇

私達とAグループの先生方は早く起き、朝食をしてからセンターを出ました。

午前中は玉川学園小学部参観でした。長野先生と小学部グラウンドで待ち合わせをしてありました。私達がグラウンドに着いた時には生徒達はそれぞれ動いていました。音楽が鳴ったとたんに皆が体操しはじめました。私達も中に入って一緒にやりました。

校長先生の合図で生徒達は列に並んで、歌を歌いました。校長先生は御挨拶をなさって私達を紹介して下さいました。その後、私達の代表としてAグループの先生、佐藤先生が挨拶をしました。以後生徒達は歌を聞きながら行列をして自分のクラスに向いました。私達は小学部の講師室に集まりました。そこで、校長先生に学校要覧の説明をしていただきました。「きれいな心」「よい頭」「強い体」。

この3つの目標を旨として先生方は子供を教育しているそうです。

それから、私達はクラスを見学しました。皆が一生懸命勉強や工作をしているのを見て、感心しました。最後に私達は音楽のクラスに行きました。私達に最初から最後まで生徒達は自分達で楽器を弾いたり指揮したりし、すばらしい歌を聞かせて下さいました。何度も私の心にジンとひびき、又涙まであふれることもありました。

その後、昼食をしてからリトミックの講義でした。歌と先生の合図で色々な動作をしました。講義が終わり、私達は又小学部に戻って、先生方と懇談会が行なわれました。小学部の先生方から日本語

の指導など教えていただきました。

Aグループの先生方が見えてから初めて一日中一緒だったのです。ですから話しながら帰りました。

串 間 ジルダ

6月28日 金曜日 雨

○3時限目 文章表現 金平先生

- ・ 文章の形 敬休 の説明
常休

- ・ 文の構成

○4時限目 美術 山崎先生

- ・ ボル紙で車を作る

夕方6時に日本民族舞踊団定期公演

○ 場所：東京・郵便貯金ホール

○ 主催：国際芸術家センター

池 田 美津子

6月29日 土曜日 晴

だんだん暑い夏になりましたが、今日も元気よく玉川学園で勉強をしました。

○1時限目 表現教育 方先生

ドラマと全人教育について、先生が色々とお話しをして下さいました。

「教育とは愛しながら育てる事であり、子供側からみれば愛され、育っていく事である」とおっしゃり、私達に教育のふかい意味をつたえて下さいました。

○13時 中学部音楽祭

厚木市文化会館で行われた玉川学園、中学部の音楽祭へみんな一緒に13時に行きました。賛美歌や、世界中で知られているモザート、ビゼル、チャイコフスキー、ヘンデルなどの難しいテーマも大人のよ
うに上手に演奏していました。この日の感動は私達の心にいつまでものこるでしょう。

今日の楽しい一日は早く過ぎたかんじがしました。

杉山 ノルマ クリスティーナ

7月1日 月曜日 晴

2時限目 文章表現 金平先生

3時限目 音楽 千葉先生

今日も全員はりきって、玉川へ向いました。2時限目の文章表現の授業では、先週書いた作文を先

生に訂正していただきました。

昼食はそれぞれ自由にとりました。

午後からは、Aグループの先生方と共に音楽の授業を受けました。歌だけではなく、ゲームも沢山教えていただき、楽しい授業でした。

井内 典子 スエリ

7月2日 火曜日 晴

今日、玉川退学での授業は2時限目から始まり、片山先生の日本語を考えるとと言う授業でした。先生は、日本語の母音と子音、言葉の文節、拍、単音、音素などについて説明をして下さいました。現地で日本語の発音を指導する時には、現地言葉、例えば英語やスペイン語などにはない音節を中心として指導したら良いと先生がおっしゃいました。現地言葉にはない音節を発音するのは難しいので、指導するには、口や舌の動き、即ち音声学をよく理解していなければいけないと言うことです。

昼食をとって、3時限目の国語教材の授業に行きました。先週の続きでしたので、「大きなかぶ」について長野先生がお話をなさいました。「大きなかぶ」には二つの文の種類があります。この一つは説明文といって、真実のことを書かれています。これに対して物語文、即ち作り物が書かれています。子供達に真実のことを正しくつかめるように指導し、同時に、物語文に表われている世界をどんどん想像させる必要があります。子供達に言葉を感じさせるための細かい指導方法の工夫について色々学びました。

授業が終わり、皆、それぞれ自由にセンターに帰りました。

矢口 真理子

7月3日 水曜日 晴

今日は、ポカポカしていてやっと夏が来たような感じがしました。朝、6時に起きると、もう明るくて窓をあけると眩しくて、目がチカチカします。でもとっても気持ちが良いです。

今日の1時限目は朝日先生の音楽の授業でした。授業と言っても、とっても楽しくて自分も子供の頃にかえた気がしました。美しい声で歌う授業ではなくて気楽に気持ち良く歌うように先生は指導して下さいます。又、手を使って体を使ってリズムに合わせて、いろんな遊びをしたり、Bコースの私達もAコースの先生方も、皆、一生懸命楽しみました。自分の体でもって覚えた物はなかなか忘れることもないと思います。ブラジルで待っている生徒達の笑顔が見えて来ます。今日覚えた遊び歌を一緒にしたら、きっと喜んでくれることでしょう。

2時限目は私達Bコースだけの授業、長野先生の国語教材研究でした。

子供を指導する私達はまず、子供の考え方、子供の気持ちを知らなければならない。そのためには子供の書いた作文や詩等を絶対に読む必要があると先生は強くおっしゃいました。又、言葉を教える

時、次の4つのものをしっかり、同時に力を付けていかなければならない。それは「読む、書く、話す、聞く」です。そのためには、何よりも先生の工夫が大切であり、教材をどんどん自分で作っていかねばならない。子供が言葉を本当に身に付けるためには、目で手で体で物事を感じさせなければならない。いつも子供の立場になって、目になって授業の出来る先生になるようにと長野先生は何回もおっしゃいました。教材の大切さをますます感じるようになりました。教師は、1時間の授業にはせめて3時間、準備のためにささげなければいけないということ、はっきり分かりました。

上田 恵美

7月4日 木曜日 晴

1時限目 日本の文字 平山先生

平山先生は、まずはじめに字辭について色々と話されました。それから、漢字の3要素（形（なりたち）、音（よみ方）、義（いみ））について例をあげながら少し説明なさいました。

2時限目 幼児教育 永井先生

永井先生は幼児期の発達特徴について話されました。そして、発達、成長と成熟の意味の違いを説明なさいました。

その後、子供の胎児期、乳児期、そして幼児期の特徴をいろいろとあげられました。

最後に、子供の言葉の発達について少し説明なさいました。3才児は900語ぐらい覚えるそうです。4才児は4500語ぐらい。5才児は4500語（理解語）ぐらい覚えているそうです。そして2500語ぐらい使用しているそうです。

永井先生の授業は12時10分頃に終わりました。私達は塾の食堂へ行って昼食をすませました。

3時限目 リトミック 小野先生

まずはじめに、音楽を聞きながらリラックスしました。それから立ったり、すわったりするゲームをやりました。そしてボンキッキサンバというおどりを習いました。その後、先生は子供の集中力について話されました。

授業の後半では木でできた人形や鳥等を使って音楽のリズムに合わせてながら、それらを動かしました。

今日の授業は人者ごっこで遊びながら終わりました。

宗 仁子 マルガレッタ

7月5日 金曜日 晴

2～3時限目 折り紙 小川先生

鶴の折り紙は、江戸時代から作られていたそうです。鶴の折り方はほとんど、皆様は知っていました。でも、くちばしとくちばしを合わせている2羽の鶴や、くっついている親子鶴や、一つの紙に10

羽の鶴、又は、羽と羽、上と下にくっついている鶴などのさまざまな折り方があると分かりました。
今日はその中のいくつかの折り方を学びました。とてもおもしろい時間でしたが、集中していたためちょっと肩がこりました。

粉川 イザウラ 幸枝

7月6日 土曜日 晴

今日は、玉川大学へ表現教育の授業に行きました。方先生は、日本の芸術教育と人間教育のことについて、詳しく話して下さいました。授業が終わってから、全員、つきじ田村という所まで行って、懐石料理をいただきました。

菅野 百合子

7月7日 日曜日 晴

今日はAコースの皆様と一緒に国立劇場に演芸鑑賞に行きました。
午後1時から紙切りや落語や手品など色々なショーがありました。紙切りは客が言った物を何秒かできれいに作り上げてしまうのには驚かされました。
落語では偶然、ブラジルのリオ・デ・ジャネイロの事についてのお話で始まりました。色々とおもしろかったですけれども、手品師が失敗してカップを幾つも割ってしまったショーもありました。川端さんと北村さんも行かれました。終わってから皆で写真を写して帰りました。

玉田 ルシア めぐみ

7月8日 月曜日 曇

講義は2時限目からでしたので、私達は9時15分前にセンターを出ました。
国語教材では最初の30分はじゃんけん遊びをやりました。その後、読書感想文の指導について先生が説明して下さいました。
3時限目と4時限目はAグループの先生方と一緒に受けました。
幼児教育では環境によって、どのように子供が発達するかについて先生がお話し下さいました。
最後の講義は音楽でした。先生に歌とリズム遊びのプリントをもらいました。歌ったり、リズムに合わせて色々な動作をしました。講義が終わってから皆センターに戻りました。

串間 ジルダ

7月9日 火曜日 曇

1時限目 音楽 朝日先生

今日はAコースの先生方と一緒に授業を受けました。大勢の人だったので大変にぎやかでした。朝

日先生は愛吟集や歌遊びの本を使って教えて下さいました。

例：ごんべさんの赤ちゃんの歌遊びや、ぐうちよきばあや、十五夜さんのもちつきや、とおりゃんせなどの歌。

3時限目 日本語を考える 片山先生

有無	{	清音…は	
		濁音…ば	
		半濁音…ぱ	
		じ = ぢ	l 側音
		ず = づ	R 弾き音
			RR 震え音

池田 美津子

7月10日 水曜日 曇のち晴

本日も元気よく玉川大学で勉強しました。

○ 2時限目 日本史 瀬山先生

内容は8世紀の日本

まず、始めに奈良時代について色々とお話して下さいました。「中国の文化と文明をとりいれて新しい日本を作り始めました」と先生がおっしゃいました。

○ 3時限目 体育 白井先生

子供の体はどうなっているか、子供を見る目、現代生活と子供、現代生活と体育、子供の体と遊び、遊びの条件、実際に子供の遊びなどの説明をして下さったので、大変参考になりました。

蒸し暑くなく、しのぎやすい一日でした。いつものように6時にセンターへ帰りました。

杉山 ノルマ クリスティーナ

7月11日 木曜日 雨のち晴

2時限目 幼児教育 永井先生

Aグループの先生方と共に授業を受けました。

今日は、幼児教育の場所と人間の講義でした。幼児は、最初に家庭で両親に教育され、それから保育園へ行き、保母さんに教育され、幼稚園や小学校では教諭に教育されるのです。

次の話は、子供のけんかの理由でした。

- ・ 幼児のころは身体的、物理的理由で短い時間
- ・ 小学校、中学校 社会的理由で2週間ぐらい続く
- ・ 高等学校、道徳的な理由で3週間から一生付き合わなくなる

3時限目 古典芸能 法月先生

- 能
- 狂言
- 文楽（人形・浄り）
- 歌舞伎

この授業では、8ミリ映画を使って説明して下さったので、とても分りやすかったです。
午後からは、風もあまり吹かなかったので、とても蒸し暑かったです。

井内 典子 スエリ

7月12日 金曜日 晴

今日、玉川大学でAコースの先生方と一緒に日本の伝統的な美術、折り紙をしました。2時限目には、普通の白紙で色々鶴を練習しました。例えば、一枚の紙で、9羽の鶴の輪を作ったりしました。今のような真夏の蒸し暑さの中で、汗を流し、小さい鶴を折るのは大変なことだと思いました。しかし、教わる側よりも、先生の方が大変だったと思います。

昼食をとって、3時限目に、折り紙の続きでした。今度、小川先生が皆に和紙を配りました。午前中に練習したことを、この和紙で作りました。こういう江戸時代の複雑な折り紙には、神経と集中力が必要となりますので、最後に肩が凝り、頭が痛くなったりしました。しかし、先生の指導のおかげで皆、立派な、美しい鶴が出来ました。

矢口 眞理子

7月13日 土曜日 雨

今日は、鎌倉見学の日でした。Aコースの先生方とBコースの私達は9:30分に北鎌倉の駅で瀬山先生に会いました。雨が降っていたので、皆、傘をさしてカメラを持って先生の後をついて行きました。

鎌倉にはお寺、神社が一杯あります。その中の幾つかを私達は見学しました。それは、①円覚寺、②建長寺、③明月院、④鶴岡八幡宮、⑤大仏です。円覚寺山門に最初感動しました。杉の木で出来た太い柱、ものすごい迫力を感じました。建長寺は美しい緑に囲まれて、からすや小鳥の鳴き声が耳に響き落ちついた気持ちになりました。明月院は5、6月のあじさいの名前で有名であり、もう7月ですが、あじさいはまだ所々残っていました。鶴岡八幡宮は鎌倉の中心であり、長い階段を上がり終わると、美しい紅色の桜門と本殿の所に着きます。高い所ですのでそこから見える景色はとっても印象的でした。

最後に楽しみにしていた大仏様の所へ行きました。雨も止んでいました。高さ11.39メートルもあるドーンとすわっている大仏様を見た時何か力強いものを感じました。笑みも含めているあたたかい

顔が大空から神秘に何かを語りかけているような感じがしました。

鎌倉は東京の近くでありながら、まだまだ立派に日本の歴史を美しく残しています。少しは昔の祖先の時代の日本を味わえたような気がして言うまでもなく大変大切な経験、勉強でした。

上田 恵美

7月15日 月曜日 晴

今日は午後からの授業なので皆、朝の7時に起床してから朝食をいただきました。

3時限目 音楽 千葉先生

先生のピアノに合わせて何曲か歌いました。ふだんあまり歌に慣れていないのでなかなか声が思うように出ませんでした。授業の後半では、子供向けの「歌遊び」をたくさん習いました。帰国してから、現地の子供達にぜひとも「歌遊び」を教えたいと思っております。

千葉先生の授業は2時30分に終わりました。私達はそれから根岸センターへ向かって帰りました。

宗 仁子 マルガレッタ

7月16日 火曜日 晴

3時限目 日本語を考える 片山先生

この授業は敬語についての勉強でした。敬語を使う時、相手の色々な面を考えなければなりません。話し手と、どんな関係を持っているか、年は、男性であるか、女性であるか、親しさの問題も考えなければなりません。そして、敬語の中で謙譲語、尊敬語、丁寧語と美化語があります。

このように、複雑な敬語の授業を皆は一生懸命聞いていました。

4時限目 現地授業研究 正善先生

複式授業では欠点はいくつかあります。例えば、時間は一人あたり見ます。子供は遊んでしまします。そして、能力差もかなりのものです。

ある現地の学校では、漢字カードをこのように使っています。前に『海』と書いて、裏にその海の絵を書きます。個人用と一斉に使われるようにカードを分けておきます。

その次に、先生は朗読に入りました。テストを読み、発音の問題、とくに、鼻濁音に注意しました。

粉川 イザウラ 幸枝

7月18日 木曜日 晴

今日は朝から空が澄みきって、涼しい風が吹いていて、心まですっきりするような、気持ちの良いお天気でした。10人とも元気そうな顔つきです。

今日の授業は2時限と3時限だけでした。表現教育と古典芸能でした。

矢口さんと上田さんは先に出かけました。私達8人はいつも時間通りに出かけ、大和でAコースの

先生方に会いました。

表現教育では残念ながら、テープレコーダーが故障していて音楽なしでした。でも5階の窓からそよそよと風が入って、それが心を休ませるような音楽でした。柔らかいささやきのような風を体と心で感じながら、はじめの30分は詩を読みました。なんとなく自分がいかにその詩の中に生きているような素晴らしい感じがしました。次に2人組のグループになり、各グループは先生に渡された絵を見て、その場面の前と後の場面を想像し、他のグループと一緒に、意見の交換をし、最後には4人グループになり、話し合いました。

古典芸能では、日本で代表的な能や歌舞伎や人形劇や狂言などについての映画を先生が見せて下さり、説明をして下さいました。

日本にいるうち是非一応は見て帰りたいと思います。

玉田 ルシア めぐみ

7月19日 金曜日 晴

昨日と同じ時間にセンターを出かけました。

2時限目と3時限目は折り紙でした。先生に和紙をいただき、鶴を折りました。今までは鶴ばかり折っていたので、最後の30分間他の物の折り方を教えて下さいました。

4時限目は現地授業研究でした。現地で教えている学校の指導の紹介でした。Aグループのアルゼンチンの木田先生が自分が教えていらっしゃる学校の年間指導計画のコピーを渡して下さい、それを説明して下さいました。それから先生はAグループに「ころちん」と「なみは手かな」の朗読をさせました。

「もう4日間経てば前期が終わるなあ」と思いながらセンターに戻りました。

串 間 ジルダ

7月23日 火曜日 晴

今日、初めて玉川大学の塾に入りました。どんな所で3週間を過ごすのか、すこし不安でした。来て見れば、ほこりだらけの部屋でびっくりしました。汚れていた部屋も雑巾をかけたら、きれいになりました。周室の友達も皆、良い人たちです。これで安心して、3週間、ここで過ごせます。

7月24日 水曜日 晴

朝の6時に、リンドウ塾の前にある建物の中から、太鼓の音を聞く。「今日の勉強が始まる！」と言う合図として、毎朝、男性が当番に太鼓を打つ事になっている。今日は礼拝がなく、朝食は7時半から12時半までに、夏期スクーリングの開校式と入学式が体育館で行われる。夕食は、会食である。食事の前、皆で歌を歌う。食事後、食堂で、塾のオリエンテーションがある。その後、リンドウの塾

生との間で自己紹介が行われる。最後に掃除当番を決め、これで、今日一日がやっと終る。明日授業が始まるので、楽しみにしている。

矢口 真理子

7月25日 木曜日 晴

6時 - 起床

私の部屋、202号室は日番でしたので5時20分に起きました。5時50分一朝の日番業務開始（午前8時まで）日番の仕事は、門を開けたり、鴨にえさをあげたり電話を受けたり、いろいろな行事を放送で知らせたりすることです。

6時35分 聖山に集合完了

みんなで大きな輪をつくります。

6時40分 聖山礼拝

1. 国旗掲揚
2. 黙禱
3. 讃美歌（2曲 - “礼拝 朝”と“父なる神慈愛”）
4. 黙禱

鳥の鳴き声、木々の葉、水の音を耳にしながら自然の中に礼拝が行われます。

6時50分 小学部のグラウンドで体操。

軽い体操ですし、朝はまだ涼しいですので、気持ち良かったです、320人ぐらいに一人の人が指導するにはなかなか大変だと思いました。

7時 朝の会食

体操が終わり、そのまま直接、全員塾の食堂に集合し、まず初めに歌を歌います。3曲、愛吟集という本から選んで歌います。チンと鉦が鳴ると、みんな一斉に食べ始めます。約20分たつと又鉦が鳴り、みんな一緒にあと片付けをします。

7時30分 掃除

各部屋、決められた場所へ入って8時頃までお掃除をする。（トイレ、洗面所、階段、ロビー等。）

8時40分 授業が始まります。

各自のスケジュールにより行動する。

私はこの一期、一科目、フランス語を選びました。私はブラジルで日本語を外国語として覚えましたが、日本でどのように外国語を教えているのかを知りたかったのです。それによって、自分が今まで教えてきた方法に何か足りない点、又まずい、忘れていた大事な点がないかを確かめることができるのではないかと思いました。

私の先生は土屋先生とおっしゃる、やさしい長年経験のある先生でした。先生はゆっくり話し、最

初に字を黒板に書いて発音から始めました。ほとんどの人の舌がまわらなく、発音するのに苦労していらっしまいました。

初めての授業で、大人が対象で時間がすくないからかもしれませんが、授業は本に出て来る言葉以外、全部日本語で行われました。

今日の授業についていろいろ考え、反省したいと思います。ただ、今日深く感じたことは、外国語教える人にも覚える人にも、どこでも大変なことです。明日の授業、楽しみに待って居ります。

午前11時30分～午後1時まで、昼食は自由食です。

18時30分 帰塾 夜の会食

19時30分～22時 自習時間

それぞれ自分の部屋で自分の勉強をする。

22時30分 消灯

(居室の電気スタンド以外の灯を全部消す。)

◎23時00分 就寝(完全消灯)

上 田 恵 美

7月26日 金曜日 晴

本日は全員、朝の6時に太鼓の音を聞きながら起床しました。

6時35分に 山に集合し、6時40分から聖山礼拝が始まりました。真青な夏の空の下で、さわやかな風を頬に感じながら、賛美歌を2曲歌い終えて黙禱しました。

6時50分になると、小学部のグラウンドで体操が行なわれました。おいしい空気を胸一杯に吸い込み、全身をのびのびと動かせました。

7時に朝の会食が行なわれました。愛吟集の中から曲を3曲ほど選び歌いました。そして全員おいしく会食をしました。

7時30分から8時までお掃除をしました。皆、一斉に定められた場所のお掃除を一生懸命しました。

8時半頃から皆、塾を出て各自が選択した科目の授業が行なわれている校舎へ向かいました。そして、8時50分から授業がはじまりました。私は、音楽教科を選択したのでオルガンの研修やレッスンを励みました。

11時半、12時頃になると皆、塾食堂に集合して昼食をいただきました。そして、午後1時頃から皆それぞれ色々な授業に参加するために出かけて行きました。玉川学園のキャンパスは学生でいっぱいでした。

午後の6時30分から夜の会食が始まりました。今日一日おこった事を色々と報告しながら、おいしく食事をいただきました。

玉川学園での塾生活は色々な面で厳しいですが、1ヶ月間皆でなかよく頑張っていきたいと思っています。

宗 仁子 マルガレッタ

7月27日 土曜日 晴

玉川学園の第1時限目は「教科音楽」でした。初級クラスの生徒達はオルガンを習っています。日本人はほとんど楽譜を見ただけで正確に歌えます。日本の音楽教育はすぐれているんだなあと感じます。他方、私達は、楽譜を読む事にはまだ慣れていないから、皆の動きはにぶく、オルガンを奏するのに大変苦労しています。でも、そのうちに何回も練習し、きっとよくなるでしょう。

2時には、恵比寿、劇団ひまわり一民話の劇場を見に行きました。10人の俳優達がとても上手に演じるのでびっくりし、強く感動しました。俳優達は、狐になり、馬になり、鳥になり、又は木や井戸や海の中まで、すべて表現しました。アクロバティズムも何ともいえないほどすごかったです。体がまるでゴムのよう、飛んだり、ころがったりしました。それに、日本的な楽器、太鼓、笛、三味線の生演奏でした。「とんとむかし」という題で、親達が幼い頃、おじいちゃん達から聞いた昔話、思い出話がたくさんありました。

その劇団は今年の4月から6月まで始めて、海外、アメリカとカナダに出演し、言葉の問題もつらぬき、大成功したそうです。こんなすばらしい演劇は見た事がありませんでした。又、チャンスがあったら、もう一度見に行きたいと思っています。

粉川 イザウラ 幸枝

7月29日 月曜日 晴

今日も、また6時に太鼓の音を聞きながら起床しました。私達は労作の日番に当たりましたので、6時17分に、私達の塾の前の庭の掃除とか草むしりなど、暑いお日さまの下で汗を流したながら、一生懸命やりました。

7時に朝の会食を行いました。その後、7時30分からは、塾の掃除がはじまりました。8時30分には、みなさんはそれぞれの授業に行きました。午前11時30分から13時まで昼食は自由食でした。後、13時から、2時限の授業が始まりました。この一期、私は音楽教材研究と音楽一般を選びました。ブラジルで音楽を勉強したこともない私には、とても参考になるとと思っています。18時30分に夜の会食を行いました。その後、19時30分から、玉川学園の教育、全人教育、又は玉川学園の創立者小原國芳先生の人生についての映画を見せられました。今日も一日無事に過ごすことができました。明日も頑張りたいと思っています。(22時30分)

菅野 テレーザ 百合子

7月30日 火曜日 晴

玉川の塾に入ってちょうど1週間になりました。なんとかこの塾生活にも慣れて来ました、皆も暑さに負けず、毎日勉強に励んでいるようです。明日は1期末試験なので、昨日から消灯延長を申し込み、夜明かししていた人も多いようでした。

今日もいつものように礼拝し、体操をしてから会食しました。今日、私達の部屋 206号室に当っているお掃除はロビーだったので5分間ぐらいで終わりました。

1時限目は音楽でした。講義はなんとかついていけますけれど、実技の方は音符も読めない私達にとってはとてもむずかしく、なんとなくついて行かなくなりそうで心細くなって来ました。でも手にしたことのなかったオルガンを両手でドレミを弾けるようになっただけでも嬉しく思います。

食後の2時限目は教育心理学でした。満腹なうえ、センプーキの涼しい風が気持ちよくあたって何回かうとうとしてしまいました。

3時限目はあいていたので宗さんと町田まで散歩に行きました。

6時30分頃皆と食事をして、又塾へ戻り、いつもの通り消灯時間が来てから床につきました。

今日も何事もなく、無事に1日が終わったことを心から感謝しております。

玉田 ルシア めぐみ

7月31日 水曜日 晴

塾の一つの習慣として、毎朝、6時に太鼓の音を聞くと私達は起きて、聖山に集まって、国旗掲揚して、黙禱をして、讃美歌を2曲歌って、又、黙禱をします。それを終えてから、皆は小学部グラウンドへ向かって、体操をします。

今日も私達は太鼓を聞いて起きました。スクーリング工期末試験があるので、聖山礼拝と体操が行われませんでした。しかし、朝食後に塾の掃除がありました。私の部屋はトイレ掃除で、皆はりきって洗いました。それから、私は講義に出ました、研修生として、スクーリングに参加させていただいています。他の通大生は試験を受けに行きました。

私は一期に音楽教科初級と音楽一般を受けています。この2科目は2期まで続きます。音楽教科は最初の70分は講義で、最後の70分はオルガンのレッスンでした。講義の時は分からないことがあって、隣の人に尋ねながら、受けています。オルガンのレッスンは初めてで、指が言うことを聞かないので、焦って来ます。音楽一般は歌ってばかりでとても楽しかったです。

夕食は自由だったので部屋の友達と一緒に行きました。10時まで、皆勉強していました。太鼓がなくて、消灯をしました。今夜は私の部屋はお風呂の掃除で暑いところで皆精一杯頑張りました。それからもう一回シャワーを浴びて、部屋で友達と話合っ、寝ました。又、明日も元気良く、頑張ります。

串 間 ジルダ

8月3日 土曜日 晴

暑い32度ですよ！日本の夏は蒸し暑いです。

本日からスクーリングのⅡ期が始まりました。皆、毎日のようにドーンドーンという太鼓の音とともに6時起床、6時半に聖山礼拝行き、礼拝がすんだら運動場にいそいで行き、体操をしてから朝食を始めます。

2時限目（12：50～14：00 14：20～15：30）

図工教材研究 担当 佐藤先生

図工についての説明

日本の蒸し暑さを絵で表わす

迷図を作る

3時限目（15：50～17：00）

音楽（一般） 担当 木下先生

今日初めて木下先生の授業に参加しました。

プリント教材

虫の声
友達はいいな
トムバイ
朝のあいさつ
コーリューブンゲン
ごきげんよ

夕食は自由でした。

i Buen fin de semana!

池田 グロリア

8月5日 月曜日

朝6：00、聖山へ登って、讃美歌を歌って運動場で朝の体操をしました。部屋と階段の掃除をして、授業に行きました。8：40～9：50までは向山光則先生にオルガンのひき方を習い、練習しました。10：10～11：20は、高森先生と音楽の記号の説明と書き方を教えてもらいました。15：45～音楽一般を木下先生より教えてもらい、11：20～15：45までは、伊豆長岡へ来る準備をしました。

夜は夕食の後、みんなでテーブル、ガラス、床を拭いたり、片付けをしたりして、とても大変でした。

杉山 クリスティーナ

8月6日 火曜日 雨

珍しく、今朝は雨が降りました。8月6日から、8日まで、伊豆で行なわれる学校劇夏期に私達は

参加します。伊豆まで電車で行きました。外の景色は緑の山,きれいな小川,広い海でした。なんとなく日本の一部を見れたようでとてもうれしかったです。

12:40分 受付

13:00から開会式が行なわれます。

14:00~17:00まで分科会

低学年の劇指導

人形劇実習

朗読演習

私は人形劇実習を選考しました。ねずみをつくってみようと思って始めました。あまりにもねずみは難しく、熊のパンダちゃんが出来上がりました。

17:30~18:00 夕食

大宴会上に皆集まって、たたみの上で、おいしいごちそうをいただきました。19:00~21:30「北から南から」は自己紹介をかねての集いでした。

508号室 ザ・まぜごはん ごはんのなかみは？

ブラジルのコーヒーと

カナダのスモークサーモンと

千葉のピーナッツと

東京の雷おこし

先生方の審査で私達の部屋は銅賞をいただきました。思いがけない賞でした。ですから、すごくうれしかったです。

井内 典子 スエリ

8月7日 水曜日 曇

昨日の慌ただしい一日のプログラムで疲れましたが、今月のプログラムの方が時間的に余裕がなかったので、もっと疲れました。休みの時間もなし。

7:30~8:00 朝食が行なわれました。

9:00~12:30 分科会

私は「人形劇実習」に参加しました。昨日作り終った人形で、人形の色々な動き方を練習しました。4人組で人形を使いながら、自己紹介の劇をしました。最後の15分間で、お弁当を急いで食べました。

12:30~13:30 昼の集いが行なわれました。

あまり急いで食べたので気持ちが悪かった。しかし、色々なゲームをしたり、歌を歌ったりしたので、楽しかった。

13:30~15:00 即興劇講座

15:00~17:00 即興劇実習

30人ぐらいのグループで劇をつくりました。チームはもう決まっていた。歌もかえ歌にしました。皆、大変疲れていた様でした。

17:30~18:00 夕食

素晴らしい御馳走でした。けれども30分で食べるなんて…

18:30~19:00 即興劇実習

19:00~21:30 キャンプファイヤー

ホテルの中で行なわれました。

即興劇を発表しました。

21:30~23:00 コンパで踊ったり、飲んだり、楽しくしました。疲れましたが、満足もしました。

矢口 眞理子

8月8日 木曜日 晴

7時30分 朝食

こちらの伊豆長岡ホテルのお食事はとってもおいしく、きれいな器の中にきれいに盛り合わせてあり、たくさん気持ち良く食べることが出来ました。日本のお料理の味、又何とも言えない美しさを味わいながら食べました。

8時15分 Aコース Bコースの先生方 全員ロビーに集合。

あい染めをするところの見学

伊豆に来てホテル以外はどこも行かれませんので、伊豆の有名な物かそれともそのホテル独特な物か分かりませんが、ホテルの中にどんな布でも染める所がありました。

nome da florという花から青い色を出して染める訳です。すごく簡単に出来るようでしたが、きっと相当な経験がなければあのように美しく、色のすごくいいものできなかったと思います。ブラジルのBATIKと良く似ているような物でした。

9:00 児童劇について劇作家、別役実様の講演

大人と子供に劇を演じる時の違い。

- ① 大人には、言葉、意味でもってストーリー的に劇を演じる。子供には空間で、リズムでもって具体的に動作でもって表わす。
- ② 大人は物事何でも言葉に結びつける。ですからいみのないものは表現できないと思う。子供の頭は言語的に整理が出来ていないから言葉にこだわらない。ですから動作でもって言葉に結ばせる。

感懐、言語

この2つの点をしっかり頭の中に入れて劇をつくっていかなければ、絶対に良い物ができないと強く言われました。確かにそうだと思います。劇でもって、きっといろいろ子供達に教え、感じさせてあげることができると思いました。言葉が身に付くためには、動作でもって自分の体でもって一度、その言葉の意味を感じさせることが大切だと思いました。ブラジルに帰って、言葉をそのように子供達に教えたいなあと思っていました。

11:30 お別れ会

とうとう最後の日、最後の時間。3日間疲れたが良かったなあ。楽しかったなあと言うしありませんでした。新しい知識、新しい友達、良い思い出で心の中は一杯でした。別れの時っていつもつらい、いやな時です。みんな大きな、大きな輪をつくって、お互いに手を取合せて、悲しそうな、でも又いつか地球のどこかで会える希望を一杯もったような声で歌いました。

「ありがとう さようなら 友達…」

13:50 踊り子という電車に乗り玉川へ。

海を景色にしてみんなさびしいような、そして疲れたような姿で塾生活に戻りました。

私達が伊豆に言った目的はもちろん劇の勉強をするためだと思います。その点は本当にきつとみんな、もんく一つもなく、ある程度その目的は達せられたと思います。しかし、せっかく伊豆まで行ってただホテルの中はちょっとさびしかったです。みんながっかりしていたようです。もう一日泊まってでもできたら伊豆にいたかったです。玉川の夏期スクーリングもありましたが、3日間、ちょうど一番大切な授業に出なくて戻った私はほとんど何も分らなく大変退屈でした。伊豆に残って、ゆっくり伊豆の景色を味わって帰ったらもっといい勉強になったのではないかと思います。たまっていた疲れも、とれたのではないかと思います。

上田 恵美

8月9日 金曜日 曇

6:00 今日もいつものように太鼓の音を聞きながら目覚めました。礼拝堂へ行き、賛美歌を2曲ほど歌いました。

6:50 小学部のグラウンドに集まり、体操をしました。

7:00 食堂で会食が行なわれました。とってもおいしいパンとジャムをいただきました。

7:30 塾へ戻り、各自が部屋やロビー、洗面所や階段の掃除をしました。塾は少しはきれいになりました。

8:30 それぞれ自分が選択した科目の授業が行なわれている所にむかいました。

8:40 授業が始まりました。私は日名子先生が担当なさっている児童心理学の授業に参加し

ました。でも授業の内容を良く理解する事が出来ませんでした。なぜならば、3日間(8月6日~8日)伊豆長岡ホテルで行なわれた学校劇夏期大学に参加して、玉川で行なわれている夏期スクーリングに出席する事が出来なかったからです。本当にとっても残念でした。他の授業を受けていらっしゃる方々も同じような事をおっしゃっていました。この問題について深く考えなければいけないと思っています。

6:30 今日自由食なので、皆は自分の都合の良い時間に夕食をいただきました。

明日はスクーリング2期末試験なので皆、夜おそくまで電気スタンドの明りの下で一生懸命勉強しています。外では蟬がしきりになっています…

宗 仁子 マルガレッテ

8月10日 土曜日 雨

スクーリングII期末試験が行われました。けれども、幸いに私達はその試験を受けなくてもいいとなっています。なぜなら、伊豆長岡の夏期学校劇大学に参加していた3日間、授業を受けていなかったため、科目の内容が分からなくなっていたのです。

日曜日と月曜日は珍しく休みなので、ほとんどの人は横浜のセンターや親戚の家、又は、短い旅行、それぞれの所に行く事にしています。

粉川 イザウラ 幸枝

8月13日 火曜日 晴

今日から、最後のスクーリングIII期が始まりました。ほとんどの人々の顔には疲れが表われています。でも最後の一期ですから、「もう少し頑張ろうと思われる表現」を感じました。この3期、私は国語教材研究を選びました。最初の授業で、熱心に聞いていましたが、授業の内容が、難しいので、理解できませんでした。

今日は、一日無事に過ごすことができ、別に変ったことはありませんでした。ただ、最後の一期で皆地元へ無事に戻ることを望んでいます。

菅野 テレーザ 百合子

8月14日 水曜日 晴

夏期スクーリングも残るところあと6日間になりました。いつもと同じように太鼓を聞いてから、一日を過ごしました。各部屋で各掃除を与えられ、少しでも塾をきれいにしました。夏期スクーリングの3期に私は一科目の児童心理学だけをとりました。先生は心理学者の色々な実験を紹介して下さいました。児童の発達の中で認知的な問題を細かく説明して下さいました。

2時限目の講義が一番つらいと思います。一番暑い時です。それでも通大生が一生懸命勉強してい

るので、私達、研修生も通大生に負けないぐらい頑張るつもりです。

今日、午後4時から6時半まで、玉川学園の文学部2校舎で北米中南米を語る会がありました。15人出席して下さいました。北米中南米の教育や政治や経済や料理などについて質問がありました。その会でも色々な人と知り合って、とても良かったです。

夏期スクーリングで出来た友情がずっと続くように努力しなければならないと思います。

串 間 ジルダ

8月15日 木曜日 晴

暑い！日本の夏は実に蒸し暑い。それでも皆元気で頑張っていますよ！

午前6時起床

〃 6:30 聖山礼拝

〃 6:50 小学部グラウンドで体操

〃 7:00 会食

〃 7:30 ロビーのお掃除

通大生スクーリング第3期の4日目になりました。終わるまでに後5日間しかありませんのでうれしいです。横浜の海外移住センターに早く帰りたくて楽しみにしております。

2時限目(12:50~14:00 14:20~15:30)

音楽教材研究 担当 朝日先生

今日の授業には先生はこういう事をお話しました。

玉川ではどの先生でも実習教材で教えている。

教科書という物はあくまでもグレードアップして考えている。

教科書でしか教えない先生は良い先生ではない。

皆で肩を並べて肩を組んで習う事が一番大事だ。

一時間の中で一曲しか歌わないという指導はよくない。子供達が飽きてしまう少なくとも4、

5曲を歌わなければならない。

6年生になっても大人になってもむじゃきな歌を歌える大人の感覚や子供の感覚で歌えるものはとても大事だ。

先生は自分でいろんな子供達の好きな歌やまた、学校にあう曲を捜して来なければならない。夕食は6時半から7時半まででした。私は、部屋の友達とお食事をしました。

皆様元気を出して頑張りましょ！

池 田 グロリア

8月16日 金曜日 晴

6時に起きて聖山に登り、国旗掲揚をしました。蚊にさされて、またまたポテトチップスをグラウンドで踊りました。朝ごはんを食べて、お掃除をして、少し漢字の勉強をしました。授業は2時限目の音楽教材研究(朝日先生)、輪唱曲の練習、手遊びなどを習ってとても楽しかった。

今日はとても暑い一日でした。明日はお休みです。横浜に荷物を半分持って行って泊る予定なので友達と楽しみにしています。

杉山 ノルマ クリスティーナ

8月19日 月曜日 雨

朝6時に起きました。そうして、6時35分には聖山礼拝がありました。6時50分から、小学部グラウンドで体操が行われました。体操と言っても、軽く手足を動かす程度です。私は、ポテトチップスの踊りを大好きになりました。

7:00 会食でした。

11:30 昼は自由食でした。

15:50~17:00 音楽一般(朝日先生)

音楽一般の発表会がありました。私達のクラスの外、3つのクラスが発表しました。学長先生もおみえになりました。私達は歓迎の歌で心からお迎えました。8月は学長先生の誕生日ですので、誕生日の歌も歌いました。赤いきれいな花束も学長んせいに渡されました。学長先生は少し疲れている様子でした。けれども笑顔はお忘れになりませんでした。私達、朝日グループは力一杯歌いました。歌い終って拍手が聞こえてきました。「私は、音楽一般を選んで良かった」と思いました。

17:30~18:00 私は合唱指導に参加しています。一週間ぐらい前から閉講式につかわれる歌を練習していました。そうして、今日は玉川大学のオーケストラと一緒に歌ってみました。「なかなか良いなあ」と思いました。

18:30 夜は会食でした。

塾がかりの方々から、お別れのあいさつがありました。塾がかりの人達はできるだけの事はして下さいました。通大生はお礼に拍手と歌を歌いました。

21:30 りんどう塾でのお別れ会がありました。皆で大きな輪を作って、一人一人、宿舎がかりにお礼を言いました。友達が沢山できたので、別れるのは辛いものです。涙のお別れ会でした。

22:00 エール交換

塾の皆さんが屋上へ行って「フレーフレイ海どう」と大きな声で言うのです。そうしたら、まもなく、海どう塾から、「フレーフレイりんどう」と山びこのように聞こえます。

エール文交換をしている時に今までの苦しみを忘れ、良き友との別れをおしんでいるように感じられました。部屋に戻って、部屋でのお別れ会もしました。とても楽しかったです。お別れ会が終って

通大生の友達は、テストのために勉強しました。

8月20日 火曜日 曇のち雨

今日は、玉川大学夏期スクーリングの最後の日でした。3期の試験が行われました。ですから、朝の聖山礼拝、聖山体操と掃除もありませんでした。朝食の前の色々な活動がなかったので、なんとなく変な気持ちでした。7時に最後の会食が行われました。

8時半に、私が参加していた、金平先生の国語教材研究と言う授業に行きました。

午後の3時半に、体育館で、スクーリングの閉講式が行なわれました。玉川学園の学長さん、小原哲郎様からの挨拶で始まりました。スクーリングの通大生によるコーラスがあり、皆この暑さの中で、勉強もあったのに、一生懸命に練習した事に感心しました。オーケストラも、スクーリングの先生方のコーラスも、玉川中学部の女子学生のハンドベルもあったので本当に素晴らしかったと思いました。

この1ヶ月間の間に色々な経験をしました。塾生活は大変でしたし、塾食も私に合わなかったし、日本の夏の暑さに負けましたので、困りました。しかし、私にとっては、一番思い出になったのは、スクーリングでお友達になった人、1ヶ月前に初めて会った人とこんなに親しくなって、「アッ」と思ったとたんに、お別れの日が来ました。今日、そのお友達と別れるのが、塾生活、塾食、日本の暑さよりも、もっと、もっと辛かったと感じました。「又会う日まで…！」

閉講式の後、皆荷物を抱えて、センターに戻りました。やっと、皆、それぞれの自分の部屋に、無事に帰って来る事が出来たので、感謝しました。

矢口 真理子

8月21日 水曜日 曇

やっと塾生活も終わり、今日は自分のベッドでぐっすりと寝る事ができ、センターの時計が6時半に鳴ったのも聞こえず、6時45分に自分の時計のりんが鳴ってやっと目がさめた。

目がさめた時も玉川の塾のように陰気臭くなく、心もすっきりして、とても気持ち良かった。

今はやはり根岸が私の故郷であり、センターは私の家である。20日間も口にしていなかった佐々木さんの食事は3階までプーンと臭い、おなかがグルルーとなった。

昼食は皆でカップヌードルを食べてから又玉川へ向かった。今日は僻地教育についての講演があった。わずか1時間半の講演だったが、私には難しすぎてつつい居眠りをしてしまった。でも皆も同じように眠そうな顔をしていた。それから、私達ブラジル人は森脇先生に会いに行きました。先生と楽しく夕食し、ビールを飲み、お話をさせていただきました。先生は明日ブラジルへ帰ってしまうので、お話ははずみ、宗さんと串間さんと私は皆より一足後に帰る事にした。それでも私には時間が足りず残念に思った。

帰日も門限にはとうてい間に合わないので守衛さんに電話をして待っていただいた。帰ったのは、もうすでに11時過ぎていた。

今日から又新しい生活が始まったように思い、又10人で助け合い、頑張りたいと思う。

玉田 ルシア めぐみ

8月22日 木曜日 晴

横浜の海外移住センターの生活に戻り、それぞれ自分で計画をたて、適当な時間に起床し、朝食をしました。ただ、玉川大学へ私達Bコースは、9時に着かないといけなかったもので、全員、だいたい6時頃起きました。

9:00 玉川大学、国際部のよしなり様とお話し合い。実は今日、私達の玉川大学での一期の授業の最後の日でした。1ヶ月半、国際協力事業団の計画によって行動することになりました。10月7日から、又玉川大学で研修受け続けるということで、よしなり様とその授業の内容、又授業の時間割りや組み立てについていろいろ話し合いました。

それぞれ自分の意見をはっきり行って、又希望等を言って、とっても良い話し合いです。私達の研修はきっとこれからもっと、もっと良いものに、そして楽しいものになることでしょう。

10:00 檜原村立藤倉小学校の小林史朗校長先生の講演。僻地教育。複式授業について

今日、小林校長先生の2日目の授業でした。スライドでもって学校の様子を詳しく拝見させていただき、細かくいろいろ説明して下さいました。本当に大自然の中、山の中にある小さな学校でした。ブラジルにはあのような所に学校をたてること、本当に考えられません。生徒が少なくても先生、職員がいらして又、設備が整っていました。そこで、ブラジルと日本の教育についての考え方がどんなに違うのかをしみじみと感じました。本当に日本は子供のいる所、学校が必ずある。複式授業についてこちらで感じたこと。

1. 生徒と先生の関係はとっても暖かいものでした。
2. 一人一人生徒の特徴を生かすことが出来るということ。
3. 四季の厳しさの中を生徒、先生方、一緒に一生懸命乗り越え、自然を利用して教育の道を立派に歩んでいること。

本当にブラジルと日本の教育についての考え方の違いを見い出すことが出来ました。

19:00 サンパウロ新聞東京支社の泉雅夫様、又岡本文良様（児童文学作家）とBコース、ブラジルから来ている7人のお話し合い。

泉様がいろいろ質問をなさって、それぞれ自分の意見、考え方を述べました。

1. 日本に着いて3ヶ月たちました。今までの印象を述べて下さい。
2. ブラジルでの日本語教育がどのように進んでいかなければならないか。
3. 日本語をどうして勉強したのか、又どうして日本語に興味を持って、どうして日本語教師の道

を選んだのか。

4. 結婚する相手はどんな人がいいのか。ブラジル人、日系人、日本人。

お話はだいたいこの4つの質問によって、進んで行き、みんなとっても気楽に自分の考えを述べました。きっと私達2世、3世の日系人の考え方を理解していただけたと思います。1ヶ月ぐらい、たちましたらサンパウロ新聞にこのお話の内容がのせられるそうです。

ブラジルの日系コロニアに私達の日本語教育について考え方、見方を少しでも伝えることができたならとても幸せです。そして、今日のお話し合いのことは一生忘れられないものになることでしょう。

上 田 恵 美

8月23日 金曜日 晴

「筑波万博見物」

今日は筑波万博を見物するために、朝の6時30分に起床いたしました。

食堂で朝食をいただき、7時15分にバスに乗りこみました。

7時30分になると、バスは海外移住センターの門の前から出発いたしました。

バスの中では、初めにガイドさんのお話がありました。それからは、皆自由に歌を歌ったり、眠ったり、本を読んだりしていました。

9時10分頃にバスの中で万博についてのビデオを拝見いたしました。

9時半頃、バスは10分休憩いたしました。

10時10分頃、私達は科学万博の会場に到着いたしました。

そして東口の広場に集合し、記念写真を写しました。

この後、皆それぞれグループに分かれ、各館へと向かいました。

私のグループは急いで、富士通館へまいりましたが、もう既に整理券はなくなっていました。私達はとっても残念に思いましたが、あきらめました。そして「テーマ館」へ行き、未来の生活について、又は太陽と水、人間について色々なやフィルムや科学技術を拝見いたしました。

「ワースポット」と言うオルガンを弾く事が出来るすばらしいロボットをみました。その後、「ブラジル館」へ行き、ブラジルの留学生などに会い、コーヒーをいただきました。日立グループと茨城パビリオンの整理券もいただきました。日立館では立体映像で演出されたアニメーションフィルムを拝見しました。茨城パビリオンでは、新しい未来(自然、科学、人間)のためについてのフィルムを見ました。この後、テクノコスモス(観覧車)に乗り、万博の会場全体を拝見する事が出来ました。午後5時に皆バスの止まっている場所に集合いたしました。そして、7時45分に横浜の移住センター到着いたしました。一日では、あらゆる館を全部見物する事は出来ません。せめてもう一日いただければ万博の主な館をすべて見物する事が出来たのではないのでしょうか。

宗 仁子 マルガレッタ

8月26日 月曜日 晴

今日から一週間、センターにて特別講義が行われます。通学していた日々より、少しはのんびりできるでしょう。

第1時限目は10時から11時50分までで、正善先生の授業でした。現地授業の研究についていろいろと話をして下さいました。なかでも、サンパウロ市の森脇先生が担当しているアニャンゲーラ日系クラブについて話されました。そこでは、童話をテープで聞かせます。何回も聞いているうちに、そういう感情でお話が出来るとおっしゃっていました。まちがいに読むだけでは無く、又は、ただ理論だけで覚えるのではいけません。なぜなら、言葉とは、感情があってこそ出てくるものです。感情を使いながら話す事はとても大切です。

その外、アクセントをカルタで覚える授業法を元にしたテキストをくばりました。たとえば、「イ…イシの、シに力を入れて、話す道ばたに落ちている石。イシの、イに力を入れて、話す病気を直す医師。」というふうには。

第2時限目と第3時限目は、国際学友会教師の小峰俱子先生の授業でした。そこでは、いろいろとコミュニケーション・ゲームについてお話をしました。コミュニケーション・ゲームの意義は文法や模範会話の実践にあるのではなく、自然な言葉使いで、自由に話をしたり、聞き取ったり、聞き返したりします。そうしながらコミュニケーションに必要なテクニックを身につけ、話す力を養おうとするところにあると言われています。私達にとって、この一週間、ためになる授業だと思います。

粉川 イザウラ 幸枝

8月27日 火曜日 晴

だんだんと涼しい季節になってきました。夏の暑さもあとわずかと感じてきました。今日も、一回、センターで授業を行いました。玉川大学まで通わなくてもいいので、朝もゆっくりすることができて、大助かりです。なぜなら、あの電車の乗り換えが私にしては一番疲れることです。

今日は一日いっぱい同じ先生と授業を受けました。昨日の夜、今日のスケジュールを見てびっくりしました。まさか、一日いっぱい同じ先生と我慢できるかしら？飽きてしまうと思いました。でも、河原崎先生はとてもおもしろい人で、一日いっぱい楽しく、笑いながら過ごしました。

私は、はじめて口頭表現ということを知りました。とてもいい授業で、居眠りする時間もありませんでした。今日の口頭表現は、とても参考になりました。河原崎先生本当にありがとうございました。明日は、また新しい授業があります。森田先生の授業です。楽しみにしています。

菅野 テレーザ 百合子

8月28日 水曜日 晴

今日でセンターでの講義も3日目です。昨日と同じように朝食に間に合うよう、それぞれ自由な時

間に起床し、10時まではそれぞれ自分のことをしました。

10時から11時50分までは正義先生の最後の講義でした。今日の講義内容は朗読の基礎と表現術でした。

午後からは国際学友会の森田せんせでの講義でした。日本語の文法と文型についてであり、次のような事について色々と詳しく説明して下さいました。

1. 日本語の文の特徴
2. 助詞の使い方
3. 指示語の使い方

先生は私達に問題用紙を持って来て下さってそれをやりながら助詞や指示語の一つ一つの使い方を明細に教えて下さったので何よりも勉強になりました。今まで生徒に質問されて答えられなかったことも今ははっきりと答えられるようになったと思います。

最後に先生は私達にアンケートの形で何について説明してもらいたいかを問い、明日はその要望に応じて講義をなさって下さるそうです。できるならばもっともっと森田先生の講義をお聞きしたいと思います。

8月29日 木曜日 晴

センターで、4日に渡って講義を受けています。

1時限目は日本語児童教育でした。白鳥という先生でした。日本国内における児童のための日本語教育の現状や児童のための日本語教授法や「私の日本語I」という本の使用などを説明して下さいました。先生はとても児童の気持ちを大切にしながら色々な研究をなさっているように感じました。今まで、先生が作られた教材も紹介して下さいました。とてもためになりました。

2時限目と3時限目は昨日の文法と文型の講義が続けられました。先生は受身を表す言い方や敬語や因果関係を表す言い方などのプリントをもっていらっしゃいました。それぞれの説明と私達が練習問題をしながら指導して下さいました。とてもためになり、もっと時間があつたらよかったと思いました。

講義が終って、北村所長からアンケートの説明がありました。

又、明日、最後の講義があるので、頑張らましよう。

串 間 ジルダ

8月30日 金曜日 晴のち雨

今日の朝は早くから晴れて天気がとても良かったですけど、午後になってから雨が降り出してどこへも出られませんでした。夜は台風がありまして大変怖かったです。ペルーでは雨や台風がないの

で何であれ私にはめずらしく一つの勉強になります。

本日はセンターでの最後の授業が行なわれました。

10:00AM 白鳥先生の講義(日本語児童教育)

昨日のまとめ

私の日本語 Book Iの説明

私の日本語 Book IIの説明

11:00PM 正善先生

折り紙で靴や傘や帽子や花などの作り方

鬼とおひなさまの作り方

小峰先生,川崎先生,森田先生,白鳥先生,正善先生ご夫妻、この一週間ご苦労様でした。今までいろいろな授業がありましたが、今週受けた授業は一番よかったです。これは私達が現在教えている二,三世の生徒達に非常に役に立ちます。先生方本当にありがとうございました。

池田 グロリア

9月2日 月曜日 晴

急にまた暑くなって、扇風機一つもなく、とっても苦しい一日でした。今日から9月21日まで、国際女子研修センターで、いろんな事について勉強をします。例えば、日本文化の特質,生け花,アートフラワー,はり絵,茶道実習。

今日まで、どんな所で3週間を過ごすのか、ぜんぜん想像しませんでした。来て見ればびっくりしました。私達にはとっても狭い所です。

11時から開講式が行われました。私達18人の紹介があって、そのあと先生方のあいさつがありました。それから、昼ごはんをいただき、その後オリエンテーションがありました。お食事やお掃除などは私達がしなければならないのでいろいろ話あいました。明日私達がお食事を作るので、スーパーマーケットに買い物に行きました。18時にみんなで友達が作ったおいしい料理を食べて、楽しい時間を過ごしました。

明日から授業が始まりますので、友達と楽しみにしております。

杉山 ノルマ クリスティーナ

9月3日 火曜日 曇

6:30 に起床しました。

6:50 点呼体操をする予定でした。でも、皆時間通りに集まらなくて、個人々で体操をしました。

7:00 皆それぞれの掃除当番をしました。(トイレ,お風呂,庭,教室,フロワー,食番,日記です)。

私と菅野さんは、トイレ掃除をしました。

8:00 友達の作った朝食を皆でおいしくいただきました。

10:00~12:00 授業

日本文化の特質 (養手先生)

1. 原始社会の文化
2. 古代社会の文化
3. 律令社会の文化
4. 貴族社会の文化
5. 封建社会成長期の文化
6. 封建社会確立期の文化
7. 封建社会崩壊期の文化
8. 近代社会の文化

養手先生は、日本の歴史を詳しく説明して下さいました。けれども、難しい漢字を崩し字で書かれたので、かなり分りずらかったと思います。できることなら、来年はプリントなどを使用して、授業を行った方が良くはないかと思ひます。

日本の家庭生活 小南先生

家庭教育について

正しい話し言葉の育て方

小南先生はご都合で来られませんでした。岩村先生が変りにいらっしゃいました。岩村先生は色々な国の習慣をよくご存じなので感心いたしました。

2時間も授業を続けると先生も生徒も疲れます。ですから、1時間授業を受けて、5分又は10分の休憩があっても良いのではないかと思ひます。

井内 典子 スエリ

9月4日 水曜日 晴

今は、夜の9時です。やっと落ち着いたと言う感じがします。今朝6時半頃に起きました。食事当番がありましたので、起きて直ぐに、18人分の朝食の準備をし始めました。朝食は普通トーストとコーヒーなので、それほど難しい事ではありませんが、食事当番の人、私達4人は「これでいいのかしら」と言いながら、騒ぎました。私達は、こんな簡単な事でも、なんとなく責任を感じて焦ってしまいました。後片付けが終って、今度昼食の準備をして、休みもなしに、授業に出ました。

10時から12時まで、昨日の続きの日本文化の特質と言う授業がありました。教室の中は、とても暑くて、先生も生徒達も、汗を流しながら、できる限り頑張りました。

12時に暑い教室を出て、暑い台所に入り、15分間に昼食の準備が出来ました。皆慌てて、食べて後片付けをしていたところへ、午後の授業の先生がお見えになりました。「洋食とテーブル・マナー」

と言う授業でした。私達は、日本に来て洋食とテーブル・マナーを勉強させられる事を不思議に思いました。私には、これを理解するのは、無理な事です。しかし、この授業の御陰で、美味しい料理を食べる事が出来ました。

授業が終って、たった2時間後に夜食を作って皆で食べました。食事当番をしていますと、一日中食べていると言う感じがします。これでも太るのでしょうか。

日本に来て以来、慌ただしい毎日の生活が続いているので、いつも寝る時間になるとホットします。

矢口 眞理子

9月5日 木曜日 晴

昨日、国際協力事業団の方から扇風機が届き、おかげさまでぐっすり眠ることが出来ました。親切さ、感謝申し上げます。

いつものように6時30分に起床し、7時に9号室と10号室の皆様がおつくりになった朝食をいただきました。その後、私と同室の杉山さんは庭のお掃除をしました。

10:00 生け花

教室に入った時、先生方は、お花を花器にいけていらっしゃいました。大きなテーブルに生け花を9人でできるように用意してありました。10分ぐらい先生は、龍生派の基礎を簡単に説明して下さいました。

18人の生徒で、小さい部屋でしたし、全員の道具がなかったので、先に9人だけお花を生けてみました。そして、先生に見ていただき、指導を受けました。最後の30分、それぞれ自由に自分の好きなように生けてみました。

12:00 昼食

一つの電気がまのスイッチを入れるのを忘れたそうで、全員いつものように、一緒にいただくことが出来ませんでした。とっても残念でした。

13:00 茶道の授業

全員、ふくさと「茶道入門」という本をいただきました。初めに、ふくささばきを何回かやりました。その次なつめ、茶しゃくのふき方、茶きんのたたみ方、茶せんとおしの練習をしました。

15:00 お休み時間

15:15 茶道の授業の続き

先生方がお手前をして見せて下さいました。ちょっと速かったので、あまり動作などを味わうことが出来ませんでした。お茶菓子のいただき方又、お茶のいただき方を覚えました。そして、すぐそのあと実際にお菓子もお茶もいただきました。

先生方のお手前がすみ、その後、私達も一人一人、お手前をすることになりました。初めてお茶のお手前をする人もいましたので、ちょっと無理でしたと思います。

「生け花」と「茶道」は、日本独特な、そして、美しい歴史伝統のある文化の一部であります。

私はブラジルで茶道を習ったことがあります。何回も何回もお手前をして、少しは茶道を通して日本の心を知ることが出来たと思います。でも、私の先生はいつもおっしゃっていました。「いつか日本に行く機会があったら是非、茶道のお手前を日本の茶室でやってみなさい。そうすれば、きっと、もっともっと深く茶の道を理解するでしょう。」私は、「生け花」「茶道」の授業を本当に楽しみにしていました。ブラジルで味わえない何とも言えない日本独特な雰囲気、環境でお手前が出来たら最高の気持ちになるのではないかと考えていました。とくにこの頃、慌ただしい、忙しい毎日を送っていますので、心の安らぎ、落ち着く一時が何よりも必要で大切だと思います。しかし、今日の茶道の授業ではそれが全然出来ませんでした。18人も同時に良く訳も分らないまま、ただ練習することはいくら努力しても落ち着いては出来ません。そして、せっかく日本まで来て椅子に腰掛けてお手前をすることは本当に残念なことだと思います。小さいたみの部屋でよろしいと思います。そこに2人2人で入ってゆっくり、たっぷり先生のおっしゃることを聞き、茶道に大切な静けさを味わい、その中でお手前が出来たら少しでも茶の道の心を理解できるのではないかと思います。落ち着くより、気がいらいらして、茶道に対して間違っただイメージをもった人が多かったのではないかと思います。日本まで研修に来て本当に日本のいい所を見て身に付けて帰りたいと思います。しかし、こういう授業、こういう環境の中ではちょっとそれは難しいと思います。いろんなことを体験するより、一つのものをもっともっと深く、時間をかけて身に付けた方が結果的にずっと良いのではないかと思います。

先生方は一生懸命教えようとしています。しかし、ここは18人も一緒に受け入れるための教室、又、設備等が整っていないと思います。茶道の授業はまだ、あと4回ぐらいあります。これから、少しでも良い授業が出来るようにいろいろ友達と話し合っ見て見たいと思います。設備、道具等がそろってなくても、せめて環境作りを私達で一生懸命し、茶の道を正しく歩み始めたいと思います。

上田 恵美

9月6日 金曜日 曇

6:15 今日私達(1号室と2号室)の食事当番なので朝早く起床いたしました。

6:30 女子研修センターの台所へ行き、朝食の用意をいたしました。お茶を沸かし、パンを焼き、ツナと卵のペースト作りしました。そして長いテーブルの上に18人分のコーヒークップ、皿とさじ、ナイフなどを並べました。朝食の準備をしながら、私達は昼食の用意も少しいたしま

した。ミートソースを作り、スパゲッティを煮、サラダ等も作りました。

7:30 全員そろって朝食をいただきました。その後、皆で現在受けている研修内容について色々話し合いました。

8:00 私達は朝食に使った皿、カップやさじ等を洗い、整頓いたしました。そして台所の掃除をいたしました。

10:00 「生け花」教室が始まりました。

先生方はもう既に花器にお花を生けていらっしゃいました。私達は9人ずつ（一グループ）に分かれ、先生方の生けられたお花を一度抜いてから新たに生け始めました。今日は、雰囲気は昨日に比べると、ひときわ変わっていました。皆、静かに、落ち着いて、お花を生けていました。

今日は、テーブルに飾る「盛り花」の生け方を教わりました。皆、それぞれ自分の個性を生かして色々な方のお花を生けました。

12:00 生け花教室が終わると、私達（1号室と2号室）は急いで台所へ行き、昼食の用意にかかりました。朝の間に色々準備していたので、15分ぐらいで昼食ができました。今日はスパゲッティにレタスとトマトのサラダをいただきました。先生方も私達と共に昼食を召し上がられました。

12:45 昼食を終わり、後片付けをいたしました。

13:30 茶道教室が始まりました。

2グループに分かれ、お手前をし、お茶とお菓子をいただきました。まだ「ふくさ」のざばき方や茶杓のふき方が良くできない人達はそのような事を練習いたしました。今日は茶室の雰囲気が昨日とはだいぶ変わっていました。皆、落ち着いて、茶道の心を少しでも理解しようと努力しました。来週からは、生徒の人数がとっても多いので、2グループに分かれて生け花と茶道を教わる事になりました。午前中茶道を教わり午後から生け花を教わるグループと午前中生け花を教わって午後から茶道を教わるグループに分かれました。来週からは人数が少しは少なくなるので茶道や花道をたっぷり味わい、教わる事ができると思っています。

17:00 茶道が終わったと同時に台所へ行き、夕食の支度にかかりました。みそ汁、お魚とすものを作りました。そしてお昼のあまりのスパゲッティでアリオリスパゲッティを作りました。

18:30 全員集まり、夕食をいただきました。そして、週末の行事、又は外泊についていろいろ話し合いました。

19:30 全員で後片付けをし、台所を洗って食器を整頓いたしました。

宗 仁子 マルガレッタ

9月7日 土曜日 晴時々雨

ふと思い出した事ですけど、今日はブラジルの独立記念日でした。あちらでは、休日であり、学生達はバンドと共に道路でパレードを行います。小・中学生の時代、よくそのパレードに参加した事があり、なつかしく思います。でも、ほとんどの人は、今日はゆっくり休むか、ちょっとした旅行をしているでしょう。

日本に来てから、国のニュースを聞いたり、見たりする事ができなくて、とても残念に思います。

さて、今日の国際女子研修センターでは、午前の授業はアートフラワーでした。始めて聞いた言葉です。布でいろんな花を作る芸術です。デパートで、髪や服、家庭の飾りのため、すてきな花によく目がひかれる事があるでしょう。

白井先生は、バラの花を作るのが得意だそうです。2時間だけの授業であるため、先生はもう、花びらと葉の形をみな布でとっておいて、それを、私達に渡しました。

まず最初に、水とコンスターチ入れのミックスを作り、染料も用意してから、皆、それぞれ好みの色にあわせて、楽しそうに花びらを染めました。花びらは赤、ワインレッド、黄など葉はやはり緑。又は、ちょっとモダンな感じを現わすため、花全体を青とかピンクなど。

でも、しあがりには次の授業です。今からでも言えるのは、何となく、きれいなものになりそうです。楽しみに待っています。

土、日を利用して、皆、横浜のセンターへ帰る事にしました。やはり、横浜のセンターは私達にとって、心のやすまる所なのでしょうね。

粉川 イザウラ 幸枝

9月9日 月曜日 晴

今は夜の7時、「あ…やっと今日も一日が終わりました。」今日は、本当に疲れました。朝から立ったきりでいたので、私の足は腫れています。ゆっくりしたいです。

私の部屋、7号室と8号室は、食事当番にあたりましたので、朝から色々な用意をしました。今日は、料理の基本と実習がありました。午前中は、すしの作り方を太田先生から教わりました。一人一人がすしを巻きました。私は、はじめてすしを巻きました。よく巻けませんでした。はじめてのすしにしては、自分でも大変よく巻けたと思いました。とてもうれしかったです。

昼食は、全員で作ったすしをいただきました。午後からは、茶まんじゅうと中華まんじゅうの作り方を教わりました。とてもおいしいまんじゅうが出来上がりました。その後、また、みんなでいただきました。一日でいろんな料理の作り方を教わって本当に良かったと思います。早くブラジルに帰って、料理を作って家族の人達に食べさせて上げたいと思います。

授業が終わってから、すぐに夜食の用意をして、18時にみんなで食べました。とても忙しい一日でした。今は、みんなそれぞれの部屋で休んでいます。明日の授業を楽しみにしています。

菅野 テレーザ 百合子